



\* 0022952000 \*

0022952-000

613-58-(1)

五箇年計画の実績と展望

富士辰馬・著

春陽堂

昭和6

ADD



6. 8. 3

522

ソヴェート同盟經濟建設叢書

五箇年計畫の  
實績と展望

富士辰馬 著

春陽堂版



ソヴェト同盟經濟建設叢書

五箇年計畫の  
実績と展望

富士辰馬著



613-58

## 序 言

ソヴェート同盟の國民經濟建設五ヶ年計畫は、今や夢や空想やこけおどしや紙上の數字ではなく、現實にその實現過程を進みつゝある事實であることが多くの人々に判つて來た。その部分々々に於てこそ尙ほそれやこれやの缺陷や困難を示してゐるとは言へ、全體として見れば着々と計畫は實行されつゝある。

最近にソヴェート同盟の小麥や曹達灰や木材や石油やが國際市場のかなたこなたに出現し、謂ゆるソウェート・ダンピングとして各國から憎惡されてゐるが、これは、即ち、ソヴェート商品の勇敢なる登場は五ヶ年計畫遂行の一表現に過ぎない。今や各國は低廉なる商品に依る世界換價市場の再分割を目指して火のやうな競争を開始してゐる。その眞ッ最中にソヴェート同盟は、五ヶ年計畫の最も統制ある生産費の引下げを以て、この激烈な闘争場裡に復歸したのである。

謂ゆる「資本主義戰後發達第三期」の深化とソヴェート同盟の經濟成長とは截然たる對照をなして我々の眼前に現れてゐる。そして一度び世界市場に再來したソヴェート同盟の世界經濟及び、従つて、世界政治に於ける役割は益々増大する。斯かる時に於てソヴェート同盟に於ける經濟建設の實勢を研究することは、どこから見ても、最も必要なことである。若しこの小著がその必要を満たすために何

等かの楨杆となればまことに筆者の光榮である。

一九三一年一月

著 者

# 目 次

序 文

## 1 五箇年計畫と第一年の実績……………三

五箇年計畫の主要目標——社會主義工業の行程——社會主義的工業化と労働——農村の社會主義的改造——消費の組織

## 2 産業五箇年計畫第二年の実績と第三年の検査數字……………四五

(クイブイシエフの報告)

第十五回黨大會より第十六回黨大會まで——改建の道——五箇年計畫——重工業と輕工業——機械工業——新工業——工業と農業——工業と國民經濟——科學研究事業——産業の地理的配置——産業の仕事の質に就て——生産物の品質に就て——労働の生産率——合理化——現業員——労働大衆の積極性——結論

目 次



3 第二年の達成集計……………一三七

テンポ促進の年——工業化運動の成功——第二年度成果概況——工業の實績（重工業）  
……輕工業……工業投資……労働力の需要……労働の生産率——農業の實績

4 第三年の展望……………一五四

5 一九三一年の決定計畫……………一六〇

6 五箇年計畫とネツプ……………一六四

ネツプ後の復興過程——「誰が誰を？」——復興期より改建期へ——ネツプの運命——  
——ネツプの現段階

7 如何に「追ひ着き追ひ越す」か……………一九二

農業工業國より工業農業國へ——社會主義工業の成績

8 五箇年計畫と労働階級……………二〇五

労働人口の増大——労働階級の所得——労働者生活改善施設——無休生産制度

9 労働動員の諸形態……………二一八

競争の組織——打撃隊の組織——能率増進の例證

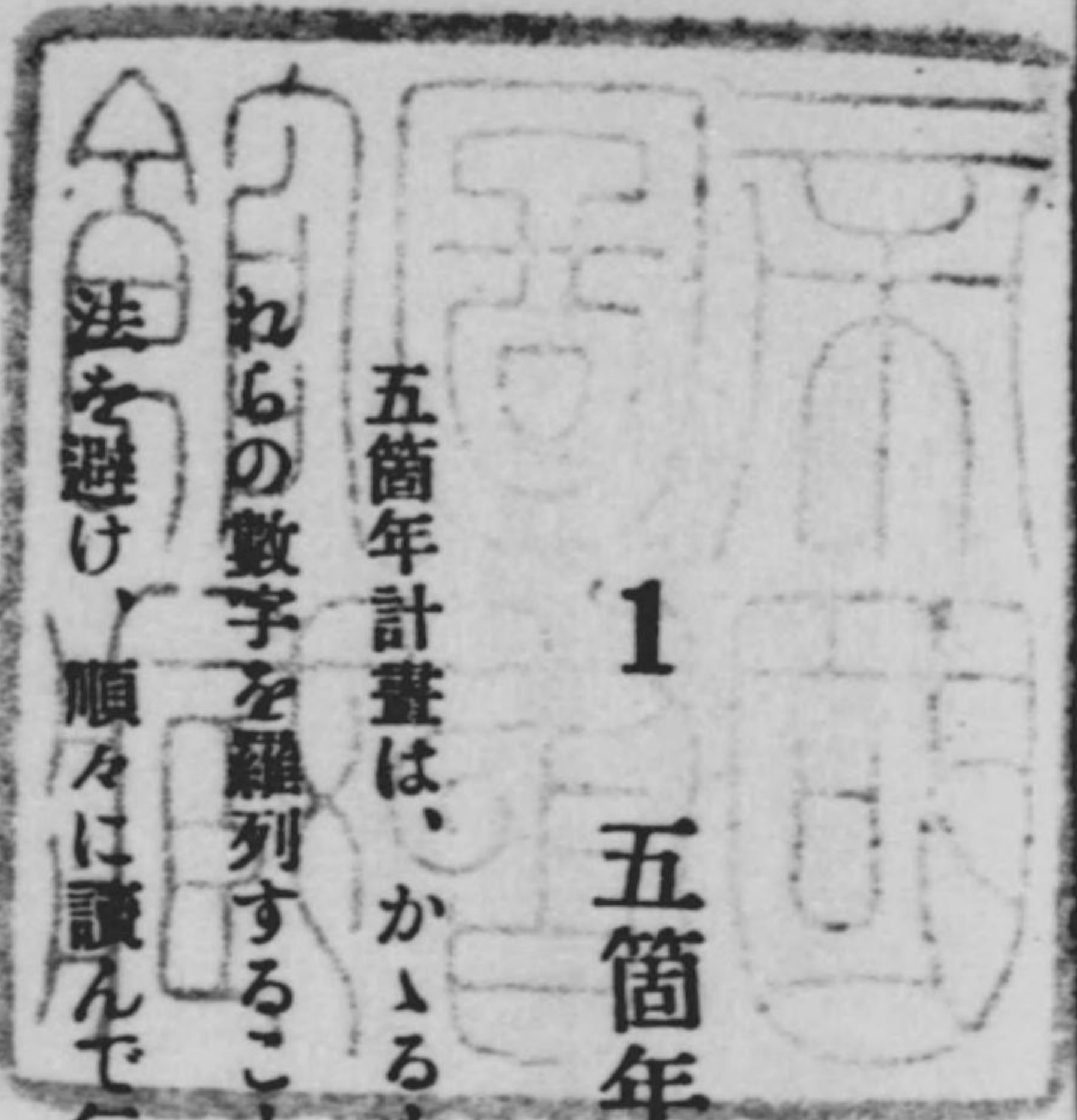
10 五箇年計畫に於ける總計畫の諸問題……………二三二

——をばり——

ソヴェート同盟經濟建設

五箇年計畫の實績と展望

(附錄—總計畫の諸問題)



## 1 五箇年計畫と第一年の実績

五箇年計畫は、かゝるものとして、自らうづ高い数字の堆積を呈するものであり、従つて一度にそれらの数字を羅列することは徒らに讀者を倦怠させる許りであるから、此處にはそのやうな叙述の方法を避け、順々は讀んで行く内に、腦髓の無理な緊張を要しないで、五箇年計畫とその実績の規模と意義と性質と方向を把握し得るやう、先づ同計畫の基礎とその第一年度に於ける実績を比較しつゝ叙述を進め、同時に第一年度の実績を基礎として作成された第二年度に對する「検査数字」を擧げることにする。この検査数字は次年度の一年間に於ける展望計畫を示すものであるが、この数字はそれらの機關によつて改訂され、正確化され、完全化された計畫である。左に一九三〇年のコムカレンダリーに依つて詳細を述べよう。

### 五箇年計畫の主要目標

一九二九年四月・五月中に第十六回ポリシエウイキ全同盟會議並びに第五回ソヴェート全同盟大會はソヴェート同盟五箇年國民經濟計畫を確認した。これが確認されるまでに五箇年計畫、その基礎及

び任務は勞働農民大衆の中に徹底して行つた。そしてこの計畫は世界環視の裡に着々と實行されつゝある。

然らばこの經濟建設のテンポはどんなものであるか。

兎に角、これは世界の六分一の地域に住む一億五千萬國民の力を動員して社會主義を建設しやうとするものである。工業の高く發達しない、農業の未發達な、住民の文化率が低い遅れた國に社會主義を建設しやうとするのである。而もこの國は四方から、尨大な富を有し、高き技術を有し、高き文化を有する資本主義諸國に取捲かれてゐる。是等の諸國とソ同盟の内部に残存する資本主義分子は何等かの形でこの社會主義建設を妨げやうとする。

外國の經濟學者や實業家は、或は萌芽の裡に社會主義建設の實現を踏みにぢらうと、この計畫を嘲笑した。是等の人達は、ソヴェート・ロシヤが身の程も知らぬ重荷を脊負ひ込んだものだ、あんな建設が出来るもんぢやないと言ひ言ひしてゐた。

第一にそんな建設には資金が足りない。經驗の豊富な技師がない、建設の材料が足りないと言つた。だが五箇年計畫實施の教訓は毫も最初の計畫を少ない方へ改訂し或は短縮する必要を感じしめなかつたのである。

五箇年計畫は同盟の産業生産高を五ヶ年間に一八〇%方即ち殆ど二倍に増大せんとするもので、そ

の内生産手段の生産を二三〇%方、一般消費物資の生産を一四四%方増大せんとするものであつた。

然らば五箇年計畫の第一年度たる一九二八—二九年度の成績はどうであつたか、五箇年計畫は同年度の産業生産増大を二一・五%と豫定したが、これが實行の跡を見ると、二四%方を増大した。而して五箇年計畫はその第二年度たる一九二九三〇年度分の産業成長を二二%と豫定したが、一九二九年十一月のポリシエウイキ中央委員會總會によつて確認された検査數字は、右五箇年計畫の豫定數字をぐつと引上げて、一九二九三〇年度分の産業發展を三二%に変更した。

これを見た或るアメリカ人はニューヨーク・タイムスに寄書して曰く「大きな國の産業生産を増大するつてことはそれが僅か一〇%でも大變なことだ。それはどんな經濟學者でも知つてゐる。然るに殆ど三分一方を増大しやうとは全く狂氣の沙汰である」と。だがこれが正に事實となりつゝあるのである。

これを狂氣の沙汰と嘲笑したのは單に外國の經濟學者のみではない。ポリシエウイキそのものゝ内部に於ける右翼偏向の代表者も五箇年計畫を力不相應の仕事であるとなし、殊に産業への莫大な資本投下に就てその實行不可能を豫言した。

その資本投下豫定は五箇年間に國家の計畫する産業には百三十五億ルーブルであり、全産業に對しては百六十四億ルーブルであつた。所で一九二八—二九年度に於て同年度分の豫定投資額十七億ルー

ブルは完全に投資された。尙ほ五箇年計畫は一九二九三〇年度に於て國家によつて計畫される産業に二十三億ルーブルを投資することになつてゐるが、黨中央委員會の下調査によれば、右の豫定より遙かに多く三十四億ルーブルを投資し得る財源を計上することが出来た。これは一九二八二九年度分の二倍である。

ソヴェート同盟に於ては一九二三—二四年度より一九二七—二八年度に至る五箇年間に三十六億ルーブルを産業に投資した。所が一九二九—三〇年度一ヶ年分の投資總額は右の如く三十四億ルーブルであるから、今や前期五箇年分を僅か一年間に投資することになつたのである。

次に農業の問題であるが、これは五箇年計畫作成の上に最も困難なものであつた。時恰も農業の停滞、農業の退化が四方八方から叫ばれ、黨内右翼偏向の代表者からは農村上層分子即ち富農クザクシの力によつて農業を振興せよとの叫びが高く叫ばれてゐた。そして黨内主力分子の主張するソフホーズとコルホーズは多くの者に取つてコンミニヌスチックな道樂だから、近い將來に於て何ものをも期待することが出来ないと思はれてゐた。

その反對を押切つて、黨は五箇年計畫中に農業生産社會化の方針を確定し、ソフホーズ、コルホーズ、コーペレーション等による農業振興計畫を展開した。

五箇年計畫は五箇年計畫の終了即ち一九三二—三三年度までソフホーズの植付面積を五百萬ヘクタ

ーに、コルホーズの植付面積を二千二百萬ヘクタールに増大する豫定を樹てた。

そこで第一年度の成績を見ると、ソフホーズとコルホーズを合せ一九二八—二九年度に於て三百七十萬ヘタカールの豫定が、四百六十萬ヘクタールを社會化することが出来た。次の一九二九—三〇年度は五箇年計畫に於てソフホーズを二百五十萬ヘクタール、コルホーズを六百萬ヘクタールに増大することになつてゐるが、第一年度の成績に鑑み、ソフホーズを三百三十萬ヘクタール、コルホーズを千五百萬ヘクタールに計畫變へした。且つ是等ソフホーズ、コルホーズの農業機械化に役立てる機械トラクター停留場は百二箇所に達し、百五十萬ヘクタールの植付面積に活動してゐる。斯くの如く建設戦線の最も困難な部署と稱せられてゐた農業の領域に於ても現實生活は豫定計畫を追ひ越したのである。

それから運輸機關の貨物循環であるが、これは五箇年計畫に依ると、一九三二—三三年度に於て二億六千萬トンに到達させる筈になつてゐた。所が一九二八—二九年度に於て豫定より遙かに多くなつた。そして一九二九—三〇年度に於ては一億八千萬トンの豫定であるが、産業の成長、農業の發展、建築業の狀況から推察すると右年度中に二億一千五百萬トンに及びさうである。

失業問題に關し、五箇年計畫は失業者を一九三二—三三年度に於て一九二七—二八年度の百十萬人に對し四十萬人に縮小することを任務とした。被傭労働人員數の増大は一九二九—三〇年度に於て、五箇年計畫によると、農業に於ける被傭労働者を除き、九十萬の豫定であつた。所が一九二九—三〇

年度に對する検査數字は被傭労働人員數が百十萬人以上増大したこと、失業者が一〇%方減少することを示してゐる。即ち一九二九—三〇年中に百萬以上の人が雇傭に依る仕事を取得して現役労働軍隊の列中にはいるのである。これは小さなことぢやない。

一九二七—二八年度に於ける國民收入總額は不變價格に於て二百四十七億ルーブルであつた。五箇年計畫は一九三二—三三年度までにこの増大を五百二十億ルーブル即ち一〇三、四%と豫定した。所で一九二八—二九年度に於て國民收入總額は一九二七—二八年度と比較し一二、二%方増大した。これは五箇年計畫の豫定より〇、五%方多い。一九二九—三〇年度に對し五箇年計畫は一五、八%方の増大を豫定した。所が一九二九—三〇年度の検査數字は産業、建築業、貨物循環の激増を推計して、國民收入の遞増を一九二八—二九年度に對し二〇、四%と豫定換へした。

このやうな國民收入の遞増テンポは未だ一の資本主義國も知らなかつた所である。

これに相當して一九二八—二九年度に於ける國家豫算も殆ど二億ルーブル方豫想を超過した。而して一九二九—三〇年度の豫算は、五箇年計畫が九十一億ルーブルを期待せるに對し、百十四億ルーブルとなつた。

以上を見ると、五箇年計畫に依る經濟建設には成功ばかりあつて、失敗はないやうであるが、決してそんな事はない。この建設途上には幾多の困難がある、だが兎に角、現實はソ同盟の外部と内部に

あつた幾多の悲觀論、幾多の暗い豫言を裏切つて、五箇年計畫實現の最も困難な最初の段階に於て豫定計畫を超過し得る可能を與へたことは最早や否定し難い事實となつたのである。

### 社會主義工業の行程

國民經濟五箇年計畫の樞軸はソヴェート同盟の社會主義的工業化である。この問題に關する五箇年計畫の根本スローガンは次の如きものであつた。

- 第一 一九三一—三二年度末に於て電力二百二十億キロワット時（一九二七—二八年度に於ては二十億キロワット時であつた）
- 第二 石炭七千五百萬トン（一九二七—二八年度に於ては三千五百萬トンであつた）
- 第三 石油二千二百萬トン（一九二七—二八年度に於ては千百萬トンであつた）
- 第四 鉄鐵一千萬トン（一九二七—二八年度に於ては四百二十萬トシであつた）
- 第五 機械製造年産二十億ルーブル（一九二七—二八年に於ては五億九千萬ルーブルであつた）
- 第六 農業機械製造年産六億一千萬ルーブル（一九二七—二八年度に於ては一億五千萬ルーブルであつた）
- 第七 化學肥料八百萬トン（一九二七—二八年度に於ては四十萬トンであつた）

右のスローガンを以て五箇年計畫は進んでゐるのである。これに一九二八—二九年度の經驗と一九二九—三〇年度の建直された計畫は何を語つてゐるか。

その經驗は五箇年計畫が實現されたことを語つてゐる。礦物性燃料即ち石炭と石油は何れの先進國に於て最大の役割を演ずるものであるが、ソヴェート同盟の經濟建設に於ても、もちろん、同様である。石炭は工業のパンである。ソヴェート同盟に於て工業化のテンボを促進するために最も必要なものである。石油はソヴェート同盟に取つて最も貴重な輸出品として必要である。この輸出によつてソヴェート同盟は外國から機械、半製品、必要な原料を輸入するための資金を得なければならぬのである。

されば五ヶ年計畫は殊にこの兩種燃料の生産増大に腐心した。五箇年計畫が黨の機關によつて認確された後、政府は更にこの計畫を擴大して五箇年計畫最終年に於ける石油産額を二千二百萬トンより二千六百萬トンに増大した。

然らば是等礦物性燃料に關する計畫は如何に實現されつゝあるか。

五箇年計畫に於ては一九二八—二九年度に於て石油千三百二十萬トンを取得する豫定であつた。所が實際は千三百七十萬トンを取得した。一九二九—三〇年度には千四百八十萬トンの豫定であつた。検査數字即ち更に正確な計畫豫定數字は千六百二十萬トンに改訂された。換言すれば、石油に關し五箇

年計畫の豫定計算を著しく超過してゐるのである。石炭に就ても殆ど同様の状態が見られる。一九二八—二九年度は五箇年計畫に豫定されたと略ほ同量の産出高を見せた。五ヶ年計畫に指定された同年度の産出高は四千百十萬トンであつたが實際には四千六十萬トンを産出した。即ち五十萬トンの生産不足であつた。だがこの生産不足に痛く神經を悩ましたいソヴェート同盟當局は一九二九—三〇年度に於てこの不足を取返さんとし、同年度に對する検査數字を五ヶ年計畫の豫定四千六百十萬トンの代りに五千百六十萬トンに改訂した。この改訂計畫が實行されば、石炭と石油に關しソヴェート同盟は一九二九—三〇年度にて戰前生産水準を七五%方超過することとなる。

礦物性燃料と共に現代經濟に於て大なる役割を演じてゐるのは金屬である。殊にソヴェート同盟はこの部門に於て著しく遅れて居り、金屬饑饉を経験してゐる。だから金屬工業の發展促進は頗る緊要である。そこでこの方面に全力を傾注した結果、一九二八—二九年度に於て五ヶ年計畫の指令と歩調を合せることが出來た。即ち同年度に於て鐵礦七百十萬トン、鉄鐵四百萬トン、鋼鐵三千八百萬トンを生産した。一九二九—三〇年度の事情はもう少し好い。五ヶ年計畫は同年度分として鐵礦千二十萬トンを豫定した。だが検査數字は既に千七十萬トンを與へてゐる。鉄鐵の豫定は五百萬トンであつたが、検査數字はそれを五百五十萬トンに擴大した。鋼も亦四百萬トンから四百七十萬トンに擴大された。

従つて非常に遅れてゐた黑色金屬工業なる部署に於て五ヶ年計畫最初二ヶ年の模様に徴し同計畫最

終年度に於ける鉄鐵一千萬トン計畫は實行される可能性がある。

一國の工業化はその國に發達せる機械製造工業がなけたば不可能である。所が戦前のロシアには機械製造工業の萌芽があつたのみで、この點に於てロシアは全く外國に依存してゐた。そこで五ヶ年計畫はこの遲滯を一氣に取戻す決心で、五ヶ年間に機械製造計畫の四倍化を計畫し、その生産高を一九二八―二九年度に於ける五億九千萬ルーブルから一九三二―三三年度に於ける二十億ルーブルとなし、農業機械製造も同期間中に一億五千萬ルーブルより六億一千万ルーブルに引上げる計畫を樹てた。所がその後益増大する國民經濟の要求に迫られて右の計畫を根本から改訂する必要を認め、農業機械製造を五ヶ年計畫最終年度に於て六億一千万ルーブルより十億ルーブルに増産することに決定した。

五ヶ年計畫最初二ヶ年の經驗に徴するに、社會主義的工業化の主要部署たるこの機械製造工業に於ても幾らか五ヶ年計畫の任務を超過遂行し得る見込が立つた、即ち五ヶ年計畫一九二八―二九年度に於て機械製造總額七億三千七百萬ルーブルを出すことを豫想してゐたが、實際は七億九千二百萬ルーブルを出した。農業機械製造に於ても、少量ではあるが、豫定を超過した。

一九二九―三〇年度分として五ヶ年計畫は機械製造總額九億五千萬ルーブルを豫定したが、検査數字はこれを十一億五千萬ルーブルに擴大した。農業機械製造に關しては更に大なる擴張が行はれた。五ヶ年計畫では二億六千萬ルーブルであつたが、検査數字は三億七千萬ルーブルに激増させた。これは機械化し大農業化し集團化した農村の農業機械に對する需要が激増しつゝあるもので、その超過に對

應せんがためである。

尙ほ此處に注意を要するは産業建設の重要部署たる建築材料生産である。この領域に就て一九二九

年中右翼偏向の代表者殊にブハーリンは黨を攻撃して、建築材料の不足は甚だしい、ために基本建設の進捗が非常に遅らされると指摘した。

實際、建築材料の不足は、右翼偏向者の言ふ程ではないとしても、可なり酷かつた。そこで五ヶ年計畫は建築材料殊にセメントの生産擴大を計畫した。即ちセメントの生産高は一九二七、二八年度に於て千百九十萬タルであつたのを五ヶ年計畫最終年度たる一九三二―三三年度に於て四千百萬タルに増大する計畫を樹てた。煉瓦も同じ期間に十八億個から九十三億個に増産することにした。

そこで一九二八―二九年度に於て次の成績を挙げた。計畫に依る煉瓦の生産高は二十六億個の豫定であつたがその實行生産成績は二十九億個となり、セメントは千四百萬タルのところを千四百四十萬タル生産した。これで豫定の計畫は充分に實行されたわけであるが、それでも建築材料の増大する需要に應じ切れないので、一九二九―三〇年度は豫定の増産計畫を更に擴大した。即ち同年度分の建築材料増産検査數字は、五ヶ年計畫の煉瓦四十二億個に對し五十一億個、セメント千九百五十萬タルに對し二億二百萬タルである。



次に輕工業即ち一般消費物資の生産に就て見るに、五ヶ年計畫は一四四%方の増産を豫定した。この工業諸群を通じ一九二八—二九年度に於ける生産高は五ヶ年計畫の豫想と合致し、或るものは多少豫想を超過した。一九二九—三〇年度分に対する検査數字は、少しではあるが、五ヶ年計畫の豫定を超過してゐる。

右に挙げた諸指標によつて一九二九—三〇年度に於ける工業生産増大のテンポが窺はれる。即ちその生産増大は五ヶ年計畫豫定の二二%に對し實に三二%である。全工業生産の増大は右の如く三二%であるが、その内生生産手段の生産即ち機械・石炭・石油・建築材料等の生産は四七%方増大し、消費物資の生産は二四%方増大した。ここに全國內工業化の政策があり、全國民經濟の徹底的改建の政策がある。

もちろん、僅か一年間に工業生産を三分一も増大することは非常に困難なことである。これがためには工場の車輪が迅速に無休に廻轉し、原料と半製品が絶えず供給されなければならない。そこで怠惰や古い統傳の克服、無休生産の實施、舊い層制の廢棄等が斷行されたのである。

五ヶ年計畫は一九二八—二九年度に於て國營産業に十七億ルーブルの投下を要求した。この要求は遂行された。五ヶ年計畫は一九二九—三〇年度に於て國營産業の基本建設に二十億ルーブルの投下を要求した。だが一九二九年末の検査數字は右の金額を増加して三十四億ルーブルに変更した。

五ヶ年計畫は五ヶ年間の産業資本投資總額百三十五億ルーブル中約百億ルーブルを生産手段を生産する工業部門にあてることを豫定した。一九二九—三〇年度に於ては産業資本投資總額約三十二億ルーブル中(これには各種豫備項目、科學研究作業、住宅建築を含みます)二十六億ルーブルを生産手段を生産する工業に、約五億ルーブルを一般消費物資の生産と關係ある工業部門に割くことになつてゐる。換言すれば、ソヴェート政府及びボリシエヴィキ黨は先づ燃料、金屬、機械、礦物、肥料の採掘生産の如き産業部門即ち先づ國內工業化の行程がそれに依存する産業部門に出費せんと努力してゐるのである。

石炭工業には五ヶ年間に十二億ルーブル投下することになつてゐる。一九二八—二九年度に於てはこれに一億六千六百萬ルーブル投下されたが、一九二九—三〇年度分として検査數字は約二億七千萬ルーブルを與へてゐる。石油工業も略々同様、五ヶ年間に十四億ルーブル投下されることになつて居り、一九二八—二九年度に於て二億一千六百萬ルーブル投下され、一九二九—三〇年度は検査數字によつて二億八千五百萬ルーブルと推計された。

冶金業及び機械製造を合算した金屬工業全體に對しては五ヶ年間に約四十億ルーブル投下される筈になつてゐるが、一九二八—二九年度に於て五億ルーブル投下された。一九二九—三〇年度分として五ヶ年計畫は六億七千萬ルーブルと決定したが、検査數字は殆んど十億ルーブルを與へてゐる。

化學工業には五ヶ年間に十四億ルーブル投下される筈であるが、一九二八—二九年度に於て一億一

千六百萬ルーブ投下され、一九二九—三〇年度分として検査數字は三億ルーブル以上を指定した。建築材料への投資も五ヶ年計畫は約九億ルーブルを計上した。一九二八—二九年度に於て一億五百万ルーブル支出され、一九二九—三〇年度分としては五ヶ年計畫に依り、一億八千百万ルーブルと豫定されたが、検査數字は殆ど二億ルーブルを指定した。斯くの如く工業化のテンポは常に低下しないのみならず、そのテンポを増大するためにあらゆる可能が動員されてゐるのである。

従來は殆ど凡ての資本の産業投下が既成工場の維持及び改装に用途され、新建設は投資作業一般計畫に於て全く微々たる位置をしか占めてゐなかつた。所が一九二八—二九年度から改定期に入るや、舊企業に於ける仕事から廣汎なる新建設に移り、幾多の大工場、大企業が新たに建設され、同時に既成工場の根本的改造が行はれるやうになつた。今や既成工場の改建改造即ちその擴張、更新、完成は實質上従來の場所に全く新しい企業を建造すると同様のことを意味するのである。

是等の新しい企業は、現代技術の最も大なる達成を自己に於て體現するものであり、それによつて資本主義との競争に打克たんとするものであるから、非常に重要な意義を有する。新しい産業建設。この途上に於て資本主義諸國に追ひ着きこれを追ひ越さんと努力してゐるのである。次の表は同盟が最近の五ヶ年間に通過した道程を示すものである。

	一九二一—二六	一九二六—二七	一九二七—二八	一九二八—二九	一九二九—三〇
基本修理	二〇・四%	一三・八%	九・四%	九・三%	四・七%
改建と擴張	六九・九%	六一・五%	五二・二%	四九・六%	三九・七%
新 建 設	—	一五・四%	二九・五%	三三・五%	四六・七%
住宅建築	九・七%	九・三%	八・九%	七・六%	八・九%
	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

三十二億ルーブル中（豫備項目、科學研究事業及び住宅建築は加算せず）一九二九—三〇年度に於て約十二億ルーブルは新しい工場及び企業の建造に用ゐられ、約六億ルーブルは既存企業の根本的改造に用ゐられる。殘餘の資金は基本修理、勞働保護、住電建築、原料基礎の發展、科學研究組、織等に用ゐられる。且つ科學研究事業費一億四千萬ルーブル、企業考案費四千四百萬ルーブル、工業原料基礎費一億五千萬ルーブルは、もちろん、新しい建設と關係あることを考慮しなければならぬ。

この産業への基本投資分配中に改定期の面目があるのである。この改定期こそ世界技術の最も新しき見本に依つて新しき大建設に進まんとするものである。

一九二九—三〇年度は殊に幾多の大建設を促進する年である。三・四年間に建設する豫定であつた工場や企業はその竣工期を短縮し、謂ゆる強化せるテンポを以て進んでゐる。ウラルのマグニトゴル

スタ冶金工場、スタリンググラードのトラクター製造所、ニージニ・ノヴゴロッドの自動車工場、ロス  
トフ農業機械製造工場、ドンパツスの骸炭工場、ドンパツス、ウラル、モスクワ郊外の科學コンビネ  
ート其他は豫定より早く竣工する。従つて、早く仕事を開始してその生産物を出すであらう。  
この事は多大の意義を有するものである。蓋しソ同盟には資本が少ない、その資本を死せる状態か  
ら脱せしめて速く運轉させ早く果實を齎らさしめるには斯くするより外にないのである。

レーニンの提唱した電化計畫は周知のことであるが、今や地方発電所の建設は一般國土工業化事業  
の最も重要な車軸となつてゐる。電力がなければ大工場は一刻も生きてゐられない。電力がなければ  
近代工業は存在しない。従つてソ同盟の社會主義的工業化は及びもつかないのである。それ故に電化  
計畫は國民經濟五ヶ年計畫及びその年次區劃の諸部門の樞軸と見られてゐる。

既に屢説した如く、ソ同盟に於ては工業發展のテンポを、五ヶ年計畫によつて豫定されたより速進  
することになつたが、斯かる場合、電氣建設、電化事業は常に産業に追隨して進む許りでなく、幾ら  
かこれを追ひ越す位にならなければならない。各々の大工場はその工事が終る瞬間に電力、専門家、  
原料、運輸によつて保障されてゐなければならない。この考へは國民經濟五ヶ年計畫の全部に浸透し  
てゐる。従つて五ヶ年計畫は電力の生産を一九二八年に於ける五十億キロワット時から五ヶ年計畫最  
終年度に於ける二百二十億キロワット時に増大することを豫定したのである。而も一九二九年末には右

の計畫を更に擴大する必要を認め、検査數字は一九二九—三〇年度分として電氣建設に六億ルーブル  
餘の資本投下を決定したのである。この數字は一九二八—二九年度に投下せる資本三億七千萬ルーブ  
ル及び五ヶ年計畫に豫定された一九二九—三〇年度分投下資本額四億五千萬ルーブルと對較すれば非  
常な相異である。かくて七十七億キロワットの電力生産は保障される。

だが單に發電所建設の戦線を擴大したのみでは足りない。同時に各發電所の建設テンポを速めなけ  
ればならない。一日も一時も無駄に失ふてはならない。發電所の建設は文字通り戦闘的速度、戦闘的  
正確さ、戦闘的責任を以て行はなければならない。さうしないと新しい大工場が出来上つた時、附  
近の發電所から電力を注入し、工場のモーターや旋盤を動かすことが出来ない。殊にドンパツスやレ  
ニングラーやウラルに於ては電力の不足せるため現存産業改装の行程及び新産業企業の建設が停滞す  
るから、かゝる所では電氣建設を急がなければならない。

事業の量的方面即ち産業生産の成長、個々産業部門の生産増大、資本投下の増大は上述の如くであ  
る。だがこれではまだ足りない。これではまだ社會主義的工業化の大任務は解決されない。右と同様  
の努力を以て工業建設の質的任務を解決しなければならない。ソ同盟に於ける工業生産の原價が外國  
の工業と比較して高いこと、工業商品の品質が悪いこと、建設費が高いこと等に於てはペンに口に多  
くの論議が行はれた。これらの缺點に就ては第十六回黨會議、第五回全同盟ソウエート大會等の權威

ある機關が容赦なく指摘した。

五ヶ年計畫は先づ工業生産の原價三五%引下げ、その品質改善、五ヶ年間に亘り建設費五〇%方引下げを要求してゐる。だが是等の質的問題は漸くその解決に着手したばかりであるから、大した結果を擧げてゐない。

成る程、産業の成長は素晴らしいものである。だがこの産業發展をがっちりしたものにするには、事業の質的方面をゲンゼン改善しなければならない。五ヶ年計畫は最初の一年乃至二年に於てこれらの義務を完全には果すことが出来なかつた。一九二八―二九年度に於て工業生産の原價引下げは七%の豫定であつたが五%方引下げたのみである。而も幾分の工業商品は中には質を低下したものとさへある。或る産業部門は品質を悪化させることによつて原價の引下げを行ひ、ソヴェート經濟政策の歪曲を敢てした。そこで黨と政府は躍起となつてこの遣り口を暴露し品質の復舊とその改善を力説した。

斯かる事情に鑑みて、政府は一九二九―三〇年度の工業に對し、五ヶ年計畫によつて豫定された同年度の原價引下げを實行するのみならず、前年度の引下げ不足分をも補顧し且つ必ず品質の改善をも招來すべしといふ任務を聲した。即ち一九二九―三〇年度の最も重要な任務として検査數字は品質改善と共に原價一一%引下げを決定したのである。

原價の引下げは最も重要な最も責任的な任務の一である。技術・經濟的關係に於て先進資本主義諸國の水準に追いつき追ひ越すといふスローガンは工業生産の數量を最も大なる資本主義諸國が生産しソ同盟の需要を満たし得るだけ生産することに止まらず、低廉な價格で優良な品質の物資を生産することである。低廉にして品質優良な大量生産物。これが都市と農村の、工業と農業の結合の缺くべからざる前提である。

尙ほ政府と黨が原價の引下げに全力を傾注するのはこれが産業に資本を蓄積するための重要な方法であるからである。一%原價を引下げる毎に産業に於ける蓄積は一億二千萬ルーブルである。それが一一%となれば工業蓄積は十三億二千萬ルーブルとなつて、それを労働階級の生産改善殊に新工業の建設に當てることが出来る。

建設費の引下げも同様に重要である。今(一九二九年)ソ同盟に於ては鉄鐵、石炭、棉布、その他を戦前價格より高い價格で生産してゐるが、建設の方はもつと高い價格でやつてゐる。この高價な建設費は重い負擔となつて國家の肩に懸り、建設の進歩を困難にし、資本主義との競争といふ大事業に於て遅れを取らなければならない。

建設費を低廉化することは即ち工業化の可能を擴大することであり、國民經濟に於ける社會主義要素の位置を固めることである。五ヶ年計畫は五ヶ年間に建設を五〇%方引下げることを豫定した。所が一九二八―二九年度に於ては豫定の引下げ率一〇%の代りに僅か六乃至七%しか引下げることが出

來なかつた。そこで原價引下げの領域に於けると同様、この領域に於ても一九二九—三〇年度に於ては同年度として五ヶ年計畫が指定しただけを獲得するのみならず、前年度の不足分を補填しなければならぬ。

かういふ譯で一九二九—三〇年度分の建設費引下げは一二、五%と決定された。今度は運輸機關の問題である。

五ヶ年計畫は運輸に六十三億ルーブルを投資することを豫定してゐる（基本修理を除き）。これは現存鐵道の大改造を保障し、新設鐵道一萬七千キロメートルの經營を招來し、水路を改善し、廣汎な道路建設計畫を實現せしめ、各方面に亘る定期航空輸送を設定せしむるものである。

既に述べた如く、一九二九—三〇年度に於ける貨物循環は二億一千百萬トンに達した。これは五ヶ年計畫が一九三〇—三一年度に於て漸く豫期した所のものである。貨物循環のかやうな増大を保障するには多大の資本投下を要するが、一九二九—三〇年度に於けるその金額は各種運輸機關に亘り約二十億ルーブル計上された。然るに五ヶ年計畫に依る一九二九—三〇年度投資額は十五億ルーブルであつたのである。

若し右の二十億ルーブルから基本修理を取除けて、現存運輸機關の改造及び新規運輸建設のみを残すならば運輸に於ける資本投下の總額は十二億ルーブルとなる。その内新規鐵道への投資は、一九二

九—三〇年度には一億二千八百萬ルーブルであつたが、一九二九—三〇年度に於ては二億六千五百萬ルーブルとなり、且つ無軌條運輸及び航空運輸等への投資も著しく擴大された。

以上は五ヶ年計畫の基礎施設であり、その第一年目の実績であり、その実績に基く第二年目の正確化された豫想である。是等の報告はソ同盟が克服しつゝある多大の困難を語ると同時に經濟建設の戦線に於てソ同盟が迅速に解決しつゝある老大な任務を示すものである。是等の報告は又今後大いに全民衆の精力を動員しなければならぬ不成績な部署のあることをも語つてゐる。だが幾多の缺陷があり、部分部分には計畫の破綻があるにも拘らず、社會主義的工業化の戦線に於て五ヶ年計畫の豫定したよりも速いテンポで前進してゐる事はもはや蔽ふべからざる事實である。

### 社會主義的工業化と労働

一九二八—二九年度に於ける經濟建設の行程は社會主義的工業化及び社會主義的産業合理化が、資本主義的産業合理化の如く、労働階級に生活状態の悪化を齎らさずして、その生活水準・文化状態の改善を招來したことを示した。

五ヶ年計畫第一年の集計及び一九二九—三〇年度に對する検査數字はこの方向に於ける達成を示してゐる。

ソ同盟に於ける労働階級の員數は一九二七—二八年度に於て一千百三十萬人であり、その内で約三百萬人は資格産業に、約百萬人は運輸に従事するものであつた。五ヶ年計畫は一九三二—三三年度に於て被備労働軍を一千五百七十萬人（即ち三九%）に増大することを豫定した。

所で一九二八—二九年度には一千二百十萬人の被備労働者があつた。一九二九—三〇年度分として五ヶ年計畫七、五%方増大を豫定した。だが検査數字は一九二九—三〇年度に於て百十萬人即ち九、四%方の増大を示し、その内大工業はその労働定員を約二十萬人方、建築工業は四十二萬人方、商業及び金融は十二萬人方増大することになつてゐる。文化労働者軍は十萬人方、農業に於ける被備労働者（殆ど残らずソフホーズに）約二十萬人方増大する。

この實踐はかの七時間労働制を嘲笑し、これを以て労働階級の眼に埃を投げるものだと言つた人々が如何に勘定違ひをしたかを示したのである。一九二八—二九年度に於て四十萬人以上の労働者が七時間労働制に移つた。一九二九—三〇年度に於てはこの上約五十萬人が七時間制に移るであらう。換言すれば、約百萬の労働者即ちソヴェート産業労働者の約四〇%が一九二九—三〇年度の末には七時間生産日に移らうとしてゐるのである。

これと並んで産業、商業、國家機關、文化施設等に於ても無休生産に移りつゝある。無休生産といふ言葉は今や皆の口の上つてゐる。五日労働週間は古くからの曆を破りつゝある。工場、經濟組織及

び國家機關は一年間に是までより六十時間多く働くのだ。凡ての旋盤凡ての機關は社會主義建設の忙しい時代に於て有閉日を與へられないが、労働者と使用人は五日目毎に休息するのである。かくて労働軍は擴大され、かくて労働階級の生活は改善され、かくて労働者の前には七時間制と共に休息のため、修學のため、社會的な仕事のため未曾有の條件が開かれるのである。

尙ほ労働軍の擴大に相當して産業生産も増大する。工業及び農業に於ける社會化せる扇形の増大、大ソフホーズの建設、農業生産の機械化は多數の労働者に仕事を與へる。

それ故に一九二九—三〇年度がソヴェート經濟建設の全時期を通じて始めて失業者の増大を喰止めるのみならず、却つて一〇%方の縮小を約束してゐるのは敢て不思議とするに足りない。

ソ同盟の失業はツアール・ロシヤの厄介な遺産により、工業發達の低い水準により、農業の遅れてゐることにより、農村の農業過剰人口により、即ち、農村に於ける労働力の過剰にたつて育まれるものである。

だが一九二九—三〇年度は大なる轉機を與へんとしてゐる。失業の曲線は屈折して下降しつゝある。たとひ一九二九—三〇年度に於て失業の低下が僅か一〇%であるとするも、これは決して小さなことではない。

労働者の物質的狀態の改善、勞賃の増大、労働者住宅の建設、物質的・文化的設備の改善、社會保

險等は何れも労働階級の生活水準を高めるものである。

五ヶ年計畫は五ヶ年間に労働者の額面賃金を五〇%方、實收賃金を七〇%方引上げることが豫定された。所で一九二八—二九年度はこの點に於て幾多の失敗があつた。農業生産物の不足や富農の投機的突撃によつて農業生産物の價格が著しく上跳ねた。それがために實收賃金は打撃を蒙つた。一九二九—三〇年度に於て額面賃金は九、五%方も、即ち、五ヶ年計畫の豫定したよりも多く引上げられたにも拘らず、實收賃金は、物價騰貴のために計畫に豫定された五、二%に比し僅か三%しか上らなかつた。これは一九二八—二九年度の重大な失敗であつた。そこで一九二九—三〇年度に對する検査數字は前年度のしくじりを是正し實收賃金を押上げることが目的として、一方に、額面賃金を工業労働者には九%方各種被備労働には七、九%方増大し、他方に、豫算指數を三%方引下げ、以て工業労働者の實收賃金一二、五%各種被備労働者の實收賃金一〇、五%引上げを行はんとしてゐる。

實收賃金の斯やうな引上げは文字通り一九二九—三〇年度の戰鬪的任務である。以て工業生産の量的展開及び質的改善を一手に荷なつてゐるのは労働階級であるから、この負擔に酬ゆる所がなければソ同盟の存在意義は消滅すると云はなければならない。だが食料生産物の不足、富農の抵抗、投機業者の攻撃はこの點に於て黨と政府を妨害するから、右の任務を實現することは決して樂でない。

五ヶ年計畫は都市に於ける住宅區域を一億六千萬平方メートルより二億一千三百萬平方メートルに

擴大し、且つ都市住宅建築に約六十億ルーブル投資することを豫定した。斯くて労働者一人分の住宅占有面積を一九二七—二八年度に於ける五五、平方メートルから一九三二—三三年度に於ける七、三平方メートルに擴大せんとするのである。所で一九二九—二九年度に於て住宅建築計畫は實現された。一九二九—三〇年度に於ては建坪約九百萬平方キロメートル建築され、その内約六百萬平方キロメートルは労働階級の住宅必要を充たすものである。

これは一九二九—二九年度と比較し都市住宅建築全部に於て五〇%、労働者住宅建築に於ては八二%の増大である。一九二九—三〇年度に於ける住宅建築への總投資額は約八億五千萬ルーブルで、その内六億七千萬ルーブルは労働者住宅にあてられるものである。これによつて労働人口の住宅面積保障率は幾らか増大する。だが住宅面積保障率の増大は、一九二九—三〇年度に於ける被備労働軍が百萬人以上も増大するので、餘り速かなることが出来ない。

だが労働階級の社會生活及び文化事業を向上する上に於て無休生産と七時間労働制が如何に大きな意義を有するかは再び説述する要がある。無休生産は五日目毎に労働者と使用人を仕事から解放し、七時間労働制は約百萬の労働者を一時間早く仕事から解放する。従つて公共團體、學校、映畫館、劇場等凡ての文化機關は労働階級の文化水準を引上げ、その技術資格を引上げ、全體としての社會發展を圖る上に貢献しなければならぬ。

又この事と關聯して社會主義的競争の問題を説明する必要がある。社會主義的競争は産業計畫を實現し、原價引下げの任務を遂行し、勞働生産率を高めるための助手である。だが社會主義的競争には又他の方面がある。資本主義社會に於ては搾取の壓迫によつて勞働者から勞働の緊張性を奪ひ、その敏捷性、その發明性、その技能を奪つてゐる。資本主義社會に於ては勞働の生産率は困苦と饑餓の惨忍な抑壓下に増大するが、ソ同盟に於ては勞働の生産率、勞働者の熟練化、その規律、その創造力が社會主義的建設の任務に献身するといふ意氣込から増大する。この意氣込を養成するのが、社會主義的競争である。

### 農村の社會主義的改造

第十五回黨大會及び第十六回黨會議は個人主義的小農民經營の低い生産率を克服するには社會主義的方法即ち農業生産の社會化の方法によるより外にないことを決定した。これはレーニンが始終言つてゐた方法であつて、「レーニンは若し農民經濟が今後發展し得るとすれば、今後の移行を固く保障しなければならぬ。而して今後の移行はより少く有利な、そして最も遅れた孤立せる農民經濟を漸次合同し、社會的大土地耕作經濟に組織することにあらねばならぬ」と言つた。

今農村には社會化せる農業扇形の建設が勢よく進展してゐる。貧農及び中農の廣汎なる大衆はこの

方法の正しいことゝ有利なることを來る日來る日の實物教授によつて確信し、ソフホーズ、機械トラクター停留所及びコルホーズの建設を支持しつゝある。反對に、農村の上層たる富農は農業に於けるこの社會主義的行軍を非常な憎惡を以て迎へ、これに對し死に物狂ひの抵抗を以て答へてゐる。その抵抗は穀物買付のサボタージュ、穀物商業を國家の規制から撻ぎ取つて投機の途に持出さんとする試み、富農經營に於ける播種の削減、ソフホーズ及びコルホーズに於ける穀倉への放火、ソヴェート役員の殺害、農村通信員、穀物買付人、村ソヴェート委員等の殺害といふ形態を取つてゐるが、是等は農村の上層たる富農が農業の改造に對して試みつゝある抵抗の個々の現れである。黨と政府はこれに對し或は農村に於ける富農の經濟力を弱めその社會的勢力を取除き、或はその資本主義的根柢を掘り取るが如き方法を以て答へてゐる。

而して黨内に於ける右翼偏向の代表者達はこの富農清算政策問題に就て由々しき動搖を見せ、彼等は富農の反感・憎惡を以て中農大衆の氣分であるとなし、富農に手を觸れず、富農を憤慨させず、その抵抗を喚起させず、これに打撃を與へず、農村の社會主義的改造を實現せんと欲したのである。

然るに黨は、農村の社會主義的發展か資本主義的發展かに就て分け目の闘争が行はれてゐる際、弱氣を起して農業の社會主義的改造の成功に疑ひを抱いたり、農村の矛盾を緩和しやうとしたりすることは富農を援助することになるといふので、右翼偏向に對し全力を以て打撃を與へた。



五ヶ年計畫は農業の領域に於て五ヶ年間に植付反別を二〇%方擴大し（その内穀粒作物の分は一五%、工業原料作物の分は六〇%）、穀粒作物の收穫率を三五%方引上げ、國內の全農業生産を六〇%以上擴大することを豫定した。

五ヶ年計畫は、社會主義的農業改造の方針に對應し、ソフホーズの植付反別を一九二七—二八年度に於ける百二十萬ヘクターより一九三二—三三年に於ける五百萬ヘクターに擴大し、コルホーズの植付反別を同期間に百十萬ヘクターより二百二十萬ヘクターとなし、以て農業中社會化せる扇形の全面積が二千七百萬ヘクターに増大し、五百萬乃至六百萬の農戸を把握し、國內商品穀物の約四三%を出すやう豫定した。

もちろん、これには農村への充分な機械供給が伴はなければならない。そこで五ヶ年計畫は五ヶ年間に農業に對し農業機械十八億七千八百萬ルーブル、トラクター九萬一千臺を與へ、農村に於ける農業機械の總價格を一九二七—二八年度に於ける十億ルーブルから一九三二—三三年度に於ける三十億ルーブルに増大する豫定である。

そこで五ヶ年計畫二ヶ年の成績を見ると次の如くである。

五ヶ年計畫は一九二八—二九年度分として植付反別七%擴大、收穫率三%引上げを豫定した。これが實現の途上に於て富農が死物狂ひの抵抗をなしたので、富農經營の植付反別は部分的に減少した。

それと共に一九二九年の秋は若干の地方に亘り播種上極めて面白くなかつた。それにも拘らず、全國の總播種面積は六%方擴大され、五ヶ年計畫によつて課題された率より少し少なかつた。だがこれでは國內の需要を滿たすには不充分であつた。従つて播種面積の擴大はもつとテンボを速めなければならぬのである。だが富農經營の植付反別縮小及び秋季の天候不順は社會化せる扇形の増大と貧農經濟の植付反別擴大によつて過分に補顧された。要するに、一九二八—二九年度に於ては、右の事情によつて、欲した丈けを獲得することが出来るなかつたが、黨と政府の向ふ方針に沿つては前進した譯である。

農業の總生産高は一九二八—二九年度に於て五ヶ年計畫の豫定に依つて豫想された程には増大しなかつた。穀粒作物の生産高は、五ヶ年計畫では一〇%增收の筈であつたが、五%しか増大しなかつた。家畜業の生産高は四、七%の筈を二、四%しか増大しなかつた。而も大有角家畜及び豚は前年度より縮小さへした。これが原因は、穀粒作物に就ては天候條件の不順と豫想以下の收穫率にあり、家畜業に就ては飼料及び市場條件の面白からぬことにある。

農業の生産高はその多數要素に亘り（穀粒作物、技術作物、索引力等）一九二八—二九年度中決して一所に足踏みせずに進んだ。だがこの前進は豫定より緩慢で、國內の需要を滿たすに必要なよりも少なかつた。

それと共に、農業中社會化せる部分は五箇年計畫に豫定されたより遙かに多く増大した。ソフホーズの植付反別は、豫定は七一%であつたが、二七、五%を、コルホーズの植付反別は、豫定は九四、一%であつたが、二〇七%を増大した。貧農及び中農は期待せるよりも迅速に且つ熱心に農業生産合同の道に進んだのである。

右の事實を勘考し且つ凡ての可能と手段を更に研究し直した上、一九二九—三〇年度に對する農業の検査數字を作成した。その検査數字によつて一九二八—二九年度の不足分を埋め、且つ農業生産及び農業社會化に五ヶ年計畫に豫定せるよりもスピードを加へることになつた。

五ヶ年計畫は一九二九—三〇年度分として播種面積の三、四%増大を豫定したが、検査數字はその五%増大を規定した。殊に社會化せる扇形の播種面積増大には力瘤を入れ、五ヶ年建計畫が一九二九—三〇年度分としてソフホーズ二五%、コルホーズ八一%の増大を豫定したるに對し、検査數字はソフホーズの豫定を二倍とし、コルホーズの豫定を三倍とした。

穀粒作物の收穫率増大は八%と豫定された。農業の總生高は一九二九—三〇年度に於て一六%方増大しなければならぬこととなつた。これは社會化せる扇形と貧農の肩に懸る困難な任務である。だが黨と政府は富農の抵抗を克服し、その抵抗に對し農村の全ソヴェート勢力を動員して、邪が非でもこの任務を遂行しやうと努力した。

五ヶ年計畫は一九二九—三〇年度に於てソフホーズの植付面積を二百五十萬ヘクターにしやうと豫定したが、検査數字はこの任務を三百三十萬ヘクターに擴大した。コルホーズの分は五ヶ年計畫によると一九二九—三〇年度に於て六百萬ヘクターの豫定であつたが、検査數字はこれを一千五百萬ヘクターに擴大した。

その上百二ヶ所の機械・トラクター停留場が活動を始めて、貧農の植付面積百五十萬乃至二百萬ヘクターを耕作せんとしてゐる。それと同時にこれだけの面積から個人經營の境畔を取除いてこの多數農民經營を社會化せる經營の初段階に移すことが出来るのである。

現在全國内には二千六百六十萬の個人農民經營があるが、その内一九二九—三〇年度に於ては約三百萬の經營がコルホーズとなる筈である。この三百萬は全農戶の一〇%以上に當る。即ち十戸中の一戸が一九二九—三〇年度中にコルホーズに牽き入れられる譯である。全國の總植付面積は一億三千万ヘクターであるが、その内一千九百萬ヘクター以上が社會化せる扇形即ちコルホーズ及びソフホーズの掌中に握られるのである。換言すれば、總植付面積の一四%以上が農業社會化を基礎とし、合同し社會化せる勞働を基礎として耕作されるわけである。

現在商品穀物は約一億七千萬ツェントナーであるが、その内約五千五百萬ツェントナー即ち商品穀物の滿三分一は社會化せる扇形によつて生産されることになるのである。農業の社會化はまだほんの

初段階で、最初の歩武を踏出したのみであるのに、この發展は洵に眼覺しいものである。

農業に於て社會化せる扇形を擴大するには農業の機械化、トラクターの大量供給、一般農業手段の廣汎なる配給に俟たなければならぬ。一九二八―二九年度に於て農業は二億二千萬ルーブルの農業機械を取得した。一九二九―三〇年度に於ては四億六百萬ルーブル即ち五ヶ年計畫の期待せるより著しく多く農業機械を取得するであらう。農業は一九二九―三〇年度に於てトラクター四萬臺以上を取得する筈であるが、その總動力は四十一萬馬力であつて五ヶ年計畫の豫定よりも遙かに多い。農業の社會化に連れ、その大經營への移行に従ひ、より動力の大きい、従つて、より有利なトラクターを供給しつゝあるが、この農業機械及びトラクターの供給増大は國內の農業機械製造及びトラクター製造の計畫が五ヶ年計畫の計算と比較して遙かに擴大されたことと相關聯するものである。専門工業は益々廣汎に社會主義的農村改造に對應して進みつゝある。

農業に於ける社會化せる扇形即ちソフホーズ及びコルホーズは農民全體に對するものではない、況して農民全體と敵對するものではない。この社會化せる扇形は農村上層の富農のみと融和し難き敵對關係に立つもので、貧農及び中農に對してはこれらを合同させ、指導し援助してゐるのである。

それ故にソフホーズ、コルホーズ、機械・トラクター停留所の建設と並んで個人農民經營の農業コーペレーション及び工業生産物契約組合への糾合が廣汎に發展しつゝある。

五ヶ年計畫は農業コーペレーションによる農戸の糾合を一九二七―二八年度に於ける三五%から一九三二―三三年度に於ける八五%に増大することを豫定した。そこで一九二八―二九年度に於ては僅か一千百八十萬戸が農業コーペレーションに糾合されたのみであるが、一九二九―三〇年度に於ては一千六百五十萬戸即ち國內全農民經營の六三%が糾合されるであらう。

これと並んで植付面積五千萬ヘクター即ち穀粒總植付面積の四四%は國營播種契約によつて把握されるであらう。これを一九二八―二九年度の二千二百萬ヘクターと比較すれば雲泥の相異である。これは多大の意義を有するものである。蓋し播種作業契約は實にこれにより國家が農作地から穀物の取得を保障されるのみならず、農民は國家からの生産補助を保障され農民生産の斷乎たる改善の途に進むことが出来るのである。

コーペレーション及び契約化は個人主義經營を清算し、農民を社會的生產に訓練し、農民をして團體經營に移る準備をなさしめるものである。

五ヶ箇年畫は豫算及び貸付による農業への投資を五ヶ年間に六十億ルーブルと豫定した。一九二八―二九年度に於て國家は農業振興の諸施設に十二億ルーブルを向けた。一九二九―三〇年度に於てはこれに二十六萬ルーブル投資することになつてゐる。この數字を見ると、ソヴェート政府が「超工業化政策」に走つて農業に充分の注意を拂はないといふ見方は當らない。もちろん、政府の支出は社會

化せる農業に對するものが最も多く増大してゐる。一九二九—三〇年度に於て舊ソフホーズは前年度の七千九百億ルーブルに對し一億九千五百萬ルーブルを受け、「穀物トラスト」の新しいソフホーズは前年度の七千億ルーブルに對し一億七千萬ルーブルを受け、機械・トラクター停留所は三千萬ルーブル、コルホーズは前年度の一千百萬ルーブルに對し三億二千萬ルーブルを受け、コーペレーションは一億四千二百萬ルーブルに對し二億四千六百萬ルーブルを受けることになつてゐる。政府は社會主義的方法に依る農業振興にドシムと財源を向けてゐるわけである。

かういふ譯で農業の奥底では今社會主義的經營體系と資本主義的經營體系の二體系が非常な競争、酷い闘争をやつてゐる。一九二九—三〇年度には十戸中の一戸がコルホーズに牽込まれ、セデシヤチン中の一デシヤチンが社會化せる經營に屬することとなる。數百の機械化せる大穀物工場、百二ヶ所の強力な機械・トラクター停留所はそのトラクター隊を廣大な野良に繰出す。かくて農業生産と農村の生活に革命は持込まれるのである。だから舊い個人農民經營と農業産物の投機を保持せんとする富農階級との間に最後の、そして必死の闘争が行はれるのである。この闘争に於て政府と黨はこの機会を逸せず農村に於ける資本主義の古根を根こそぎに掘取らうとしてゐるのである。

だがこの途上には尙ほ運算と失敗が待つてゐる。五ヶ年計畫最初の一年は如何なる困難がこの途上に横はつてゐるかを示した。だがそれと同時にこの經驗は社會主義工業の掌中に、そしてソヴェート

農村の底に農業生産の社會化といふ問題を解決し得る力のあることをも示したのである。

### 消費の組織

五ヶ年計畫及びその第一、第二年の生産的及び建設的任務は右の如くである。この生産的任務と並び、ソ同盟に於ける基本建設の大計畫と並んで巨大な意義を有するは消費の問題である、即ち廣汎なる住民大衆に對する食料品、工業品及び一般日常必需品の供給問題である。

これが解決への途には多大の困難がある。十月革命は資本主義的搾取の抑壓を取除けて、一億五千萬人口の廣汎なる大衆に消費を眼覺ました。然るに、前革命期ロシアの農業も工業もこの老大な消費増大に何等準備する所がなかつたのである。此處に於て今日工業品及び農産物の不足が生ずるのである。

上記の品く政府が農業生産の擴大に努力してゐるのは單に農産物の國內需要を完全に満たさんがためのみならず、これを廣く外國に輸出して外國技術の生産物と交換せんがためである。そこで五ヶ年計畫は一九三二—三三年度に於て穀物の輸出を八千萬ツェントナーに増大せんと豫定した。

がこの任務を解決するには農業が社會主義工業の肩にシツカリと依據するやうにならなければならぬ。蓋し農業を技術上に武装させこれを前進させるものは發達せる工業を措いて他にないからであ

る。既に述べた所によつて、工業が発達しつゝあること、單に生産手段の生産のみならず、一般消費物資の生産も發達しつゝあることは明瞭である。併しまだ近き將來に於て輕工業を廣大な市場に供給させ得る程に發達させるためにより多くの資金を與へることは出来ない。自國の機械工業、よく發達した冶金業、燃料等がなければ、産業は發達しない。さればどうしても重工業の強大化を拒否するわけに行かない。蓋し重工業の強大化がなければ全國の工業化も、資本主義諸國からの獨立も覺束ない。そこで五ヶ年計畫は、全人口の營養改善と共に、工業物資の商品饑飢を先づ緩和し次いでこれを完全に清算する豫定を立てた。その計算に依ると、一九二八—二九年度及び一九二九—三〇年度は尙ほ著しい商品逼迫を以て進むが、一九三〇—三一年から轉機が到來して、工業品の供給が殆ど完全に住民の支拂能力ある需要をカバーする筈になつてゐる。これに際し一人前消費は綿織物は一五、メートルから一一、三メートルに、毛織物は〇、四八メートルから一、一メートルに、靴は〇、四足から〇、七足に、砂糖は七、七キログラムから一三、九キログラムにといった工合に増大する。

換言すれば、五ヶ年計畫は幾多重要工業品に就て一人前消費規準を二倍乃至これに近いだけ増大せんと豫定してゐるのである。

これと並び、パンの消費は一九二七—二八年度に安定するとして、肉の一人前消費は都市に於ては四九キロから六二キロに、農村に於ては二二キロから二六キロに、鶏卵は都市に於ては九〇箇から一五

五箇に、農村に於ては四九箇から七二箇に、獸乳生産物は都市に於ては二一八キロから三三九キロに、農村に於ては一八三キロから三三八キロに増大することになつてゐる。

だが五ヶ年計畫第一年度が農産物及び工業品の不足を來したことに鑑み、その正しい配給には全力を注がなければならない。而も先づ第一に労働階級・貧農・中農大衆が保障されるやうな供給組織を作らなければならない。

食料供給の組織は一九二九—三〇年度の最も困難な問題であらう。一九二九年は、作柄の分布は前年度より好かつたが、總收穫は大して變りなかつた。ウクライナと北カフカズは一九二八—二九年度に於て、工業地方への穀物供給に大した役割を演ずることが出来なかつたが、一九二九—三〇年度は豊作であつた。その代り東部地方即ちシベリヤ、ウラル、カザクスタンに於ける状態は一年前より著しく悪い。

併し、斯くの如く作柄は前年度と殆ど同様であるに拘らず、一九二九—三〇年度はより多くの穀物供給を保障し得るであらう。何となれば、第一に、一九二九—三〇年度は最初から穀物の基準化せる給付をなして居り、従つて、前年度當初の如き浪費を避けてゐるからであり、第二に、ウクライナ及び北カフカズの豊作によつて穀物買付が樂になるからである。それ故に一九二九—三〇年度の穀物買付計畫は前年度のそれより遙かに高い。

併し一九二九—三〇年度に對する検査數字は各種都市住民への穀物供給基準を前年度より引上げないといふことを起點としたものである。これは充分穀物のストックがなければ、國家の穀物資源がなければ、正しい經濟を行ひ得ないといふのでかうした譯である。穀物資源のない所へ意外の不作でも來れば經濟建設の行程は忽ち破壊されるので、要慎の上に要慎した譯である。それ故に検査數字は穀物費消の節約、穀物の基準給付、穀物餘量の蓄積を實行せんとしてゐるのである。

農村の富農は國家的規制の手から脱れて穀物投機の道に飛出さうとあらゆる努力をなしてゐる。そこで政府は一九二九—三〇年度に對する供給組織を設定し全經濟畫計を遂行するための重要な前提として、もつとキツク富農を締めつけ、常等をして穀物を國家に引渡させ、完全に穀物買付計畫を實行せんとしてゐる。

都市住民に對する肉、鶏卵、野菜、穀粉、茶、植物油、バター等の一人前供給は前年度と同様か或は幾分増加する。是等物資の生産状態は一九二九—三〇年度に於て著しく消費を擴大する可能を與へない。且つバター、鶏卵、或る種の肉類は或る程度まで輸出を拒否する譯に行かない。現在穀物輸出は不可能である。それ故に穀物輸出に換へ得る凡ての可能を動員し、以て設備、原料、機械の輸入を阻止せぬやうにしなければならぬ。蓋し是等を輸入しなければ全國の工業化は不可能である。社會主義建設に關する大任務を果すためには今日の消費を多少制限しなければならぬ。これが個人消費に對

するポリシーエウイキの見解である。

都市への食料供給に於て最も弱い部署は肉類市場である。前年度に於て有角大家畜の数は極く僅かしか増大しなかつた。豚の数は幾らか減少した位である。家畜業は、穀粒經濟と同様の大發展施設を要する。政府は家畜業ソフホーズ、大牛乳農場の建設に着手した。併し肉類供給の不足は從來斯業の大部分が個人經營者の手にあり、コーペレーションの經營がごく僅かしかなかつたことにも歸因する。

かゝる事情であるから一九二九—三〇年度に於ては都市人口殊に先づ労働人口に對する農産物の基準供給範圍を幾らか擴大しなければならぬ。鶏卵、バター、肉類は食料手帳によつて交附されてゐるが、これは都市に於ける食料市場に著しく整頓と安心を與へてゐる。この制度が或る非プロレタリア的、殊に、非労働階層の利益を害する事は論を待たぬが、一九二九—三〇年度に於てはこれに對し確固たる方法を講ずるであらう。

労働者の實收勞賃問題が一九二九—三〇年度に取つて如何なる意義を有するかは既に強調した所である。又一九二八—二九年度に於て労働者の實收勞賃が、食料物資騰貴のため、計畫に豫定した程増大しなかつたことも指示した。一九二九—三〇年度に對しては労働生産率の向上、生産原價の引下げの任務を課した。労働生産率二五%引上げ、生産原價一%引下げ—これは検査數字に掲げられた實

收勞賃一〇%乃至一二%増大を保障せんがために要求された任務である。だがこの事は先づ、國定價格に依つて勞働者への食料供給を正しく狂ひなく組織することを意味するものであるから、これがために他の住民階層の利益が幾らか縮小されるかも知れぬことは我慢しなければならぬ。一九二九—三〇年度の經濟建設に於てこの問題は隠すことなく、胡魔化することなく直截に提起されなければならぬ。検査數字にはその通りに提起されたのである。

この事は又消費組合に多大の責任を課するものである。消費組合はその全組織力を發揮して食料供給の仕事に當らなければならぬ。消費組合が凡てを自然の儘に放置すれば、投機のパツコ、物價の騰貴、實收勞賃の低下を來すのみである。反對に、消費組合が鞏固な組織力を以て積極的に活動すれば、多少物資の不足はあつても、豫定の食料供給計畫を遂行させ、實收勞賃の増大を保障し得るのである。

困難な問題は工業品供給の方面にもある。前年度に於ては穀物買付計畫をうまく實行するため、都市への供給を著しく縮小して商品を農村に送らなければならなかつた。

穀物買付の成績を擧げるためには一九二九—三〇年度に於ても農村への工業品供給を相當充分にしなければならぬ。だがそれと共に本年度に於て都市住民への工業供給を増大する必要がある。

前年度に於ける都市農村間工業品分配の規準は検査數字に於て都市に有利なやうに改定された。

検査數字に於ては所謂工業品の需用供給のバランスを作製するやうに習慣づけられてゐる。これは非常に複雑且困難な仕事である。その困難にも拘らず逐年需用及供給間の相互關係は發達しつつある。一九二九—三〇年度に對する推計は、全國人口の工業品に對する需用が一〇、三%方増大し、その供給が一、二%方増大することを示してゐる。

かくて今後商品饑饉の尖鋭化は起らず、且多少ではあるが、その緩和を來すであらう。もちろん、工業品の供給並に農産物の供給に於ては、現在非常に大なる役割と責任が消費組合の肩に懸つてゐる。消費組合は一九二九—三〇年度に於て都市消費者の七一%及農村消費者の三六%五を網羅する豫定である。一九二九—三〇年度の集計に依ればどれだけ消費組合が社會主義建設の重大な任務を果し、どれだけ經濟發達の困難なる段階に於て國家を援助するために成熟したかを察することが出来る。消費組合化せる住民の廣汎なる自己活動、黨組織及勞働組合組織の消費組合事業に對する絶大なる注意は本年度に於て保障されなければならぬ。

經濟建設の大きな問題は價格の問題である。五ヶ年計畫は工業品價格二三%引下げ及農業品價格一〇%引下げを豫定し、單に物價の一般水準を引下げるのみならず更に「鉄」の接近を計つてゐるのである。一九二八—二九年度及一九二九—三〇年度はこの年に於て五ヶ年計畫の指令よりいくらか隔たりがある。一九二八—二九年度に於ける農産物の買付價格指數は計畫に豫定されたよりも高かつた。

これに相當して工業品の價格も豫定の額程下らなかつた。

一九二九—三〇年度に於ける景氣的困難は一九二八—二九年度の欠陥を補填し且五ヶ年計畫豫定の價格引下げを完全に實行することを許さない。價格引下げ問題の解決は稍延引されるであらう、だが如何にしてもこれを解決しなければならぬ。一九三〇—三一年に於ては新しき力をもつてこの仕事に肉迫しなければならぬ。

以上は五ヶ年計畫第一年の通過せる道程と將に通過せんとするその道程の延長であつた。然らば第二年は？

## 2 産業五ヶ年計畫第二年の實績と第三年の展望

國民經濟五ヶ年計畫殊に産業五年計畫第二年目の實行成績に就ては、一九三〇年六・七月の第十六回黨大會に於て當時最高國民經濟會議々長クイブイシエフ（現在ソ同人盟民委員會々長代理兼國家計畫委員會議長）がなした當該計畫の遂行に關する廣汎な報告が殆ど凡ての範圍を把握してゐるか、左にその全報告を譯出しやう。この報告がなされた時は一九二九—三〇年度即ち五ヶ年計畫第二年目の前三四半期が経過した時であるが、この報告は第二年目の殆ど全成績と見て差支へない。

### 第十五回黨大會より

### 第十六回黨大會まで

「第十六回黨大會は我が社會主義的産業が根本に於てその復興期を完了して廣汎なる改建の途に上つた時に召集された。

革命の發展に於ける大轉機の年に召集されたこの第十六回黨大會は社會主義的産業の仕事に於ける大なる諸達成の證人である。



新經濟政策への移行を宣言した第十回黨大會から第十六回黨大會まで六年の歳月が流れた。我が社會主義的産業が混沌から脱出して戦前の生産水準に到達するためには六年を要したのである。

第十五回大會から第十六回大會までは僅か二年半しか経たない。第十五回大會に於て達成された戦前の水準を二倍化するためには、我が社會主義的産業に取りこの短期間で充分であつたのである。そして来るべき一九三〇—三一年の僅か一年間に産業發展のテンポは著しく促進され、その結果として産業生産の戦前水準は三倍加するとを我々に約束してゐる。

次に敵の側より狂ほしさ憎惡の爆發を、そして我が友の側より歡喜の感情を喚起しつゝある幾多の數字を挙げやう。混沌から脱出して戦前の水準に到達するには六年、この水準を二倍化するには二年半、この生産水準から三倍化された戦前水準に移る事には一年。ツアール産業が十數年の結果として到達した所のものをプロレタリア・デクタワーラの國は、その制度の特殊性と數百萬勞働者の産業建設に於ける積極的參加とにより、僅か一ケ年間に獲得することが出来るのである。

併し本年の産業發展の歴史的意義は此處にのみあるのではない。本經濟年度は、五ケ年計畫の第二年であり、該計畫の検査の年である。單にその遂行のみならず、その過剩遂行の現實・可能の検査の年である。

この五ケ年計畫が單にブルジョア經濟學者のみならず、私が黨の右翼偏向者から如何に迎へられた

かを想起しやう。

ドイツ經濟「ロシヤ」委員長クレメルは五ケ年計畫に關するその演説に於て「若し五ケ年計畫を五十年間に遂行し得たとしたら、それこそ大したものである。併しこれはユートピアだ、」と言つた。こんな露骨ではないが、その本質に於てこのクレメルと大差ない批判を我が専門家達も五ケ年計畫に浴せかけた。

「最高國民經濟會議の數字はこの五ケ年間にとつて可能なことの境界を脱してゐる」とボゴレボフ教授は我が制度の中にある特殊性と可能を充分に解りもしないで言つた。

もう一人の専門家カリンニコフ教授はもつと明確に言つた。

「私は國家計畫委員會に於ては最高國民經濟會議の五ケ年計畫を、恐らく、若し十ケ年分でないと思ふ、八ケ年分として評價するだらうと思ふ」と同教授は言つた。即ち我々が五ケ年間に遂行せんと豫想した計畫は、カリンニコフの意見に依れば、八年乃至十年でなければ遂行し得ないのである。

是等の經濟學者と外國の經濟學者とは我が五ケ年計畫案をユートピアと認めることに於て全く一致してゐるが、強ひてその間に相異を求めれば、これが實現の蓋然性をあちらでは五十年ケとし、こちらでは十ケ年と評價してゐるだけである。

斯くの如く五ケ年計畫實現の可能を信じないからこそ、もとの右翼反對派首領達は全國工業化五ケ

年計畫に換ふるに全國農業化二ヶ年計畫を以てせんと提案するのである。

今や五ヶ年計畫の作用の或る集計及び結果を決算するに充分の期間が過ぎた。何を我々は有するか、五ヶ年計畫の初め二年間に我々は何を獲得したか？

産業生産の領域に於て五ヶ年計畫は一九二八年に於てその成長が二一、四%を構成するといふことから出發した。だが實際に於て我々は二三、七%を有してゐる。一九二九—三〇年度に於ては二一、五%を有する積りであつたが、三二%を有するであらう。一九三〇—三一年度に於て五ヶ年計畫は二二%を豫想したが、今や四七%方の増大を立案した。そしてこの増大は恐らくもつと大きくなるだらう。斯くの如く五ヶ年計畫の初め三年間に産業生産の増大は五ヶ年計畫にとつて豫想された一八〇%に對し二五〇%である。換言すれば、一九二七—二八年度に於けるより、五ヶ年計畫によつて豫想された一、八倍ではなくて、二倍半多くの生産を有することになるのである。

幾多の重要産業部門に互り、タワリシチ・スターリンの報告した如く、五ヶ年計畫は三年間に遂行され、或る部門に於ては更に短い期間に遂行されるであらう。

産業の基礎資本への投資の領域に於て五ヶ年計畫は一九二八—二九年度に於て十六億五千萬ルーブル、一九二九—三〇年度に於て二十三億三千万ルーブル、一九三〇—三一年度に於て二十八億七千九百萬ルーブルといふ仕事の容積から出發した。所が實際に於て我々は一九二八—二九年度に於て上

掲の數字を、そして一九二九—三〇年度に於て三十九億六千萬ルーブルを有した。そして一九三〇—三一年度に於ては五十五億ルーブルを有するであらう。換言すれば、五ヶ年計畫効力發生の初め三年間に於て産業に於ける基本建設は五ヶ年計畫の豫想せる六十八億六千萬ルーブルに對し百十億八千七百萬ルーブルを構成してゐるのである。五ヶ年計畫は五ヶ年間に百三十五億ルーブルを産業に投下する豫定であつたが、我々は既に三年間に百十一億ルーブルを投下するのである。

今や何人か我が五ヶ年計畫がユートピア的であり現實的でないと主張し得るか。見よ、右翼反對派の首領たちは五ヶ年計畫の批判の貧弱なことを承認し、其の批判を取消さざるを得なくなつたではないか。

彼等は事實によつて倒されたのである。資本主義諸國新聞の「ボルシエヴィキ的空想」に對する嘲笑は狼狽に變り、軍事的攻撃によるも五ヶ年計畫の遂行を阻止せんと一筋に我々を威嚇しつゝあるではないか。

我々の舊知レスリー・アークハートは一アメリカ雜誌に次の如く書いてゐる。

「我々は、若しソヴェート政府が産業復興五ヶ年計畫を處理するとすれば、彼等の手には我々の全文明を破壊するか或は兎に角最も甚しい打撃を與へる力が握られることを確信する。」

我々にはアークハート君を慰むべきものがない。ソヴェート國家は、極めて迅速に五ヶ年計畫を處

理しつゝある、そして同君は、その文明が、アークハートの文明が、資本主義の文明が、搾取と略奪の文明が我國に於てシカク迅速に建設されつゝある社會主義によつてホントに破壊されるであらうことを信じなければなるまい。五ヶ年計畫の勝利は資本主義に取つて死である。

官憲に接近して居るドイツ新聞「ケールニセ・ツァイツング」は叫んで曰く「若し五ヶ年計畫が成功すれば、これはヨーロッパの悲しみである。」

ドイツ財界巨人ソールメンは公會の席上に於て次の如く聲明してゐる。

「ボルシェヴィズムの攻勢は遅かれ早かれヨーロッパ諸國をして共同戦線を組織させその手に劍を握らせるであらう。」

茲には最早何等のテレカクシはない、フランス、ポーランド、ドイツその他の新聞の調子は益々露骨になりつゝある。

産業家クレザテルは「ドイツチ・ベルハート・ツァイツング」に於て資本家を非難し鞏固化しつゝあるボルシェヴィズムに反撃を與へんことを勧めてゐる。彼はソ同盟に秩序及、もちろん、私有財産制度が復興せぬうちに、峻厳なるソ同盟の封鎖を組織せんことを勧めてゐる。

一九三〇年二月十七日附「ニューヨーク・タイムス」に於てジュランチはソ同盟に對する侵略性増大の原因に論及して、これが原因は一にソ同盟の工業化である看破してゐる。

更にジュランチは曰く「ヨーロッパはソ同盟の競争が經濟的及政治的に何を意味するかを理解しなかつたが、今やヨーロッパの指導者達はこれを理解し始めた。」

彼等は、もちろん、ソ同盟に對する憎悪の原因を理解し始め且これを露骨に喋々し始めたのである。

例へば、アーノルド・レフベルグは、ドイツ鑛山業機關紙に於てソ同盟に對する露骨な反感を披歴し、ソ同盟が五ヶ年計畫を實現するのはヨーロッパの過剰人口六千萬人の死滅を招來するものであるといふが如き口吻をもらしてゐる。

アーノルド・レフベルグはこの死滅しつゝある數千萬人の擁護者であるが如き顔をしてゐる。もちろん、彼はソ同盟に對する宣戰布告以外是等數千萬人の擁護手段を何等考へつかないのである。然しドイツ新聞はアーノルド・レフベルグのソ同盟に對するこの憎悪の眞の理由を暴露した。即ちドイツ新聞「ヴェルト・アムアペンド」は、その眞因を次の如く暴露してゐる。

「我々はレフベルグの頑強な強請の秘密を暴露しない。ドイツ及フランス領土エルザスのカリ工場主達はカリの世界的獨占者である。然し近年彼等にはソ同盟なる競争者が現れた。ソレカム・カリ鑛脈はドイツとフランスを共にしたよりも大きい。ソレカム・カリの發見と共にアーノルド・レフベルグの反ソヴェート運動が始つたのだ、ライフェルグ・コンツェルンの獨占は脅威を感じてゐる、それだから早くソ同盟に對する十字軍を布告しなければならないのだ。」

かくしてこの間には何等の詩もない。この資本家の武斷性は頗る簡單に且散文的に説明される。即ちレフベルグは自分の財布を心配してゐるのである。だが彼は、もちろん、單簡な人間ではない、彼はその會社の利益及その尊い株主達を論據としてはソ同盟に對し大衆を動員することが出来ないことを理解してゐる。それ故に坊主や社會主義者諸君と同盟して彼は「文明救済」の名に於て、資本主義によつて飢餓に運命づけられた數千萬人の餓死を救済するとの名に於てソ同盟に對する十字軍を叫んでゐるのである。而してこの數千萬人の大衆たるや失業者常備軍をなすものであつて、資本主義制度の諸矛盾の表現であり反映であるのである。この資本家の意見に依れば、これ等數千萬大衆の貧窮は、迅速に社會主義制度を建設し、迅速にその經濟を發展させつゝあるソ同盟に罪があるといふわけなのである。然り、我々は國際資本幹部達の斯の如き赤裸々な咆哮を聞く以上、五ヶ年計畫は議論の餘地なき事實であると言ひ得るのである。

それ故に我々の敵が周章狼狽してゐるのは即ち彼等が資本主義制度の存在そのものを脅びやかすつゝあるその敵對勢力の發展を感じたからである。

先進資本主義諸國に追ひ着け追ひ越せのスローガンは未曾有のテムボを以て實現されつゝある。

即ち茲に我々に對する資本家達の憎惡増大の根を求めなければならぬ、茲に我々に對する戦争準備の原因、ソヴェートの國を封鎖をもつて壓殺せんとする試みの原因を求めなければならぬ、又茲に世

界プロレタリアート及全被壓迫者、被搾取者の我々に對する同情増大の理由を求めなければならぬ。そしてこの事にこそ我々が五ヶ年計畫のための闘争に於て勝利し且社會主義の勝利、××××××××が保證されることの最もよき保證があるのである。

### 改建の道

五ヶ年計畫が資本家達の動物的憎惡を呼び起すことは頗る當然である。何故ならばこれは全國民經濟の社會主義的改建に關する偉大なる仕事の計畫であるからである。そして又この事業に莫大なる困難の伴ふことも疑ひない。國民經濟の社會主義的改建の偉大なる任務、我が同盟の經濟的獨立の確保、その國防能力の鞏固は全國民經濟殊に工業の技術的基礎の根本的改建を要求した。

工業の社會主義的改建の過程は何を表示したか。

この過程は、先づ第一に、工業建設の廣汎なる計畫の實行を表示した。蓋し工業發達の水準が低ければ社會主義などあり得ないからである。第二にこの過程は廣汎なる電化計畫の實行を表示した。蓋しこれを基礎としてのみ始めて工業的及國民經濟的發達の必要なる水準が保證され得るのである。第三にこの過程は社會主義の基礎たる重工業の優先的發達の保證を表示した。第四にこの程は自國機械工業の發展を表示した。蓋し自國機械工業を基礎としてのみ始めて國民經濟全部門の

工業化の必要なるテムボ及我國の資本主義諸國に對する隷屬からの解放は保證され得るのである。第五にこの過程は新産業及新産業部門の發達を表示した。第六にこの過程は化學研究的及地質調査的作業の廣汎なる發展を表示した。第六にこの過程は産業の最も合理的な地理的配置を表示した。第七にこの過程はかくれたる資源を開發し工業に於ける無駄を排除し産業を合理化することを表示した。

迅速なる社會主義的改建の前提は黨の社會主義建設事業のレーニンの指導であり、廣汎なる勞働大衆の自己活動及政治的積極性の巨大なる振興であり、工業プロレタリア成員の鍛鍊であり、最新外國技術の我が産業への扶植であつた。

然らばこの社會主義的工業改建の過程は如何に解決され、如何に進んで來たか？先づ建設綱領である。黨が五ヶ年計畫を確認する時に採擇した建設綱領の遂行は如何に進んだか？基本工業建設の全綱領は不變價格に於て百八十六億ルーブル、原價引下げを算定せる相當年次の價格に於て百三十五億ルーブルと決定されてゐた。右金額中七八、八%は重工業にあてられた。斯の如き基本作業の計畫は産業基礎資本の額及構造の著しき變更を豫想した。A群即重工業の基本産業資本に於ける比率は五ヶ年計畫の末までに(一九二八年十月一且現在五七%に對し)七五%まで、而して絶對數字に於ては三倍半増大すべき筈であつた。全生産の二〇%以上はこれを最新世界技術によつて建造された新らしき工場より採る筈であつた。以上がこの計畫の概要である。この概要は己に基本産業建設計畫に立案された

る規模に於て充分の概念を與へてゐる。即ち投資總額百三十五億ルーブル、その内重工業への投資七八%、而して基礎資本の絶對額に於て三倍半の増大これである。これが大作業の計畫であること、その實現が非常に大なる困難を伴ふべきことは毫も疑を容れない。

然らばこの計畫は如何に遂行されて來たか？一九二八—二九年度に於て投資總額は五ヶ年計畫の豫定に相當してゐる。一九二九—三〇年度に於ては豫定即ち二十三億三千百萬ルーブルより著しく多く三十九億六千萬ルーブルである。而して一九三〇—三一年度分は五ヶ年計畫により五十五億ルーブル投資する豫定となつてゐる。即ち三年間に六十八億ルーブルに對し百十億ルーブルである。然し重要なことはこればかりではない。我が産業に對するこの投資の方向である。重工業に於て我々はこれ迄の年度に於て又來年度に於て五ヶ年計畫豫定の著しき超過を見てゐる。輕工業に於て我々は略五ヶ年計畫實行の範圍に於て進んでゐる。但し一九三〇—三一年度分は五ヶ年計畫に於けるよりも稍數字の減少を見せてゐる。全體として基本建設五ヶ年計畫は五ヶ年間でなく三ヶ年半乃至四ヶ年間に遂行されるであらう。而してA群に至りては三年間に遂行されるであらう。なぜなればこの三年間に、我々は重工業に對し五ヶ年計畫が全五ヶ年間に百億ルーブル投資する豫定であつたのに反し、九十七億ルーブルを投資せんとしてゐるからである。

産業の現役基礎資本は次の如く増大してゐる。即ち一九二八年十月一日現在六十七億ルーブル、一

九三〇年十月一日現在百億ルーブル、而して一九三二年十月一日現在には百三十億乃至百四十億ルーブルとなるであらう。斯の如く基礎資本は三年間に二倍となる。諸君は産業基礎資本が僅か三年間に二倍になつたといふやうな國を何處で見たか。而もA群即ち重工業の基礎資本に於ける比率はこの短期間に五七、五%より七二、八%に即ち五ヶ年計畫により五ヶ年の末に豫想されたと同様に増大しつゝあるのである。私はこの計畫に含まれてゐる基本建設の對象を全部詳細に列挙することは出来ない。そこでその内の最も重要なものに言及しやう。先づ私は我々が既にその技術的水準に於て西ヨーロッパ及アメリカの最も優秀なものと競争し始めた幾多の大企業を有することを述べたい。かゝる企業に屬するものはこの大會中に竣工せるスタリングラード・トラツクター工場、優秀なるアメリカの工場に劣らざる「クラスヌイ・プチロウエツツ」製鐵所、從來農業機械製造の方面に於てあつたすべてを凌駕するロストフ農業機械工場である。

其他近く竣工せんとする「エレクトロシイラ」發電所は強力な發電機を多数据付け西ヨーロッパの優秀企業と肩を並べるであらう。又モスクワに於ける電気工場、バクーに於ける石油精製工場、アルハンゲリスクに於ける製材工場等がある。

一九二七—二八年度に於ては營業を開始せる大事業が五十九、その總額一億五千六百ルーブルに過ぎなかつたが、一九二九—三〇年度に於ては既に二百二十一の企業、その總額八十三億三千六百萬ルー

ブルが營業を開始せんとしてゐる。尙ほ著手せる計畫の規定を示す一つの數字がある。目下計畫中に屬する凡ての企業の總額は、一九三〇年十月一日現在の全基本産業資本が百億ルーブルなるに對し、百二十億ルーブルと決定されてゐる。これはマグニトゴルスキー工場、クズネツツキー工場、ドネプロコムピナート、チエリヤビンスキー・トラクター工場、ハリコフスキー・トラクター工場、ニジエゴロツキ自動車工場、モスクワ、ニージニー及びハリコフに於ける旋盤製造工場、ベレズニヤキ及ボブリキに於ける化學コムピナート、ドンバツス、シベリア及ウラルに於ける大炭鑛等々が建造中に屬するこゝをもつて明かである。これ等を集計すると其の建設費總額は百二十億ルーブルに達するのである。

最近二年間に於ける我が建設事業の特徴は新建設の大躍進である。最初の建設に於ては一九三〇—三一年度の作業計畫を以て既に着手せる工事の終了すべき年としてあつたが、我々は既に一九二九—三〇年度の基本作業計畫に於てこれを遂行せんとしてゐる。

左に一九二九—三〇年度の計畫に於ける新計畫を前初年度と比較して見やう。即ち一九二六—二七年度に於て新計畫は全基本作業額の一四、四%を占め、一九二七—二八年度に於て二一、八%を占め、一九二八—二九年度に於て二九、六%を占めてゐるが一九二九—三〇年度の計畫によれば三七、八%にして、即ち基本作業に支出された資金の三分の一以上が新計畫に向けられてゐるのである。

斯の如く資本投下が絶えず増大する結果として逐年勞働者の「資本武装率」が増大した。一九二七—

二八年度より一九二九—三〇年度までに労働者の「資本武装率」は労働者一人につき四千二百ルーブルから五千八百五十三ルーブルに、即ち三九%方増大して著しく大なる労働生産率を保證したのである。

### 五ヶ年計畫

巨大なる産業建設期の初期たる現下の特殊的諸條件は電力基礎その他の如き最も重要な産業部門に非常な努力を拂はしめずには置かない。諸君の知る如くウラヂーミル・イリツチは電力殊に電化の意義を強調した。コムソモール第三回大會に於てウラヂーミル・イリツチは次の如く言つた。

「我々は若し産業及農業を復興せざれば、 $\times\times\times$ 社會を建設することが出来ないことを知つてゐる。而もこれ等は舊き行り方によらず、最新の技術による近代的基礎に基き復興しなければならぬ。諸君は電化がこの基礎であり、全國、全産業及農業部門の電化が行はれる時始めて、この任務を獲得し、始めて諸君は自分のために、諸君の舊世代が計畫し得ない $\times\times\times$ 社會を建設し得るのだといふことを知つてゐる」。

レーニンが唯一現實的經濟計畫として國家電化委員會の計畫を重要視したことは彼が經濟計畫の樞軸として動力殊に電力を認めてゐたことを示してゐる。現代技術の諸傾向は全くこのレーニンの見解の正しいことを裏書してゐる。技術の運動は動力を採用する産業の非常なる増大の方向に進みつゝ

ある。電力がなければ不可能なる生産過程の自動化は動力を第一位のものとして重要視せしめつゝある。而もこの「第一位」なるものが常に我が經濟に於ける「病所」となつてゐるのである。我々は今動力の方面に於て大なる困難に遭遇してゐる。我々は各種の燃料困難を経て、今や幾多の地方に於て電力饑饉に當面しつゝある。ドンバツスの如き、レニングラードの如き、モスクワの如き、ニジエゴロツキー區の如き、ウラルの如きそれである。かくて電力問題は我が國の殆んどあらゆる工業地方にとり日常實踐の最も緊急なる問題となり、全社會主義建設の決定的諸問題の一となりつゝある。

労働生産率の引上げは我が全經濟政策の中心任務である。而して労働生産率の水準は屢々労働者の動力武装率の増大の直接機能である。そして茲に我が労働者とアメリカ労働者の動力武装率の水準を比較するならば、大に寒心すべきものがある。一九二五—二六年度に於てアメリカに於ては労働者一人につき消費される動力は七千三百キロワット時なるに對し、我が國に於ては僅か二千三百キロワット時にして、アメリカより三倍方少い。一九二七—二八年度に於てはアメリカに於ては労働者一人につき八千八百キロワット時なるに對し、我が國に於ては三千二百キロワット時であつた。最近電力化の發展と關聯して我が労働者の動力武装率も稍變化・増大しつゝある。即ち一九二八—二九年度に於て我々は労働者一人につき三千七百キロワット時を有し、一九二九—三〇年度に於て四千四百キロワット時を有してゐる。右は目下開催中の國際動力會議に於て聲明されたところである。而して一九三〇—

ぬ。年度に於て我々は労働者一人につき五千二百五十キロワット時の動力武裝率を有しなければならぬ。三二即ち來年度に於ても、電化事業に對する投資が大なるにも拘らず、我々は未だ労働者一人に對する電力量に於て遠くアメリカに及ばないのである。この點に於て我々は如何にもして近き將來ヨーロッパ及アメリカに追ひ着き追ひ越さねばならぬ。我々は新らしき社會主義的産業を建設し、その實質に於て新しき生産部門、新しき産業地方を創りつゝある。そして我々は、もちろん、これ等凡ての地方に新しき産業部門を創るに當り、やがて労働者一人に對する西ヨーロッパ及アメリカの電力消費規準に到達するやう、我が動力を計畫だて且發展させるといふ任務を負はなければならぬ。若し我々がこの動力武裝率に到達するならば、我が發展のテムボは現在よりも増大するであらう。蓋し労働生産率はこの動力武裝率の増大により從來よりも著しく多く發展するであらうからである。労働生産率は結局ウラヂーミル・イリツチの言つた如く最も重要なものである。それ故に我々は労働生産率引上げの必要を起點とし、且動力武裝率がこの労働生産率の最重要な要因であることを念頭に置き、最も大なるテムボをもつて動力建設の方面に進み、もつと早く我が産業の動力技術的基礎を創らなければならぬ。

然らば全國電化計畫の實行はどんな工合に進行してゐるか。この計畫は現に實行されつゝある。先に國家電化計畫委員會の計畫に於て十ヶ年乃至十五ヶ年後と豫見されたものは十年間に達成されるであらう。元來十年間といふ勘定は我が國の發展事情が特に好適な場合を豫定して樹てられたものである。そこには外債も利権も念頭に置かれてゐたのである。ところが我々は極めて面白からぬ條件を有し、何等の外債をも得ざりしに拘らず、労働階級自身の努力によつて十年間に國家電化委員會の計畫を遂行し得るのである。而して一九三一年には國家電化委員會の計畫はその物質的表現に於て遂行されるであらう。

然しロシア電化國家委員會の計畫は産業及全體としての國民經濟の發展テムボを今日あるが如きものと豫見しはしなかつた。それ故に國民經濟の發展に比例して我々は未だロシア電化國家委員會の計畫によつて豫想されたものを取得してゐない。我々は發電所建設、動力供給の方面に於て右計畫の物質的部分を遂行しつゝある。だが電力と産業の間に豫定された比例は未だ遵守されてゐない。それ故に我々はこの部署に肉迫しなければならぬ。今我が諸企業に對する電力供給の方面に見られる困難は産業の發展と電力基礎の状態との間の不釣合の現れである。

我が國に於ては天然動力資源就中燃料資源、水力資源の研究が不充分であるため、各地方に於ける各燃料の利用が非常に面白くない。モスクワ附近の石炭、泥炭及殊に片岩の利用は頗る遅々たるものがある。而してこの片岩たるや、たゞに燃料としてのみならず、化學工業の最も豊富なる原料として役立つものである。それ故にこれ等の燃料に對しては特に努力を拂はねばならぬ。

タワーリシチ・スターリンは、計畫化のことに言及した節、我々にとり計畫は永久的な、不變的なそ



して如何なる條件に於ても破壊し難きものといふわけではないと言ひ、又我々は、反對に、計畫の遂行々程に於て常にこれを改正しなければならぬと言つたが、これは全く正しいことである。而して我々が何としても爲さねばならぬ最初の改正は電力生産の増大であり、一般的には動力増大の改正である。黨中央委員會は右の事情に準じて動力基礎の發展促進を決議し、政府は中央委員會の指令に従ひ、逐年電氣建設に對する支出を増大しつゝある。一九二八—二九年に於て我々は、凡ての地方及工場の發電所を合計すれば、一九二六—二七年度の價格に於て三億二千萬ルーブル投資した。一九二九—三〇年度に於てはこの投資は六億四千萬ルーブルとなり、來る一九三〇—三一年度に於ては十一億八千萬ルーブルの投資を豫想してゐる。即ち我々は一九三〇—三一年度分投資を一九二三年度分の二倍となし、一九二九—三〇年度に於て前年度の二倍となすわけである。この投資に相當して電力生産も増大してゐる。一九二八—二九年度に於ては六十億キロワット時であつたが、一九二九—三〇年度に於ては八十億キロワットを生産し、一九三〇—三一年度に於ては百三十億キロワット時を得る豫定である。今一九三〇—三一年度分の検査數字を作製してゐる。私はこの一九三〇—三一年度分經濟建設計畫の作製に當り計畫化に關係する凡ての機關は、最高國民經濟會議も、國家計畫委員會も、各地方機關も、この電氣建設の方面に於ける投資計畫を丹念に検討して、將來の爲に計畫されたテムボを以て産業生産の發展を保障するには右の投資額で充分か否かを調査しなければならぬと思ふ。計畫のこの

部分は最も重要な部分であるから、出来るだけの注意をこれに向けなければならぬ。

我が動力基礎殊に電化の發展を促進するためには、どうしてもその電氣技術工業を建設しなければならぬ。

電氣技術工業を基礎として始めて我々は大なるテムボを期待し得るのである。然らざれば我々は凡てを輸入に待たなければならぬ。諸君の熟知される如く、輸入は我が國の發展のテムボを抑止する障害物である。それ故に電氣技術工業及タービン建設は出来るだけこれを發展させなければならぬ。

然らば電氣技術工業は如何に捗進してゐるか。電氣技術工業の總生産高は他の産業部門に先んじ戦前の水準を遙に凌駕して、一九二八—二九年度に於ては二億七千二百萬ルトブルを出し、一九二九—三〇年度に於ては一躍五億三百萬ルーブルを與へて、殆ど戦前水準の二倍に達せんとしてゐる。而して一九三〇—三一年度に於ては十億八十萬ルーブルを與へて、本年の二倍以上に達するであらう。かなれば最早戦前の水準などは問題でない。戦前の水準は遙か下に落ちて了つたのである。一九二八—二九年度、一九二九—三〇年度及一九三〇—三一年度の三年間は電氣技術工業のすばらしき發展の年である。

我々は電氣技術工業の生産高を年々倍加する可能を有する。一九三〇—三一年度に於てこの生産高は十億ルーブルを超過するであらう。タービン製造の方面に於て戦前の生産高は五千九百キロワット

時である。ところが一九二六—二七年度に於ては戦前の水準を超過して三萬四千キロワット時を生産し始めた。而して一九二九—三〇年度に於ては既に二十萬キロワット時を生産せんとし、一九三〇—三一年度に於ては六十六萬キロワット時即ち一九二九—三〇年度の三倍半以上のタービンを出さうとしてゐる。

電氣技術工業及タービン製造の成功が巨額の投資に因るものたることは言ふまでもない。我々はレニングラードに於けるスターリン金屬工場に特別のタービン製造所を建設するであらう。一九三〇—三一年度の成功はレニングラードに新しく建設された「エレクトロシイラ」によつて決定される。だが電力工業をかくの如く發展せしめるのはたゞにこればかりではない。

タワリシチ・オルジョニキーゼは、我が國の工場が大した投資をなさずとも、時として全く投資をせずとも多大の能力を有してゐることをこゝで諸君に語つた。我が電氣技術工業及機械製造工業も實に多くの能力をもつてゐる。そのことに就ては後に詳説するであらう。今はたゞ電氣工業及タービン工業がまだまだ所期の高度に達しないこと及機械製造及電化の方面に見られる饑饉に鑑み、どうしても豫定の計畫を遂行することに努めなければならぬことを強調して置きたい。

動力の基礎をなす燃料工業はかなり高いテムボをもつて發展しつゝある。石炭の採掘は一九二七—二八年度に於て三千五百四十萬トンであつたが、一九三〇—三一年度に於ては五ヶ年計畫最終年度分

が七千五百萬トンのところを七千二百萬乃至七千三百萬トンを採掘するであらう。即ち一九三〇—三一年度に於て我々は殆んど五箇年計畫を實現してしまふわけである。一九二九—三〇年度に於て我々は五千二百五十萬トンの計畫を實行しなければならぬ。

見られる如く、テムボは決して小さなものではない。だが五箇年計畫は三年間に殆んど實行されるとはいへ、この採掘テムボをもつと増進し、その追加的發展の可能を求めなければならぬ。

石油工業に於てはその資本投下に相當し我々は既に一九二九—三〇年度に於て一千六百二十萬トンを有し、一九三〇—三一年度に於ては二千三百萬トンに達するであらう。諸君の記憶せられる如く、ソヴェート大會に於て確認された五箇年計畫は一九三二—三三年度に於て二千二百萬トンを豫想したものであるが、我々はこの豫定を一九三〇—三一年度に於て既に凌駕するのである。

泥炭は一九二七—二八年度に於て六百九十萬トンを採掘した。一九二九—三〇年度に於て我々は既に著しく計畫を超過して一千六百萬トンを採掘することになつてゐる。泥炭の計畫が遂行されるか否かは目下幾多の地方にとり非常に貴重なこの生産物のために行はれつゝある必死の努力に懸つてゐる。だが兎に角一九三〇—三一年度に於て我々は五箇年計畫により與へられた指標に到達するであらう。(五箇年計畫に於ては一九三二—三三年度分ガイ炭一千六百萬トンとなつてゐる)

一九三〇—三一年度は各種燃料及電化につき我々は非常に大なる任務を有する。だがこの計畫を更

に引上げしめ得る一つの事情を考慮しなければならぬ。それは我が國の産業並に全國民經濟にとり偉大なる歴史的役割を演ずる黨中央委員會の決定であつて、この決定は鉄鐵の生産を五箇年計畫の末までに千七百萬トンに増大せんとするものである。この中黨委員會の決定は最近成立したばかりで我々は未だこの鉄鐵生産増大が如何なる結果を齎すかといふ問題を決定するに至らない。但しこの鉄鐵生産増大が殆んど凡ての産業部門、全國民經濟に必ずや反映すべきことは明白である。それ故にこの鉄鐵生産増大の必要と關聯して更に電化、石炭等の方面に於ては一九三〇—三一年分として豫定された計畫を増大しなければならなくなるだらう。

### 重工業と輕工業

社會主義的改建及全國民經濟の技術的改造に於て非常に重要な問題は重工業と輕工業の間に於ける比率の問題である。與へられたる國の發達の最も重要な指標の一つはその産業が一方に燃料、石炭、石油の方面に於て、他方に金屬、鉄鐵、鋼鐵等の方面に於て到達せる段階である。重工業と輕工業の間に於ける比率は與へられたる國の産業發達の程度を示すものである。

然らば我が國に於ては最近如何なる事情にあるか？逐年重工業は全産業の總生産高並に基本産業資本に於けるその比重を高めて來た。これによつて我々はより高き新らしき技術的基礎に基く全國の改

造のため鞏固な土臺を作つて來たのである。

A群とB群の生産高の間に於ける比率は年次別に示すと左の如くである。一九二七—二八年度に於て重工業の總生産高は四六%であり、翌一九二八—二九年度に於ては四六、八%であり、一九二九—三〇年度に於ては四八%であり、來る一九三〇—三一年度に於ては五二%に達し、我が産業に於て最大の率を示すであらう。重工業は全生産高の半分以上を出し、もつて我々は基本生産手段を他の産業部門に供與し得るであらう。

基礎資本に就ても同様のことが觀察される。A群基礎資本の比重は一九二八—二九年度に於て五七%、一九二八—二九年度に於て六〇%、一九二九—三〇年度に於て六〇%であつたが、一九三〇—三一年度に於てはその、即ち、重工業の基礎資本の比重は七二%に達するであらう。全基本産業資本の殆んど四分の三は重工業の取前となるのである。一九三〇—三一年度に於て既に全重工業に互り五箇年計畫は遂行されんとしてゐる。實際五箇年計畫は重工業の生産高が五箇年計畫の最終年に於て百四十五億ルーブルに達すべきことを豫想してゐた。然るに一九三一年度に於て既に百六十二億ルーブルに達するのである。かくて我々は生産手段生産の方面に於ては五箇年計畫を過剩遂行せんとしてゐるのである。

輕工業に就ては事情が稍異なつてゐる。輕工業五箇年計畫の方面に於けるテムボは五箇年計畫に豫

定されたテムボで進んでゐる。輕工業の各部門に於ては事情がそれ／＼異なつて居り、ある場合にはテムボが五箇年計畫の豫定を追い超してゐるが、他の場合には遅れてさへゐる。

次にもつと詳細に重工業の状態を見よう。私の既に述べた如く黑色金屬業は動力に次ぎ重工業の最も重要な部門である。我々は一九二九—三〇年度に於て始めて金屬業の戦前水準を突破したが、その突破は可成り大なるものがある。一九二九—三〇年度に於て我々は戦前の銑鐵生産高四百二十萬トンに對し五百五十萬トンを生産する筈になつてゐる。鐵鑛に就ては我々は一九二九—三〇年度に於て戦前の四百二十萬トンに達し正に戦前の水準を追い越すであらう。一九三〇—三一年度に於ては鐵鑛の採掘高を一千四百七十萬トンに達せしめもつて戦前の水準を遙に凌駕するであらう。

成る程我々は金屬業の方面に於て五箇年計畫のテムボを凌駕しつゝあるが、それにも拘らず幾多金屬業即ち機械工業、農業機械製造工業、自動車トラクター製造工業、建築業、運輸等の發展は更に更に黑色金屬業の生産を促進することを必要としてゐる。それ故に黨中央委員會が我々に對し、全國に對し、全勞働階級に對し一九三二—三三年度に於て銑鐵一千七百萬トンを生産すること即ち五箇年計畫の立案を七〇%方増大するといふ偉大なる歴史的任務を提出したことは絶対に正しかつたのである。

諸君、私は諸君が最高國民經濟會議によつて銑鐵生産一千萬トンの數字が唱へられた時のことを記

憶するか否か知らない。この數字が最初六百萬トン、次いで七百萬トン、而して國家計畫委員會の最小限計畫により八百萬トンと訂正された時、銑鐵一千萬トンの生産は不可能事であると思はれたのである。銑鐵一千萬トンの生産は當時多くの人々によつて全く達成し難き懸題であると思はれたのである。然るに今やこの不可能事と思はれる懸題が七〇%方増大されたのである。

ブルジョア經濟學者達は、我々を嘲笑し、我々の計畫を空想であるとしてゐるが、就中この銑鐵一千萬トンの數字を念頭に置いたのである。ところがこの「空想」は七百萬トン増大された。この一千七百萬トン計畫は更に全資本主義世界の憤慨を買ふであらう。この計畫を實行すれば、諸君、我々は銑鐵生産の方面に於てヨーロッパ第一の國となるのである。

五箇年計畫最終年度の水準即ち銑鐵一千萬トンは一九三一—三二年度に於て達成されるのである。茲に注意を要することは黑色金屬業の發展がどうしても不均等にならざるを得ないことである。一九三〇—三一年度及一九三一—三二年度は尙ほ主として舊金屬工場の生産によつて生活しなければならぬまい。一九三二—三三年度に於て強力な生産能力を有する新らしき大工場が生産を始めるに及んで始めて南ウクライナ及ウラルの目下修理中なる大工場が建設を終るであらう。一九三二—三三年度に於てはマグニトゴルスキー工場が二百六十萬トン、ザボロシスキー工場が一百萬トン、クズネツキー工場が一百萬トン、新マリウポリスキー工場が六十萬トン（これは五箇年計畫の末）、エヌ・タギルスキー

工場の一部が三十萬トンを生産する筈である。一九三二—三三年度に於て鉄鐵生産は正に一千七百萬トンとなるのである。この際これ等の新工場によつて六百二十萬トン即ち目下我が全金屬業（凡てで三十九工場）が生産しつゝある高より七十萬トン多く生産するであらうことは興味あることである。若し目下既に建設中に屬するクズネツキー、マゲニトゴルスキー及ザゴルスキーの三大工場に就て見れば、これ等工場のみにて鉄鐵四百五十萬トン即ち全金屬業生産高の二六%を出すであらう。この一事を見てもこれ等工場の建設が有する意義の如何に重大であるかを知ることが出来る。

かくて黑色金屬業の發展はたゞにテムボの促進のみならず、その生産集中の程度、その他少數大工場への集中を以て特徴としてゐるのである。世界最大のゲリー工場は約三百萬トンを生産してゐる。我々はマゲニトゴルスキー工場に於て二百六十萬トンを生産するであらう。即ちマゲニトゴルスキー工場はその大きさに於てこのアメリカ工場ゲリーに次ぐ第二の工場となるのである。各種黑色金屬の方面に於てその生産計畫は五箇年計畫により、我々がたゞに資本主義諸國に追ひ着くのみならず、これを追ひ越して、五箇年計畫の最終年度にはアメリカに次ぐ第二の國となるやうに立てられてゐるのである。

然し諸君、五箇年計畫は我が國に於て鞏固なる金屬工業基礎を作るものであるとは言へ、尙ほ五箇年計畫の限界の彼方を見渡せば、その建設テムボを更に促進する方法を講じなければならぬと言はねばならぬ。我々は國民經濟生活の五箇年の範圍内にキョクセキしてはならぬ。金屬の要求は益多くなるであらう。我々は我が金屬業發展の今後の運命をも豫見する必要がある。

この五箇年計畫中に我々は尙ほ如何なる工場を建設するであらうか？ 我々は前述の三大工場の外この五箇年中にニジネ・タギルスキー工場が作業を開始することを既に述べた。その外、中央委員會の決定によれば我々はこの五箇年中にウラルに尙ほ一つの金屬工場バカリスキーの建設に着手するであらう。この工場の生産能力は一百萬トンにして、その作業は一九三三—三四年度に於て必ず開始されるであらう。

然し五箇年計畫終了後は國民經濟の發展が更に大なるテムボを以て進むであらうから、金屬の需用は非常な高になるであらう。その節は如何にすべきか？ もちろん、豫め更に追加的的金属工場の建設に就て考慮して置かなくてはならぬ。それ故に中央委員會は前述のウラル諸工場の外この五ヶ年中にリベツキー工場の建設を始めることに決定した。私は一九三二—三三年度の検査數字作製に當りては尙ほ他の金屬工場建設の可能に就て考慮するやうになるだらうと思ふ。是等の金屬工場を設立するといふ要請は非常に強い。金屬業を益發展させる爲に凡ての優越點を有するウラルの外に尙ほニジネウオルシスキー區（ホツベルスキー鑛區）、スレドネウオルシスキー區（ウオルスキー鑛區）、クリウオロ—ジエその他に依ける金屬業設置の要請切なるものがある。

金屬業の方面に従事するものは兎に角その考へをこのテーマに向けなければならぬ。地質學機關にとつては金屬業を益發展させるために利用し得べき我國の鑛脈及燃料資源をシツカリ決定することより重大な任務はない。兎に角右の諸問題は、我々が所要の時に於て金屬業の方面に於ける何れかの新建設に着手し得るやう、大に研究されなければならぬ。

今度は有色金屬業に言及し度い。有色金屬業の生産高は我が國の生産高に於てその比重が最も小さい。併しそれにも拘らず、一般的には産業に於て、特殊的には金屬製造工業及軍事工業に於て最も責任的役割を演ずるものである。我々は有色金屬業に於て多少成功してゐる。即ち我々は一九三一年度に於て有色金屬を一九二七—二八年度に比し二倍半多く生産するだらう。三年間に生産高は二倍半増大する。これを五箇年計畫が八三%の生産増大を想定したことに鑑みれば思ひ半ばに過ぐるものがある。併しこの大なるテムボにも拘らず、有色金屬業は依然我が國の弱い所である。それ故に凡ての組織、全労働階級は多大の注意をこの有色金屬業に拂はなければならぬ。

化學工業の状態は稍寒心すべきものがある。化學工業は可成り高きテンボを以て發展しつつあるにも拘らず、化學商品生産の方面、殊に人造肥料生産の方面に於ては五箇年計畫の實行不足が見られる。例へば過磷酸の如き一九二八—二九年度に於て二四%方計畫の實行不足があつた。一九二九—三〇年度に於ては五箇年計畫によつて立案された數量の計畫が採用された。この計畫はどんなことでも遂行

されねなければならぬ。

他の凡ての産業部門に亘りて計畫が過剩遂行されつゝある時、農業に貢献すべき化學工業の諸部門が、肥料を要求するソフホーズの迅速なる發展にも拘らず、たゞに五箇年計畫を過剩遂行せざるのみならず、この計畫から遅れてゐるのである。

この化學工業發展の地帯は國の化學化を非常に脅かしてゐる。この國の化學化たるや我が國民經濟の技術的改建の一重要點であると共に、たゞに農業にとつてのみならず、國防にとつても多大の意義を有するものである。

全く、五箇年計畫は化學の方面に於て最も逼迫せるものと言はなければならぬ。基礎的化學に於て五箇年計畫は化學生産五倍増大を想定したものである。問題はたゞに工業の發展に關してのみならず明かに新工業の創設に關するものである。五箇年計畫により一九三二—三三年度に於て豫想される所のものは一九二七—二八年度に於て我が國に存在せるものとは似ても似つかぬものである。この新工業は一九二七—二八年度に於て存在せるものより五倍多くならなければならぬ。併し化學方面に於ける懸題がかくの如く緊キツなるものに拘らず、五箇年計畫の如何なる懸題も化學工業に於ける程しかく緊キツなるものではない。蓋しこれは我が國防の基礎であり、我が農業の強力なる發展にとり最重要の基礎であるからである。農業の盛んなる發展は無際限に繼續されるものでない。我々は既に近き將

來に於て莫大な肥料の使用の必要に迫られるであらう。否既にある作物に就てはこの必要に迫られつゝある。土地はたゞに農具、機械、トラクターを渴望し始めてゐるのみならず、肥料を渴望し始めてゐる。この肥料たるや殊に技術的作物に與へられなければならぬ。それ故に化學工業は元來それが農業にとつてのみならず、工業にとつても改建的意義を有するものなることに鑑み、少くとも五箇年計畫に想定されたテムボによりどうしても發展させなければならぬ。

建築材料工業に於ては次の如き發展テムボを示してゐる。五箇年計畫によれば建築材料工業の總生産高は製材工業をも加へ、一九二七—二八年度は八億ルーブル、一九二八—二九年度は十億ルーブル以上、一九二九—三〇年度は十四億六千三百萬ルーブル、一九三〇—三一年度は十九億二千萬ルーブルといふ工合に發展することになつてゐた。三年間の合計は二三七%即ち一九二七—二八年度に比し一三七%の増大である。所が建築材料の方面に於てはモット大なる發展テムボを要することが判明した。建築材料に關しては、五箇年計畫が非常に大なる懸念を課したに拘らず、又建築材料の方面に於て我々が斷然この五箇年豫定を追ひ越し、建築材料工業の總生産高が一九三〇—三一年度に於て四十億ルーブル以上に達せんとするにも拘らず、これでは未だ不充分たるを免れない。建築材料工業は我が建設計畫に相當する發展テムボを獲得しなければならぬ。今殆ど凡ての建設事業には建築材料の不足によつて少からぬ困難が生じつゝある。

全くそこには建築材料を正しく分配することが出來ず、且これを節約することが出來ないといふことも大に原因をなしてゐる。かくては建築材料に一定の饑饉、一定の不足を來すであらう。そんな事で基本建設の縮小を招來するが如きことがあつてはならぬから、一九二九—三〇年度並に今後の數年は建築材料工業に一層の努力を注がねばならぬ。

重工業の他の部門には他の場所に於て言及するであらうから、今度は輕工業に移る。産業全體に關する五箇年計畫の過剩遂行状態の内、B群即ち輕工業の動態は面白くない。輕工業の全部門に亘り我々は五箇年計畫に遅れてゐる。これはもらひん、第一に原料雜の結果である。五箇年計畫の二ヶ年中B群は次の如き發展を示してゐる。即ち一九二八—二九年度に於ては前年度の一九%、一九二九—三〇年度の七ヶ月間は二一、九%、一九二九—三〇年度全體は二二、九%である。即ち我々はホゞ五ヶ年計畫豫定のテムボを以て進んでゐる。輕工業の或る部門は五ヶ年計畫のテムボを追ひ越した。例へば鑛詰工業、漁業及裁縫工業がそれである。併し全輕工業を全體として發展させる爲には五ヶ年計畫の水準を必要とする。都市の人口就中勞働者數が五ヶ年計畫の豫定より速かに成長しつゝあることを考慮すれば、輕工業が斯の如く豫定テムボより遅れてゐることにより幾多の面白からぬ經濟現象が生じつゝあることは明瞭である。この遅滞は原料基礎の不充分なる發展と關聯する困難に因るものであつて、輕工業の基礎資本の状態に因るものではない。



タワリーシチ・オルジョニキーゼが正しく言明せる如く、我が工業に於ける生産可能は次の如くである。即ち我が工業は既に現存基礎資本により二倍量の原料を加工し得るのである。原料の輸入を縮小し、而してこの輸入を免れなければならぬといふことを念頭に置きつゝ、如何にしてこのB群生産増大問題を解決し得るであらうか？

この問題解決の道は明かに穀粒問題を解決した道と同様である。即ち原料生産地方に於けるコルホーズ及びソフボーズの建設を益展開し、同時に個人的中農貧農の農業を奨励しなければならぬ。この道を進めば、我々は必ず工業原料問題を解決し得るであらう。蓋し各種技術的作物の現存植付反別をもつてするもその收穫率は充分であり、土地の耕作が宜しきを得れば我が諸企業に要する原料を充分に與へ得るからである。今綿花の植付反別は百六十萬ヘクタールあり、亞麻の植付反別は百六十萬ヘクタールあり、大麻の植付反別は九十萬ヘクタールある。これだけの植付反別は收穫率の事情がモット宜くさへあれば、我が工業に原料を完全に供給することが出来るであらう。例へば綿花をとつて見るに、一九二八—二九年度に於て既に戦前の植付反別を二〇%超過する植付反別があつた。併し綿花の收穫率が戦前收穫の七二%であつたがために、綿花の商品高は戦前の量を僅か二%超過せるに過ぎなかつた。亞麻に就ては更に驚くべき状態である。一九二八—二九年度に於てその植付反別は戦前水準より稍増大せるに拘らず、その收穫率が低く且同時に農民經濟に於ける亞麻の縮小が著しかつたため、其の商

品高は戦前の僅か五二%にしかならなかつた。これは全く經營が恐ろしく細分された結果である。これがために我々は、あるだけの植付反別を、大團體經營の諸條件に於てこれを利用し得る程に、利用し得ることが出来ないのである。收穫率の状態は翌一九二九農業年度に於ても宜くならなかつた。棉花は殆んど前年度と變りなく、僅か收穫率を増したのみである。亞麻に至つては稍收穫率の減退を來したのである。植付反別に於ては多かれ少かれ好成绩を上げてゐるにも拘らず、收穫率並に商品高に於ては遠くヨーロッパ及アメリカに及ばない。ヨーロッパ及アメリカは肥料の使用及び土地耕作の宜しきを得たることに困り、總生産高に於ても商品高に於ても、戦前と比較し遙に多く技術的作物の收穫を見せてゐる。アメリカの如き棉花の商品高は一九一三年と比較し三二%増大した。ヨーロッパに於ても亞麻の收穫率は一三%増大した。

黨中央委員會は屢々工業原料の問題を審議し、植付反別につき大なる懸念を課し全經濟機關をしてこの問題に注意を向けさせた。茲に輕工業發展のテムボ促進の源泉がある。我々はたゞに植付反別を擴大するのみならず、技術的作物の收穫率を増大しなければならぬ。而してこの問題は大農業經營創設の問題と密接なる關係を有するものである。蓋し猫額大の土地により、ノア洪水前の生産方法及手段によつて耕作される小民農經營は收穫率増大の問題を、工業に對する必要原料供給の問題を根本的に解決する能力はないのである。たゞ棉花に於ても亞麻に於ても煙草に於ても、巨大なるコルホーズ



及びソフホーズのみが眞に土地の機械的耕作を適用し、且大規模に肥料を適用する可能を與へ、根本から我が輕工業の原料問題を解決し得るのである。茲に私の述べたかつた第二の問題は輕工業に對する新しき種類の原料に關する問題である。それは紡績業の原料で、ケンヂル、ケナフ、ラミ等である。これ等の生産は今漸く試験時代にある、それはやがて必ず我が紡績業の爲に大なる役割を演ずるに違ひない。その内最も進捗してゐるのはケンヂルである。これは主としてカザクスタン地方にある多年性植物であつて、これからは優良な纖維を取ることが出来る。本年ケンヂルは一萬乃至一萬五千ヘクター播種されるであらうが、來年はこれから十萬乃至二十萬ブードのケンヂル纖維が取れるであらう。これは綿業のため好い原料である。

モウ一つの植物ラミはカフカズに生ずるもので、その品質から見ても更に大なる興味を與へるものである。この纖維植物は綿花の纖維を凌駕する。この植物は目下尙ほ廣く普及されず所々に叢生してゐるのみであるが、要するに今後はこの植物を栽培することに力を注がねばならぬ。

原料基礎の創設を促進するには、重工業の側より切實に農業を援助しなければならぬ。(即ち農業機械、化學肥料、ソフホーズ及びコルホーズ用建築材料の生産これである)

紡績業及びその他輕工業の原料基礎を増大するために創設されるソフホーズ及びコルホーズの援助に就ては特に配慮しなければならぬ。かくて諸君の見られ如く、紡績品及び更紗を多量に生産するに

は結局トラクターによる重工業の發達、機械及び生産手段を生産する工業の發達に因らなければならぬのである。

私は輕工業の發展が目下實收勞賃の引上げのためにも必要であることには言及しない。實收勞賃の引上げは疑ひもなく消費者的需用をもつと多く満たす輕工業が發達しさへすれば、モット容易に行はれるであらう。今我々はこの任務を全幅的に提起することが出来る。今や我が國には重工業あり、この内地重工業により輕工業の問題を工場設備生産の意味に於ても、建築材料生産の意味に於ても、技術的作物生産の方面に於ける機械化せる大農業建設の意味に於ても、解決することが出来る。されば今や我々は輕工業に對し從來よりも一層大なる注意を拂ひ、その發展テムボ促進を保障しなければならぬ。輕工業と關聯して私は家内工業に就て數言し度い。それに就いては廣汎なる市場の商品供給に於ける家内工業の重大なる意義を語る一つの數字を挙げれば充分である。

本年度に於てコーペレーション化する家内工業のみにて一般消費の商品を二十五億ルーブル與へる筈になつてゐる。二十五億ルーブル!! 斯の如く、我々は家内工業を廣汎なる住民大衆の需用を満すためのテムボを促進することに於て我が巨大なる輕工業の重要な助手と見なければならぬ。

## 機械工業

重工業の一部門で特別の注意に値するものは機械工業である。この部門は我が全國民經濟の改建に於て又我が産業の技術的改装に於て偉大なる意義を有し決定的役割を演ずるものである。この方面に於て我々は何れの方面に於けるよりも先進資本主義諸國に遅れて居るが故に、我々の任務は一層重大である。我が大建設が多數の機械を要することは言はずと知れたことである。左に數字を示さう。一九二七—二八年度に於て産業設備の總需用高は約四億五千萬ルーブルであつたが、一九二九—三〇年度に於ては十五億ルーブル即ち五箇年計畫の前年度たる一九二七—二八年度の需用より三倍多くなつてゐる。最近三箇年間にこの需用は三倍増大したのである。來るべき一九三〇—三一年度は更に新たなる大飛躍をなすべく、産業の設備需用増大は二十三億乃至二十五億ルーブルとなるであらう。産業設備は實に本年の十五億ルーブルに對し二十五億ルーブルとなるのである!!。

我々が機械設備の老なる需用を満すために輸入に専心することは全く明白である。この點に於て資本主義世界に依存することは全く堪へ難いことである。我々は我が帝國主義的仇敵の手に我が全建設の運命をまかせることは出來ない、我が技術的改装の運命をまかせることは出來ない。又純經濟的理由によるも我々は輸入に専心することは出來ないのである。

我が産業發展の前途は、或る種産業設備に於ては來るべき數年間全世界生産の非常に大なる分け前を吸収しなければならぬやうな状態にある。茲に特筆すべき一つの例がある。來るべき三年間に我々

はブリューミング十乃至十二組を据付けけるやうになるが、これは今世界中にみんなで約四十組しかない。諸他の機械に關しても同様である。我々は獨占者が——資本主義世界の機械生産者——我が國の技術的改建の政策を我々に命令するやうな破目に逢ひたくない、且我々はしかく密接に帝國主義諸國に依存しなくない。我々は現代社會の生産諸力の基礎即ち機械を生産する雄大な工業を自國內に創設するために全力を傾注しなければならぬ。

先のブリューミングに關しては結局我々は我が國の工場を多少技術的に鞏固化しこれを改装すれば自國內にてこれを生産し得るやうになるであらう。相當の技術的援助を得且外國に於て二組以上のブリューニングを買はないやうにすれば、我が國の工場はこの任務を處理し以て我が黑色金屬業の必要なる發展を保證するであらう。我々の前に立つてゐる任務は大きい。併し我が機械工業の状態は遠くこの任務に對應してゐない。

資本主義はその遺産として我々に自國機械工業の殆ど完全なる缺如を残した。ために我々は殆んど空地に建設しなければならぬ。その外、最近スバラしく發展しつつある技術的進歩は戰前ロシアがもつてゐた微々たる機械工業をも全く無に歸せしめんとしてゐる。

我々は先進資本主義諸國の最新技術的達成を基礎とし技術の最新の言葉により我國がを改建してゐるのである。それ故に我が國に存在した機械工業の經驗はモハヤ技術上に發生せる變更に對應しない

のである。我々は我が國の技術的改装の益増大する需用を満し得るやうな新式の機械を生産しなければならぬ。熟練技師技術家の不足、熟練労働者の不足、これ等は機械工業發展の途上に於て大なる困難を作るものである。併しこの困難はどうしても克服されなければならぬ、又克服され得るであらう。機械工業の發展を抑止するのは單にこのことばかりではない。そこには尙ほ一つの事情がある。それは金屬の問題である。特殊な鐵及鑛の必要、有色金屬及輕金屬の大なる需用、——このことは機械工業の規模が益大きくなるに従ひ非常な勢ひで増大しつゝあるが、このことも大なる困難をなすものである。

右の困難に鑑み黨中失委員會は鉄鐵生産を一千七百萬トンに増大し且ウラル及ザボロジエに於ける質的金屬の基本を作ることを決議したか、この決議は絶対に正しいものである。

機械工業は如何に發展して來たか？ 幾多の困難あるにも拘らず、その發展テムボは非常に大きかつたと言はねばならぬ。戦前機械工業は一九二六—二七年度の價格に於て約三億七百萬ルーブルの生産高があつた。この小さな數字に反し我がソヴェートの達成は一九二八—二九年度に於て既に七億三百万ルーブル、一九二九—三〇年度に於て十三億ルーブル、而して一九三〇—三一年度は二十五億萬ルーブルにならうとしてゐる。

これは戦前に對し八二四%となるものである。本年我々は四倍、來年我々は戦前時代の八倍を生産

するであらう。

斯の如く我々はこの方面に於て斷乎たる、そして非常に實感的なる結果を獲得したのである。新機械生産組織の方面に於ても我々は之れに劣らざる結果を獲得した。我々はたゞに多數の機械の生産を取得したのみならず、又或る新らしき種類の機械を製造し得るのみならず、多くの場合それ等を良く且比較的安く造りつゝあるのである。農業機械が戦前價格により販賣されつゝあることは諸君の知り通りである。デイズルはいくらか外國より高く生産されてゐるが、大して高くはない。

併し機械の廉價とその品質の優良なことは我が國に於て限られた範圍に止つてゐると言はなければならぬ。

遺憾ながら多くの場合我々の機械はその品質が充分に優良でなく且高價である。このことは我々が計畫する産業及國民經濟全體の發展テムボと融和し難いものである。機械は國民經濟改建の神經である。機械は結局我が技術的基礎を及び難き高さに引上げるものであり、且現實的に、實賤的に、「追ひ着け追ひ越せ」のスローガンを實現する可能を能へるものである。それ故に我々は我が機械の高價なること及其品質の劣惡なことに對し我慢することは出來ない。健康なるボルシエヴィキ的テンボのためには品質優良價格低廉なる機械が必要である。

機械工業の方面に於て我が國には尙ほ多く家内工業的性質が残存してゐる。多くの場合我が工場に

は大量的及び區畫的生産が見られない。工場には専門家がなく、凡ての職場は何んでも御座いである。だが斯の如きは生産合理化にとり大なる障害である。機械工業は、指導的産業部門として、我が發展のテムボを決定する産業部門として凡ての點に於て前衛的でなければならぬ。

機械工業及これと關聯して凡ての組織の前に立つ任務を果すためには、未だ利用されぬ甚大な餘力を利用しなければならぬ。餘力はある。而も少なからざる餘力がある。機械に對する饑饉が大なるものであるに拘らず機械工業の作業は未だ未だ不充分である。

例へば交替率をとつて見るに、全體としての産業を通じ交替率の係數は一、六に等しい。これは全産業に於ける平均である。蓋し或る企業に於ては三交替があり、他の企業に於ては二交替があり、第三の企業に於ては一交替がある。従つて諸工場に於ける平均は一、六となる。この係數は戦前よりも稍大きい。戦前に於ては一、二乃至一、三の係數をもつて交替率が決定されてゐたのである。機械工業に於ける交替率の係數は一、二五である。これはモハヤどうしても忍び得ぬところである。交替率は無休生産の實施と同様、礎資本の最大限利用のため莫大なる意義を有するものである。大なる機械工業計畫を遂行するためにはこの係數を著しく増大しなければならぬ。もちろん、これには幾多の困難がある。第一に熟練労働者の不足である。第二に多くの機械製造工場に於てはある基本作業を爲さねばならぬ。第三にモット多くの金屬が無ければならぬ等々。然しこれ等の困難は機械工業の肩に

かゝつてゐる大なる任務を果すためにはどうしてもこれを克服しなければならぬ。

又機械工業の内部に於ける生産の共働化も面白く行つてゐない。この機械工業たるや他の如何なる工業にも増して共働化と専門化の道を進まなければならぬのである。ヨーロッパ及びアメリカの先進企業は何れも斯の如くして創られてゐるのである。ところが我國に於ては一切合切を一つの企業がやつてゐる。而も工場構内にはいろんなものが不生産的に推積され、搬出入の流れが圓滑を缺くので生産の著しき促進が不可能であるが、この點に於ては多少の進歩は認められるし、又個々の場合を見れば、可成り専門化も行はれてゐる。併しこんなことでは未だ不充分である。殊に機械工業の前に立つてゐる重大な任務に鑑れば尙ほ一層の努力を要する。

機械工業に於ける資本支出に見れば、一九二九—三〇年度に於ては、旋盤製造及ボイラー製造を含む機械工業に對し二億三千七百萬ルーブル、電気技術工業には千二百萬ルーブル、自動車製造業には一億九千八百五十萬ルーブル、農業機械製造業には一億萬ルーブルにして機械工業全部の合計六億一千七百萬ルーブルである。

機械工業が全國民經濟の改建に於て演すべき大なる役割に鑑み、來年度に於ては資本投下を十一億七千五百萬ルーブルに即ち本年度の二倍に増大する計畫である。

機械工業に支出される資本投下額が莫大なりとて少しも遺憾はない。これはボルシエヴィキ的テン

ボを發展する可能を與へる部署であつて、凡ての生産業は機械工業に立脚してゐるからである。石炭工業の發展も、電化、金屬業、化學工業、セメント工業、製紙業等々の發展も一に機械工業の發展に懸つてゐるのである。

機械工業は全速力で驀進させなければならぬ。蓋しこれは國民經濟を發展させるためにしつかり掴まなければならぬ鎖の重要な一環であるからである。

### 新工業

機械工業と國民經濟の諸他部門との關係に就ては後に述べることとして、私は簡單に新工業に就て言及したい。これ等の新工業は目下我々が経過しつゝある改建期にとり特殊の興味を有するものである。革命前のツアール・ロシアは主として農業國であり、技術の進歩は極めて緩慢であつた。戦争の諸年、革命の諸年、封鎖の諸年、外國技術との隔離はその後我が國に於ける技術の非常なる遲滯を招來した。蓋し資本主義世界はこの期間中に遠く前進したからである。

且この方面に於て資本主義的進歩の道が大なれば大なる程、凡ては新工業建設の道を益多く前進してゐるのである。我々は先進的技術から非常に遅れた、そして最近漸くそれを利用し始めたのみである。我が國に於ても新工場、新工業の建設に對する資本支出が増大せる最近に於てそこゝに成績の

見るべきものがある。我々は今戦前ロシアになかつた幾多の新工業を設置しこれを發展せしめる可能性を取得しつゝある。私は我々がこの方面に於て獲得した比較的巨大な量的及質的成功を示す數字を左に挙げやう。

従來かつて無かつた新種目機械工業の生産高は、一九二七—二八年度に於て四千百萬ルーブルを有し、一九三〇—三一年度に於ては五億五千二百萬ルーブルと計畫されてゐる。換言すればこの計畫期間に新種目機械工業の生産高は十倍以上増大するのである。

新工業の機械工業總生産高に於ける比重は七%より二一%に即ち三倍方増大するのである。若しこの新工業の數字を戦前時代に於ける全機械工業と對比すればこの成功は實に目覺しきものがある。來年度は新機械工業部門から五億五千二百萬ルーブルを出す計畫であるが、戦前は機械工業を通じて僅かに一億ルーブルを出したのみである。斯の如く來年度に於ける新工業の生産高は戦前の機械工業より四一%方多くなる。

この新工業のグループに入るものは、トラクター、自動車、強力タービン及發電機、複雑なる農業機械、ある種の石油機械工業、化學裝置、冷凍機械、パン製造機械、煙草製造機械、新構造デイゼル機械等々である。右のうち本年度に於て石油機械は一千七百萬ルーブル、來年度に於て五千萬ルーブル、化學裝置は本年度に於て一千二百萬ルーブル、冷凍機械は本年度に於て六百萬ルーブル、來年度

に於て一千四百萬ルーブル、ドイツは本年度に於て一千五百萬ルーブル、來年度に於て四千萬ルーブル生産されることになつてゐる。

我々は既に幾多の重要製品に亘り輸入を免れた。凡ての機械及製靴機械は我が國産機械によつて設備されてゐる。燐寸工場の設備は全く國産である。紡績機械の設備及機械は全部我々の力によつて生産される。

農業に供給する我が機械の大多數は新工業に屬するものである。それにも拘らず、我々は戦前よりも遙に多く國産機械を農業に供給してゐるのである。戦前に於てはこれ等農業機械の約半分が外國から輸入されてゐたにも拘らず、一九三〇—三一に於てはその大部分を自國に於て生産するであらう。

本年は農業機械の僅か一二%が輸入されるのみである。新工業に屬するものは他の産業部門にも見られるが、これ等の部門を列挙することは多大の時間を要するであらう。そこには電気技術工業があり寫眞・映畫事業がある寫眞・映畫事業に於ける成績は大したものではないが、兎も角この事業も既に緒についたのである。化學の方面に於ては革命前ロシアが絶対に知らなかつた幾多の工業がある。我々は既にレニングラードに人造纖維工場を設立した。本年及び來年中にはモギレフ及びクリンスクの人造纖維工場が運轉を始めるであらう。

電気技術工業及ゴム工業の爲にも紡績工業内に特別織布部が開設された。目下ラジオに用ゐられる

ランプ及照明目的のためのボルフラム糸、高ヴォルト装置を生産してゐるが、全部を列挙することは出来ない。併しもちろん多數新工業は充分廣汎なる規模に於て發展するに至らない。又今日只今外國への依存から免れるには至らない。出来るだけ早くその任務を解決しなければならぬ。

原料の方面に於ても、即ち、外國への原料的依存を弱める點に於ても最初の一步をふみ出したのみで未だ極めて不十分である。我々は今日漸く眞面目に綿花問題の解決に着手したのみで、これまでは、外國から數千萬ルーブルづゝ綿花を輸入してゐたのである。今日漸く我々は綿花の播種を我が國のヨーロッパ部分にだけ擴大した。

ゴム工業に於て外國への依存を免れるための原料基礎は今日漸く決定されたのみで、この依存は非常に強く且極めて鋭い。ゴム含有物の方面に於ても我々は今日既に若干のゴム採取原料をもつてゐる。ゴム採取源泉は第一にカザクスタンに生ずるゴム含有植物、ハンドリラ、いくらか後に同じくカザクスタンに発見された植物、タウ・サギズ等である。而して後者はその性質及特徴に於て、ハンドリラを凌駕するものがある。尙ほウクライナに於けるワートチニキ、外國から輸入される種子によつて我が國に栽培されるグワイユラの如きがある。かくて我々は目下ゴム採取の具體的計畫をもつてゐるが、もとよりこの事實は極めて重要なものである。來年我々は二千トンのゴムを出す筈になつてゐる。

これはもちろん我が國の需用に比較すれば尙ほ少い。これでは未だ外國への依存から免れることは

出来ない。併し本年我々は二百トンのゴムを生産する。來年はこれを加へずに始めて二千トンのソヴエート・ゴムを得るわけである。目下タウ・サギズは野生のままに廣大な地域に生えてゐることが發見された。我々はタウ・サギズ一萬ヘクターを開拓する可能を有するであらう、又適當なる栽培方法をもつてすれば五千ヘクターに繁殖させられる。野生状態のハンドリラは七十二萬ヘクターの廣大な面積に亘つて生えてゐる。作物としては本年に於て既に二萬五千ヘクター植付けられることになつてゐる。ワートチニキは三千ヘクター、グワイユーラは二百ヘクターである。

ゴム二千トン中の大部分は、それが他の植物よりも遙に優良であるため、タウ・サギズから採るものである。その根は二十%のゴムを含有してゐる。

この計畫は遂行され得るか？ほんとに我々はゴムの方面に於て外國への依存から免れるの道に上つたか？私はたゞに遂行されるのみか、遂行されて餘りあると思ふ。ゴム含有物トラストの頭らに立つてゐるタワリーシチ・マコゴンはいくらか控へ目な畫計を立てゝゐる。私は個人として計畫を擴大し得ると思ふ。何故なれば、タウ・サギズの生える地方へ最近視察を試みた結果によると、その叢生量は非常に多い。故にこの計畫は單に遂行されるのみならず、遂行され過ぎるであらう。

### 工業と農業

何等か農業と關係ある各種産業部門の任務は、五箇年計畫の諸問題と比較しても、目下全く新らしいものである。我々をして階級としての富農清算の實現に移らしめた農業團體化のスバラしきテムボ、雄大なるソフホーズ及び機械・トラクター停留場の設置は社會化せる農業の下にそれに相當する技術的基礎を置く問題を切實に提出しつゝある。

茲で問題はトラクター及農業機械の生産にあるのみではない。ソフホーズ、機械・トラクター停留場及びコルホーズは幾多他のものをも要求してゐる。それ等のものがなければ農業の技術的基礎は農業中に生じた社會經濟的躍進と合致することは出来ない。即ち肥料が必要である。害蟲驅除手段が必要である、修繕工場の設備が必要である、トラツク、ラヂオ、炊事場、電氣照明、倉庫、大量の建築材料、連絡用オートバイ等々が必要である。

團體農業からの需用は著しく飛躍した。凡ての産業部門に關する要求は益高まりつゝある。農業機械化を實現するために、機械は未だ非常に不充分であるとはいへ、可成り多くのことをなした。

農業機械製造工業の方面に於ては次の三數字を挙げれば充分である。即ち戦前の生産高は六千五百萬ルーブルであつたが、本年は農業機械四億ルーブル餘を生産するであらう。來年は八億四千五百萬ルーブル即ち戦前より十二倍半多く生産する豫定である。而してこの事は農業機械生産工業の生産高

が來年度に於てアメリカの農業機械一ヶ年の生産高を超過することを意味するのである。農業機械生産の方面に於て我々は實際資本主義諸國に追ひ着け追ひ越せのスローガンを實現する道に上つたのである。

若し茲に一九三〇—三一年度に於て生産せんとする五萬八千臺のトラクターを加へるならば（この農業に與へる動力は七十四萬五千馬力）我が成功の規模は益大なるものがある。

併し工業は農業の他の要求を満すためには斯の如き成績を擧げてゐない。例へば、礦物肥料生産の如きは甚だ面白くない。

そして五箇年計畫は工業により遂行されてゐない。化學工業の社會主義的扇形に對する債務を履行するために全力を動員しなければならぬ。修繕工場設備、トラック、炊事場、ラヂオ、オートバイ、電話の如き農業諸要求に就ても面白くない。これ等のものは農業の需用を満すべく極めて不充分である。

だが農業機械及農具を充分に生産するだけでは足りない。我々は改建途上に於て農業が要求する品質優良な機械を充分に與へなければならぬ。トラクターはこれ等の要求を更に飛躍させた。我々はトラクター附屬品一切を與へなければならぬ。然るに今日までどうであるか？

僅々二年前迄即ち一九二七—二八年度迄我が農業機械製造工業はその生産高の九七%を手力及畜力

用具の形態に於て生産し、機械力用具は僅か三%しか生産しなかつた。ところが一九二九—三〇年度に於ては既に著しき躍進が行はれて、農業機械工業生産品の二四%はトラクターになる筈である。而して一九三〇—三一年度に於ては一躍六〇%以上の機械力農業機械が生産されるであらう。農業機械生産高の大部分はモット品質をかへなければならぬ。この工業部門に於ては革命が必要である。この工業部門の改造は、普通の條件に於ては數年を要するものであるが、これを建て直し同時に品質優良な製品を與へるためには、速かにこの改造を實行しなければならぬ。

工業の前には疑ひもなくどうしても遂行しなければならぬ非常に重大な任務がある。我々は必ず豫定の計畫を遂行しなければならぬ。蓋し我が工業が、品質に於て、數量に於て、社會化せる農業の部分に充分のトラクター、農業機械、肥料等をいち早く供給し得るか否かに今後の農業社會化のテムボが懸つて居り、又農業の生産諸力の發展か否かが懸つてゐるからである。それ故に近き將來我々は改建途上に於ける農業の生産的必要を満すこれ等工業部門に於てボルシェウイキ的テムボにより仕事を發展させなければならぬ。それ故にこそ黨中央委員會は最近の決議に於てトラクター製造及農業機械製造に關し眞に尨大なる生産計畫を與へたのである。その外中央委員會は尨大なる建築計畫及び未だかつて何れの發展時代に於ても見なかつたその實現テムボを豫定した。だがその大きさに於て、その期限の切迫さに於て、その技術的任務の複雑さに於て右計畫の實現は非常に困難なことである。



實際トラクター製造及び農業機械製造の方面に於ける建造計畫は次の如くである。我々は一年半中にチェリヤービンスクに於けるトラクター工場を建設しなければならぬ。この大工場は世界に於て唯一のものであり、毎年五十乃至六十馬力のトラクター四萬臺を生産し、我が農業に毎年二百萬馬力を注入するものである。この大工場は一九三二年の初めまでに竣工する筈である。この任務の時期及規模は資本主義諸國に於て未曾有なるものである。これは我が經濟制度の優越により、又全プロレタリア社會の注意がこれに集中されるといふ條件によつてのみ遂行されるのである。もつと早く即ち來年の夏迄に我々はハリコフ・トラクター工場を建設しなければならぬ。この工場は十五乃至三十馬力のトラクター五萬臺を毎年出すであらう。かくしてこの工場は毎年七十五萬馬力を我が農業に與へるのである。この任務も又非常に重大にして且極めて困難なものである。ウクライナの同志達はボルシエヴィキ的名譽の問題として、この工場の建設を黨中央委員會の規定せる期期までに終了させなければならぬ。コムバインの建造計畫も又極めて老大なものである。我々はサラトフ・コムバイン工場及びシベリアに於けるコムバイン工場を建設しなければならぬ。これに際してはツイ最近までコムバインの生産が我々の話題に上らなかつたのみか、コムバインの利用さへ話題に上らなかつたことを念頭に置かなければならぬ。漸く昨年に至り「ゼルトラスト」がその大ソフホーズに輸入コムバインを使用し始めたのみである。本年は既に多數のコムバインを輸入した。だが我々はたゞにコムバインを我々の

野良に於て利用するのみならず、これを國內に於て建設するやうにしなければならぬ。茲に私は今日の大會に報告したい一つの大なる達成をもつてゐる。私はコムバイン技手ボローヂンの製作にかゝる國産コムバインの製作に就て言つてゐるのである。このコムバインはトラクターのモーターによつて動くところが外國製コムバインと異つてゐる。トラクターのモーターは、トラクターに運動を傳へると同時にこのコムバインの機構を運轉させるのである。これがためにコムバインは著しく安くなり、その操縦はより簡單になる。而も燃料を節約することが出来るのである。この式のコムバインは今夏不充分ながら既に豫備試験に附したものである。そして本年はモット嚴密なる試験を行ふ筈である。併しこの方面にたづさはる人々には既に我々が勝利を獲得せること、及國産コムバインが間もなく我が同盟の野良に働き始めることを疑はないであらう。

ソヴェート・コムバイン工場も又最短期間に實現されなければならぬ事業である。今二工場建設の豫定がある。この二工場がコムバインに對するソ同盟の要求を満すか否か、今の所尙ほ言明し難い。だが來年我々はロストフに尙ほ一つのコムバイン工場を建設する。黨中央委員會の與へた建造計畫は以上によつて盡されてゐるのではない。黨中央委員會はブチロフ工場に於けるトラクターの生産を二萬臺に増大することを決定した。そしてこの計畫は遂行されるであらう。建造作業は進捗してゐる。そして「クラスヌイ・ブチロウエツツ」が既に來年トラクター二萬臺乃至二萬二千臺とそれに加ふ

るにトラクターの附屬品五千組を與へることは確かである。

現存農業機械製造工場の改建及びこれをトラクター製造工場に移し變へることも又尨大な仕事である。この仕事は極めて緊急なものであるが、又最も重要な仕事の部署である。それ故にこの方面に働く各々のボルシエイクは、そして各々のプロレタリアは如何にもしてこの計畫を遂行することをその革命的名譽及任務の問題と考へなければならぬ。

### 工業と國民經濟

然し工業に對し新たに多くの要求を提出してゐるのはたゞに農業のみではない。工業及び農業の總生産高の増大、新らしき工業地帯の創設、工業の新らしき地理的配置、これ等は悉く工業に對し全國の益増大する商品循環に奉仕するの任務を提出しつゝある。貨物循環の増大に關する五箇年計畫の擴大は交通機關が機關車及車輛の生産並に軌條の生産に關し工業に提出しつゝある要求をも擴大した。實際五箇年計畫は國內に於ける貨物循環を二億一千萬トンに達せしめることを出發點としたものである。然るにこの豫定は既に本年に於て超過され、來年度に至つては三億三千五百萬トン即ち五箇年計畫の末に豫定された量より一年半多くならうとしてゐる。これは我が機關車製造及車輛製造が今や交通機關の我が工業に提出する要求の著しき増大に歩調を合せんとすることを表示してゐるものである。

である。この方面に於て我々はたゞに量的要求の増大に當面するのみならず、我々は他の質的要求にも當面してゐるのである。

我々は我が工場が建造し馴れた車輛を與へなければならぬ。我々はモット貨車を與へなければならぬ。我々は技術的に交通機關を改装しなければならぬ。我々は自働聯結機を作り、制動機を改装することを學ばなければならぬ。我々は我が國に於て從來建造されなかつた新式貨車即ち自働積卸貨車を建造しなければならぬ。要するに鐵道交通機關は工業に對したゞに數量の大なるのみならず、全く品質の異なる生産物を要求してゐるのである。而してこの事と關聯し我が工業機構は改造を要する。都市と農村の聯繫の性質又條件の變更、ソフホーズ及びコルホーズ建設の發展も又工業に對し大なる要求を提出しつゝある。自動交通機關の問題は鋭く我々の前に現れて、その速やかなる解決を要求してゐる。我が經濟の何れの部門を問はず、農業にあれ、商業にあれ、建築にあれ、工業生産にあれ、到る處に於て最も餓えたる商品は機械であり、トラックでありといふも恐らく誤りではなからう。就中このトラックたるや益發展し益改建される我が國民經濟にとつては空氣の如く必要である。それ故に自動交通機關の問題は最も緊急なる問題となりつゝある。この自動交通機關に關し黨中央委員會は大なる計畫を與へた。

我々はニジネゴード自動車工場を建設しつゝあるが、この工場は十四萬臺の自動車を生産すること

ととなり、その内の多數はトラックである。この工場は既に建造に著手し、一九三一年の秋には竣工する筈である。

期間が極めて切迫してゐる上に技術的困難は大きい。それにも拘らずこの戦闘的任務はどうしても遂行されねばならぬ。ニジネゴード工場の外にモスクワにアモ工場が改建されつゝある。この改建はその本質に於て従来ありしものとは天と地の如く異なるタイプのものである。蓋しこの工場は自動車二萬五千臺を生産するからである。この工場の工事は本年秋に開始されるであらう。

自動車計畫を今後更に擴大すべきや否やの問題は明年解決される筈である。我が工業の部署に於て國民經濟の提出せんとする要求及びテムボを豫見しなければならぬ。

水上交通機關に對しても特殊の注意を要する。水上交通機關も亦益多くの要求を我が工業に提出してゐる。この點に於ては海上汽船も河川汽船も同様である。河川汽船業がヒドク遅れて居ること、本業が今戦前輸送の僅か六〇%しか遂行してゐないことは諸君の知る通りである。河川交通機關復興の任務は先づ第一に工業の肩に懸つてゐる。モット多く船を造らなければならぬ、技術的により現代的な船を造らなければならぬ、河川汽船業をしてモット早く戦前水準を追ひ越すのみならず、これを我が國民經濟の要求と合致せしむるやうな船を造らなければならぬ。

造船界に於ても要求は極めて大きい。タワーリシチ・オルジョニキーゼはこの席上で我々が外國船

舶に支拂ふ運賃の爲に莫大な金を費してゐることを言明した。この部署に於ても如何にもして必要な轉機を獲得しなければならぬ。商品循環の増大は自ら幾多新工業の設置を要求してゐる。我々は冷凍庫、穀倉、穀物工業、ベーコン及罐詰工場、港灣の設備等を澤山に設置しなければならぬ。この方面に於てももちろん輸入に期待することは愚である。商品循環に奉仕する以上の大事業を改造する爲には一寸やソットの貯蓄では足りない。我が國の工業はこの大なる任務をその双肩に負はねばならぬ。我々は益増大する商品循環を完全に圓滑化するために右のものを作らなければならぬ。

國民經濟の一般的昂揚、益深化し擴大する工業の過程、廣汎なるコルホーズ及ソホーズ建設、普通教育の實施、凡てこれ等のことは工業に對し都市及農村の文化生活的設備に關する多大の要求を提出してゐる。然るに當該工業部門の状態は極く低い水準にある。恐らく、製紙業、印刷業、映畫業、ラヂオ機械業、電信電話機業及我が國の文化生活的要求に奉仕するその他工業の計畫を改訂擴大しなければならぬ。發展する國民經濟、廣汎なる勤勞大衆の増大する文化率はこの方面に於て非常に大なる要求を提出してゐる。この熾烈な鋭い要求は短期間に滿されなければならぬ。この任務は工業の負擔である。我々はどうしてもより迅速なテムボを以て製紙業、印刷業及文化的建設に奉仕する他の工業部門を前進させなければならぬ。

浴場、洗濯場、公衆食堂、公衆炊事場等の生活施設は今やオトギ話の如き迅速さで發展するに相違

ない。労働階級及びコルホーズに合同されたる農民は甚大な要求を提出するであらう。蓋しこれ等數百萬大衆の文化的水準は近き將來に於て非常に向上するであらうからである。これ等勤勞大衆の要求に關する施設はどうしても工業によつて遂行されなければならぬ。工業は指導原理であり、工業は全國民經濟を我が發達の現段階に於て改建しなければならぬ、といふレーニンのポリシエヴィキ的公式が未だかつて見ざる程切實なものになつたことは諸君の見らるゝ通りである。凡ては工業の發展に立脚してゐる、凡ては先づ我が機械工業の發展に立脚してゐる。國民經濟の全部門に奉仕する機械工業の發展により始めて我が社會主義的建設の全部門は改建されるのである。

### 科學研究事業

諸君、私は科學研究事業に就て茲に數言したい。本事業の工業に於ける役割は國民經濟發展のテムボと關聯して除外的意義を獲得して來た。茲には最早オプロモフ主義の餘地はない、舊弊な仕事振は、犬に喰はれろである。どうしても新らしき作業方法を鍛へ上げ、新らしき工藝過程を鍛へ上げ、最大限度のテムボを以て我が全原料資源を研究し、全産業部門のために新らしき原料を發見し、その利用方法を研究し、凡てこれ等新原料の固有性を研究しなければならぬ。我が科學技術機關、我が科學研究所はこの大事業をやり遂げなければならぬ。我が科學研究所の豫算は益増加した。一九二七—

二八年度に於ては三千二百五十萬ルーブル、一九二八—二九年度に於ては五千八百萬ルーブル、一九二九—三〇年度に於ては一億八百六十萬ルーブルとなつてゐる。同時に研究所網も増大した。一九二七—二八年度に於ては三十四箇所から五十箇所に増大した。だがもちろんこれではまだ極めて不充分である。これが不充分なることは、アメリカに於ける「ゼネラルエレクトリック」の一電燈工場に年一千二百萬ドル即ち二千四百萬ルーブルの維持費をもつてする研究室があることを舉ぐれば明白である。この金額は我々が昨年度中我が凡ての研究所に費せし費用の約半額である。言ふまでもなくこの企業の持主たる資本家はこれを有利と認め、この費用が回収されるものと考へてゐるのである。我々はこの研究室のお蔭で如何に早く電燈事業の技術が發展し、如何に生産行程が迅速化進されるかを知つてゐる。ところで我が研究所は何をなしたか？ 我々は科學研究所の貸方の部に何ものかを記入することが出来る。例へば、チエプロ・テフニチエスキー研究所は有効な石炭の焚き方を案出した。この方法によつてボイラーの能率は二七%方増大し、年約百萬ルーブルを節約することが出来る。又モスクワ炭から煉炭を作製した。

この方法は「モスヒムエネルコムピナート」の基礎となつた。又ボイラー技術に於てバラフィン油應用の方法が作製された。この方法は、研究所の豫想によれば、年五百萬ルーブルの効果を與へるであらう。それからフレザー泥炭の焚き方が發見され、それがために機械用泥炭より五〇%乃至六〇%

安いフレザー泥炭の採掘を發展させる可能を得つゝある。

この研究所に附屬して合理化部があるが、この合理化部は、各經濟機關の依頼に依り、燃料使用法の合理化を研究してゐる。研究所の豫想によれば、本部の仕事によつて四百萬ルーブルの節約を達成することが出来る。燃焼釜の新構造も本研究の達成である。

泥炭研究所は泥炭の順層表面採掘方法を發見した。この方法によつて泥炭の採掘、乾燥及び運搬の過程が機械化される。これが爲に泥炭の原價は二倍方引下げられ、しかも資本支出は三乃至四倍の縮小となり、且作業季節を八十日から百二十日に延ばすことが出来るのである。既に開發された泥炭地は、この方法によると、農業經營のために開墾済の畑地とし利用し得られる。

最近創立された土木研究所によつて四角、丸及び八角の鐵筋コンクリート工事のため新らしき公式計算が發見されたが、それによると建物の堅固率を少しも減少せしめることなくして、基礎を設計する際鐵及コンクリートを五〇%迄節約することが出来る。

原礦の機械的精鍊を研究するメハノブルによつてクリウオロジェ石炭を産地から豊富にする可能が判明した。

ケルチエンスク鐵礦に關し、この鐵礦から五二%の鐵を含有する凝塊岩を取つて、この鐵礦を豊富にする見積りが作成された。

メハノブル研究所は又オレンブルグ地方及びベルム地方の含銅砂岩、その他銅礦を豊富にする見積を樹てた。

應用礦物學研究所に於ては、黃銅礦を焙鍊する際空中に飛散する硫黃瓦斯より硫黃及び硫酸を取る方法を作成した。ウラルに於てはこの方法によつてトン當り六十ルーブル乃至七十ルーブル宛で硫黃が取れることになった。これは普通の硫黃より二倍半方低廉であつて、著しく輸入を縮小することが出来る。この研究所は又農業の害虫を驅除するために幾多の調劑を製造する方法を發見した。

肥料研究所は經濟的に有利な磷の産地を調査して、將來各所に磷開發の端緒を作つた。

我が研究所はアルミニウム問題解決に就て大なる役割を演じた。アルミニウム問題は既に解決されたと見て差支へない。

國立應用化學研究所に於てはアルミニウムの酸化物を採取するための基本物資の試験工場の生産を始めた。これ等の仕事とレニングラードに於ける他の研究所の仕事を基礎として既に金屬アルミニウムの冶金に關する試験工場を建設したが、この工場はアルミニウム一、二トンを出してゐる。このアルミニウムをもつてその精製に關する試験を行つたが、その結果は我が貧弱なアルミニウム礦から採るアルミニウムはその品質に於て輸入アルミニウムに劣らぬことを示した。特にこれから厚さ〇、〇五ミリメートルのアルミニウム板が造られた。その必要なる特性は凡て立派に試験を

通過した。この作業を根據としてレニングラードの地方に大なる工場を建設し且ドネプロストロイにより強力な他の工場を建てる豫定である。

ラヂオ聯絡に關し中央ラヂオ試験所は超弩級及び弩級カソードラムプの構造を發見した。「コミンテルン」、「ノーウイ・コミンテルン」の如き強力放送局は總てこのラムプを裝置してゐる。

發聲映畫の方面に於ては技師シヨールン及びタゲールによつて發聲映畫の構造が終了された。この發聲映畫構造は試験の時期を脱して、今や工場に移された。

物理技術研究所のヨッフエは薄層絶縁に關し科學的な仕事を爲したが、これは非常に興味あることである。この仕事は未だ完成の域に達してゐないが、ヨッフエは後一年で完成するだらう。この仕事の結果は電氣技術一般に於ける絶縁機問題に重大なる變革を齎すものであらう。

私はこの上、かういふ仕事を全部列挙してゐる暇はないが、たゞパツフ研究所が研究して重大な結果を與へた人造纖維の問題だけ述べて置かう。

科學研究所の役割は、併し、それ等が各自の所で行つてゐる探求に盡きるものではない。

研究所は、この科學研究的作業の外、他に新らしく建設をなす毎に、大なる計畫をたてる毎に相談及び科學技術的忠告を與へることによつて産業と密接な關係を有するものである。改建、合理化、新らしき工藝過程の組織に關する仕事は科學研究所の密接なる参加を俟つて全産業戦線に亘り行はれてゐる

併し科學研究的仕事の戦線に於て凡てが工合よく行つてゐるとは言ひ難い。研究所の仕事には屢目的に對する熱心さが缺けて居り、どうしても我が産業に新技術を與へてやらうといふ希望が缺けてゐて、仕事のテムボが緩慢である。

かの疑獄者流の裁判が示した如く、或る場合に於ては階級的、プロレタリア的指導が缺けてゐる。以上の事情に鑑み、我々はモット社會一般の注意をこの戦線に向け、モット眞面目にこの仕事に従事しなければならぬ。

地質踏査作業は、益産業を發展するため、又産業を改建するために大なる意義を有するものである。この方面に於ては進歩のあとが見られるか。まだまだこれに満足することは出来ない。その達成はどんなものであるか？ 最近二ヶ年間に、地質踏査局の仕事により、我々は黑色金屬の埋藏量を十億トン以上増大した。この中にはカザクスクン、ネルチンスク及び他の地方に於ける新産地がある。

コウラドスクの如き全く新しい銅産地が發見された。又鉛、亞鉛、アルミニウムその他の新産地も發見された。

石炭の埋藏量は數十億トン増大してゐる。

我々は又未だ非常に微々たるものであるが、産業にとり大なる意義を有する新らしき金屬の踏査にも成功した。極東に於てモリブデン礦、ザバイカルに於てヴォルフラム、ウラルル於てマグネシウム

ム、ニッケル、アルミニウム等々の産地が発見された。

我々は今や國産ヴォルフラムを有するをもつて堅固なる合金の生産を開始することが出来る。そしてモスクワに於けるエレクトロザウオード工場は所謂「ボベジート」の生産を始めた。この「ボベジート」なるものは、クルツプのヴィジウムと競争するものである。ヴィジウムなる金属は堅固なる金属であつて、金属を切断する際五倍方製作の行程を速めさせるものである。即ち我が「ボベジート」はヴィジウムと同様の硬度に達してゐるのである。これを我が工場に於て試験した結果、我々は實際大勝利を博したことが判つた。

この金属はダイヤモンドで切断しなければならぬものを切断する場合に適用されるであらう。我がエレクトロザウオード工場の成功は實に特筆すべきものである。

「ボベジート」の普及、その我が金属製造工業への扶植によつて、金属製作の速度に甚大な効果を齎すであらう。尙ほこの點に於て我々は器具用速断鋼鐵の輸入を免れつゝある。

我々は原料基礎をもつてこの事業を保證しなければならぬ。我々はどうしてもモリブデンと同様量のヴォルフラムを発見し、以てこの金属より造る器具をもつて我が金属製作業に貢献するやうにならなければならぬ。

地質踏査事業を更に更に躍進させ地質踏査局の仕事をも更に増進するに非ざれば我々は近き將來に於

て我が原料基礎の涸渇を來し、以て我が新工場及び新鑛山の開發を遅延せしむる様になるかも知れぬ。地質學的作業の意義は我が國民經濟に於て爲さるべき又既に五箇年計畫實行過程に於て爲されつゝある地方的躍進と關聯して殊に増大しつゝある。

既に五箇年計畫の最初二年の實行により我が産業は全國の諸地方に亘り著しき移動を來した。來るべき數年は必ずや更に更に著しき新躍進を齎すであらう。

### 産業の地理的配置

産業の地理的配置状態は今や我々が資本主義より遺産として受取つたものと著しく異なつて來た。これは先づ我が建設の方向に歸因するものである。

例へば、ウクライナ、レニングラード州、モスクワ州、イワノフスク州即ち最も舊い産業地帯をとり、他方に於てウラル、シベリア、カザクスタン、中央アジア及び極東をとつてこの二地帯群に對する年次別基本投資額を比較すれば次の如き状態となる。

舊き地方に對し一九二七—二八年度に於ては全資本支出額の五九・〇五%を投資したが、この%は一九二八—二九年度に於ては五三・〇八%、そして一九二九—三〇年度に於ては四七・%に低下した。ウラル及シベリアを頭らとする諸地方は、これと反對に資本支出に於けるその比重を逐年増大しつ

ある。即ち一九二七—二八年度は一、二、五五%、一九二八—二九年度は一、七、三六%、一九二九—三〇年度は二、七、一三%である。換言すれば、これ等地方の總建設規模に於ける比重は三年間に二倍以上増大した。これに際し新地方の比重増大は舊地方の非常に大なる發展ポテムボを伴ひつゝ行はれてゐることを念頭に置かねばならぬ。舊地方は毫も一所に停まつてゐない。ウクライナに於ける基本作業は一九二七—二八年度に於ける三億二千七百六十萬ルーブルから一九二八—二九年度に於ける七億二千二十萬ルーブルに増大した。モスクワ州に於てはそれが二倍化した。

基本作業の容積はグイ／＼と成長する。だが新地方及び州に於てその成長は一層迅速である。ウラルは基本作業に於けるその分前を二倍方増大し、シベリアは三倍方増大した。ウラルに於ける一九二九—三〇年度の基本作業は一九二七—二八年度と比較して五倍方増大し、シベリアに於ては殆んど七倍に達してゐる。ソ同盟の新地方に於ては到る處基礎的舊産業地方のオ蔭でその比重を増大してゐる。これは我々が、植民地政策が産業の地理的配置に於て決定的役割を演じてゐた資本主義の政策と手を切つたからである。

産業配置の豫定に於て我々は大なる原料資源を有する新地方を吊上げるといふ原則から出發しなければならぬ。これは與へられたる地方の生産諸力全部を根こそぎに利用せんがためである。この觀點より古い孤立的地方はそこに産業作業を發展するために最も有利なところではないことがある。

個々の地方に於ける原料資源の存在とその利用の間には次のやうな不釣合がある。即ちクズネツ炭田をとつて見る。一九二七—二八年度の調査によれば、この炭田の埋藏量は三千九百六十億トン即ち我が石炭埋藏量全部の七四、五%である。

ドンバツスの埋藏量は六百四十五億トン即ち全國石炭埋藏量全部の一、二、二%と決定されてゐる。然るに一九二七—二八年度に於けるクズバツスの採掘高は全國に於ける採掘高の七%であり、ドンバツスの採掘高は七七%であつた。

殊にウラル及びシベリアに於ける第二炭鐵中心地の創設は緊要な任務である。

目下我が國南部金屬業の比重は約七三%であり、ウラルの比重は二一%である。このことは南部金屬業の獨立的位置を語るものである。然るに五箇年計畫の末に到れば、ウラルとシベリアを合して一千七百萬トン中約六百萬トンの鉄鐵を出すことになり、一九二九—三〇年度に於て全國金屬業全部が出す鉄鐵よりも多く出すことになる。これに際し南部金屬業は一つ所に停まつてゐるに、迅速に發展し、幾多工場の大改建が行はれ、大金屬工場を含むドネプロフスキー・コムビナートが建設され、マリウポリスキー工場が建設され、ケルチエンスキー工場が設立されつゝあることを念頭に置かなければならぬ。それにも拘らず、全國金屬業に於けるウラル及びシベリアの比重は益増大して三分の一に達するであらう。金屬業今後の發展の前途は必ずやウラルの分前が近き將來に増大することを齎すで



あらう。ニジネ・タギルスキー工場の如きその生産能力の僅か一部分が五箇年計畫に入るのみであり、バカリスキー工場が竣工すれば、ウラル及びシベリアの分前を更に一層増大するであらう。

この飛躍は、一般經濟的動機並に政治・軍事的動機により我々に缺くべからざるものであつて、非常に重大な事件を示すものである。ウラル及びシベリアは他の産業部門に於ても前途洋々たるものがある。ウラルは五箇年計畫の末までにA群全體の生産高を十倍以上増大し、その金屬業を基礎として大機械工業及び大化學工業地方となるであらう。

廣大なる地域と莫大なる天然富源を有するシベリアは將來スバラしき發展をなすべき地方である。或る推計によれば、シベリアの全工業生産高は全工業に亘り十三四倍増大し、A群に於ては一九二七—二八年度の二十倍に達するであらう。

有色金屬、石炭、ゴム含有植物、技術的作物等を有するカザクスタンは大工業地方たる將來を有する非常に富源に高む地方である。カザクスタンの生産は五箇年計畫の末に當り一九二七—二八年度と比較し十五倍に増大する筈である。カザクスタンは工業地方となつて、我が國民經濟に貴重なる生産物を與へ、以て我々を有色金屬、ゴム工業材料及び紡績業材料等の輸入から解放するであらう。

ウラル及びシベリアの我が國民經濟に於ける比重がレニングラツキー、モスコフスキー、イワノフスキー地方の如き地方の工業テムボ増大を低下せしめざることは言ふまでもない。これ等の地方は今日

と同様のテムボを以て發展するであらうが、機械工業、動力工業の如き産業部門は更に迅速なるテムボを以て發展するに相違ない。

尙ほ中部ヴォルガ、下部ヴォルガ、ニジエゴロツカヤ州、セーウエルナヤ州の如き地方は無盡蔵の森林資源を有し、大なる發展テムボを有するであらう。併し我々はこの産業地理的配置政策に於て、目下歴史的意義を有する最も重要な問題として日程に上つてゐる問題を斷乎として切り抜けねばならぬ。これはウラル及びシベリアに新たなる炭業製鐵中心生即ち第二の石炭・金屬根據地を創設することである。我々はこの任務を遂行しなければならぬ、そして我々はこれを遂行するであらう。

### 産業の仕事の質に就て

今度は仕事のテムボを促進し五箇年計畫中にある指標の達成を促進するために、我が産業の有する産業の仕事の質的指標及び余力の検討に移らう。

質的指標を論ずるには先づ原價に言及しなければならぬ。これは黨・經營責任者、労働組合及び全労働階級の特別な注意を要する一部署である。

實際諸君の知る如く、基本建設今後の計畫は、この建設に投下される資金の大部分を生産物の販賣より得る産業に於ける蓄積によつて取得する限り、全く原價に懸つてゐるのである。それ故に原價計

畫の遂行は黨及政府が産業に課してゐる建設計畫を遂行するための根本條件である。

質的指標に關する計畫的任務が組織的に遂行され且過剩遂行されつゝある時、質的指標の方面に於てはまだ著しき遲滞が認められる。一九二八—二九年度に於て我々は計畫による七%に對し僅か四%しか引下げを實現しなかつた。本一九二九—三〇年度に就て見るに、上半期原價引下げの資料は計畫一%に對し僅か六%となつてゐる。

幾多の産業部門は原價引下げの計畫を處理してゐる。このことは全産業に亘る原價引下げの任務をモットよく活動させ、この闘争方面に充分の力と注意を注ぎさへすれば必ず遂行され得ることを證明してゐる。遂行不足の原因は生産の合理化に對し、労働の組織化の改善に際し、原料及設備のより合理的なる利用に對する注意の不充分なることにある。本年中生産手段を生産する幾多産業部門は尙ほ計畫任務の遂行から遅れてゐる。これは殊に危険である。黑色金屬業は計畫に於ては一%なるに、實際の引下げは二、七%であつた。農業機械製造工業に於ては計畫の一六、二%に對し僅か八、五%の引下げである。石油業に於ては二二%の筈を五%、森林業に於ては一二、五%の筈を三、五%セメント業に於ては一四、八%の筈を三、六%である。計畫の遂行の不足によつて産業の蒙れる損害は非常に大きく、従つて本年後半期に於てこの損失を補填するには非常な努力を要する。後半期に於ては前半期に到達せる水準に對し一六%方原價を引下げなければならぬ。この條件によつて始めて一年間の任務を遂

行し得るのである。

原價引下げに關する豫定計畫を量的計畫と同様に遂行するためには更に追加的努力を要する。

建築費引下げに就ては更に面白からぬ事情がある。我々は僅かしか建築費の指數を下けてゐない。この點に於てはどうしても斷乎たる轉機を獲得しなければならぬ。蓋し建築費が一%でも高くなることは何百萬ルーブルの損害を意味するものである。四十億ルーブルの建築費に於て一%の建築費用は正に四千萬ルーブルである。

生産の全理化に關する凡ての施設を迅速に實現し、勞力供給を實現し、各工場に於ける生産を正しく計畫だて、企業に於ける技術的中心を鞏固にしてこそ始めて本年上半期に生じたる欠陥を埋め以て計畫の遂行を保證することが出来るのである。

### 生産物の品質に就て

今後特別の注意を拂ふべき問題は生産物の品質改善の問題である。實際生産物の品質はヒドク不満と認めなければならぬ。個々の場合に於ては一層惡化の傾向がある。

産業企業が品質優良ならざる生産物を多量に出すことは國民經濟及び廣汎なる勤勞大衆の物質的福祉に損害を與へる。又生産物の品質が悪ければ産業の量的達成を引下げ、基本作業を高價ならしめ、

計畫に想定された基本作業の効率率を保證しなくなり、商品の効用期間を短縮し、以て商品價値を激化せしめ、原價の昂騰を招來する。蓋し大多數の産業部門は結局他のそれと隣接する産業部門のために原料となる生産物を生産するものであるからである。

幾多重要産業部門は生産物品質指數の悪化を示してゐる。例へば金屬業に於ける鉄鐵の廢却率は一九二七—二八年度より本年度までに、二五%から、三八%に増大した。尾根鐵の廢却率は〇、三七%から二、九五%に即ち八倍の増大である。ナチエージンスキー工場に於ける軌條の廢却率は二六%から三三、四%に増大した。

特に堪へ難きは石炭工業に於ける生産物品質の状態である。こゝでは本年上四半期に於ける生産の率は幾多の大炭坑に亘り一四%を出し、或る炭坑に於ては一六%にさへ達し、月々増加しつつある。これは、炭屑の高率な事が生産行程を解體させ且コークス工業に於ける設備の消耗を早める事に鑑みれば非常に堪へ難い事である。來年度の石炭工場生産計畫は七千二百萬乃至七千三百萬トンとなつてゐるが、若しそこに一四%もの炭屑を生ずるとすれば、石炭として何人にも用のないそして生産に有害な炭屑が一千萬トン以上ある事になる。而も我が國の鐵道はこの炭屑を輸送するために六千列車を要する事になるのである。若しこの事情に炭屑一%が金屬業に於ける原價を一%づゝ引上げ、煉鐵爐の利用能率を悪化せしめ、製造される金屬の品質を低下せしめるといふ事情を加ふれば、如何に炭屑の増大が

堪へ難き事であるか全く明白である。生産物品質改善のたあには眞にボルシエヴィキ的努力を要する。木材の品質低きために農業機械製造工業は九八ヶ年に亘り消費木材の四〇乃至五〇%を捨ててゐるやうな事になつてゐる。一般消費物資を生産する産業部門に於ける生産物の品質は更によくない。紡績業、皮革製靴業の好き産業部門は今まで品質改善のため所要の努力を拂つてゐない。その結果廢却率は四〇%といふ大きな數字に達してゐる。

私は單に個々の例證を擧げたのみである。この例證のみによつて見るも經濟作業のこの重大な部署に於ては根本の改革をしなければならぬ。

生産物品質改善の仕事は先づ以て廣汎なる勤勞大衆をこの事業に引き入れることに立脚しなければならぬ。これがためには生産及労働の新らしき組織形態たる競争及打撃を利用すべきである。これらで相競争する労働者群及打撃隊に對しては、量的問題の如き鋭さをもつて、品質改善問題は提起されなかつた。打撃隊のスローガンはいつも「これこれだけ金屬を作れ」、「これこれだけ機械を作れ」、これこれだけ石炭を出せといふやうなものである。今やこれ等のスローガンはモット新らしいスローガンによつて追加されなければならぬ。今日のスローガンは「これこれだけ石炭を出せ、そして炭屑を最小限度にしろ」でなければならぬ。生産物の品質は社會主義的競争及打撃の缺く可からざる要素とならなければならぬ。これがなければ何んにもならない。

各企業の仕事は常に、量的達成の観点からのみならず、仕事の質的結果の観点から評價される必要がある。若し何れかの炭坑が生産計畫を過剰遂行はしてゐるが、同時に一六%の炭屑を出すやうなら何にならう。何れかの機械製造工場が所期數量の旋盤を出すのはよいが、暫らく使へば直ぐ傷んでしまふやうなものを作つたら何にならう。このやうな「遂行」は計畫の破壊であり、欺瞞であつて我が産業戦線に於ける達成とは言へないのである。

されば各工場の作業指數には、どうしても量と並んで、質の問題を加へなければならぬ。量的方面に於ける計畫の實行と並んで、質を改善する工場のみが眞に打撃的であり社會主義的競争に於ける勝利者と稱され得るのである。大衆を生産物品質改善運動に引き入れることは、他の幾多組織的方法によつて伴はねければならぬ。殊に工場に於ける検査機關は工場幹部より獨立せる位置に置かれ獨立性を與へられなければならぬ。而してそれが工場支配人にとつて如何に屈辱的であらうとも、例へば、會計係と同様のければならぬ。この方法によれば生産物品質検査機關は眞に品質劣悪な生産品を市場に出さぬやうに興味をもつやうになると思ふ。そして始めて經營擔任者の多くは組織的に品質を改善するための方法を講ずるやうになるであらう。蓋し企業に對し全く獨立せるこの検査機關が常に劣悪生産物を廢却しこれを通過せしめなければ、工場幹部も労働大衆の積極的參加と相俟つて、生産物の品質を改善するためにあらゆる方法手段を求めらるやうになるであらう。斯の如き検査機關は凡ての工業

に設けなければならぬ。そしてこれを熟練労働者の定員を以て固めなければならぬ。右の検査機關は、若し工場が直接聯合體に服従してゐない場合は、トラスト乃至聯合體の如きより上級の經濟機關に服従すべきである。

經濟機關は生産物の品質惡化に對し量的生産計畫の遂行不足に對するよりも大なる責任を負はねばならぬ。

若し廢却品が増大するとすれば、如何なる計畫も遂行されたとは見做し難い。生産物品質改善運動は産業及全従事員の最も重大な任務である。

國民經濟に優良なる生産物が注入される時、始めて産業の達成は鞏固となり、始めて所要のテンポは戦ひ取られるのである。

本大會は凡ての産業機關をして短期間に決定的躍進を爲さしめ、凡てのプロレタリア機關及全労働級をこの戦線部署に於て、量的達成獲得運動に於て發揮されたと同様の感激を發揮するやう激勵しなければならぬ。

### 労働の生産率

産業の仕事の質的指數と關聯する次の問題は労働の生産率に關する問題である。労働の生産率が我

が社會的建設の決定的要因であることは今や一般周知の初步的眞理となつた。レーニンはこの事情を幾度となく力説したが、この方面に於て我々は近年著しく前進した。勞働の生産率は一九二六—二七年即ち第十五回大會の前年より本年上半期に至る期間に於て四一%方増大し、目下戰前製作の水準を五〇%方超過してゐる。而も我々は、全産業に亘り平均七、二時間まで勞働時間が短縮され、我が産業の大部分に七時間勞働制が實施され、地下勞働者及び有毒工場に於て六時間勞働制が實施されてゐるにも拘らず、この成績を見たのである。

然し我々は未だ先進資本主義諸國が有する生産率の水準より著しく遅れてゐる。例へば、我が國に於ける石炭工業勞働者一人當りの年採掘高は百六十四トンであるのに、アメリカの勞働者一人當り採掘高は七百十五萬トンである。我が國に於て鉄鐵の勞働者一人當りの製造高は二百十八トンであるのにアメリカに於ては千二百七十トンであつて即ち約六倍多い。我が國に於て綿業勞働者一人當り年綿花加工高は四、四トンであるのに、アメリカに於ては一五、四トンにして三倍半多い。甜菜製糖業に於ては我が國にあつて勞働者一人當り年製造高一六、四トンであるのに、アメリカに於ては一〇〇トンにして我が勞働者の製造高を超過すること六倍である。(アメリカでは技術が遠つてら—といふ聲あり) 全くその通りだ。これからその問題に移らうとしてゐるとこだ。

「追ひ着け追ひ越せ」のスローガンを實現する必要により、我々は先づ勞働者の資本武裝率を増加

することによつて勞働生産率の引上げを計らなければならぬ。

勞働生産率は勞働者の資本武裝率を増大することによつて、即ち、我が産業への資本投資によつて著しく引上げられるものである。我が國の勞働生産率は一九二六—二七年に比較し四一%方増大したが、これは即ち資本武裝率の増大によることが多い。この期間中資本武裝率は勞働者一人當り平均四千二百ルーブルから五千八百五十ルーブルに、即ち、四九%方増大した。この二數字間の依存性は明らかである。

かくて我が國に於ける生産率の増大は我々が技術的に我が産業を改装し、又我々が我が工業に資金を投下し、我々が勞働者を益新式な生産用具をもつて武裝させてゐる事に著しく歸因するものである。資本武裝率は本年一年のみにて、勞働生産率増大の豫定が二五%なるに反し、三二%増大する筈である。

然るに勞働生産率は本年の七ヶ月間に實際一七%方増大した。大なる資本投下にも拘らず又資本投下計畫が過剰遂行されてゐるにも拘らず、この如き勞働生産率計畫の實行不足は著しく主觀的原因に依るものである。

勞働生産率増大計畫實行上の大なる障害は技師技術部員よりの指導不充たなることである。アメリカに於てもヨーロッパに於ても技師は常に各勞働者の仕事を監督し相當の訓令指示を與へてゐる。我

が國に於ては屢技師技術部員がかゝる仕事に對し貴族的態度をとつてゐる。この仕事は非常に困難な非常に面倒な仕事であり、時として技師技術部員に非常な不愉快を與へるものである。だがこの仕事は眞に勞働生産率の方面に於てよき結果を得んとするには全く缺く可らざるものである。そしてこの任務は我が國に於て目下勞働階級中に起りつゝある諸過程と關聯し、即ち勞働階級の隊列が農村より來れる未だ充分訓練されざる勞働力によつて滿されることと關聯して殊に重要なものである。

勞働構成が甚しく流動することも亦勞働生産率計畫の實行不足に大なる影響を與へてゐる。我が國に於ける勞働構成の流動性は事情甚だ面白くない。この流動性を防止するやう、全經濟機關及勞働組合機關の注意を鋭くしなければならぬ。石炭工業及びウラル製鐵業のみに就て見ても、最近一年間にこの流動性は二倍増大した。これは一部分に於て目下農村に起りつゝある諸過程によるものである。昨年秋及本年春すさまじく行はれた農業の團體化は農村と密接な關係ある勞働階級の要素に反映せざるを得なかつた。我々は、石炭工業の甚だしき流動性の故に、又勞働者が與へられたる村の團體化問題題を解決すべく農村へ去つた故に勞働力に危機を感じたやうな例を知つてゐる。

勞働生産率の増大を促進するための根本手段は目下勞働階級中にその積極性及び創意の増大と關聯して起りつゝある諸過程である。社會主義的競争及打撃の展開、勞働規律の鞏固化、勞働者そのものの積極的參加による合理化的作業の進展、勞働者の資本武裝率及び動力武裝率の同時的成長による基

本る設備利用の改善は、今後勞働生産率の増大を保障し、以て我々はこの方面に於て最短期間に最も發達せる資本主義諸國に追ひ着き追ひこすことが出来るやうになるであらう。我々は尙ほ質的計畫改善の計畫を遂行してゐない。このことは計畫が實行されたこと、その計畫がその質を引下げねばならぬ程に困難であることを意味するものであらうか？ 絶対にさうではない。

### 合理化は基礎的任務である

我が國には生産物品質改善の意味に於ても、原價引下げ及び勞働生産率増進の意味に於ても、生産物品質改善の意味に於ても尨大な餘力がある。而して質的改善計畫實行に於ける最も重要な手段は合理化である。即ち現存設備の最善の利用及び最新式世界技術の扶殖の道を進む社會主義的合理化である。合理化は今日の基礎的任務となり、原價引下げ及び品質改善の最も重要なテコとならねばならぬ。産業作業の研究は尨大な・かくれた餘力の存在を指示してゐる。この餘力を利用すれば産業發展のテムボを著しく増進することが出来る。この餘力はどうしてもこれを開發し最大限度に於て利用しなければならぬ。先づ無休週間を示さう。これは最大限度に生産行程を合理化し、設備の利用を改善しつゝある、その結果生産物の製出は二五%増大することになる。次に生産物製出増大に於て大なる役割を演ずるのは交替率の増大である。前述の如く、全産業に亘る交替率は僅か一、六にしか達して

るないがこれは全く醜態である。されば我々はこの數字を如何にもして増大し、組織的にこの係數を最大限度迄もつて行かねばならぬ。蓋し交替率を僅か二に上げても、我々は現在有する生産物より四分の一を増大することが出来るのである。

我々は近き將來の任務として交替率係數の最大限度的増大なる實際的スローガンを提出しなければならぬ。かくして我々は今眠つてゐる凡ての力を自覺し、以て我が設備を遙によく利用し得るであらう。

交替率の係數は今の處非常に緩漫にしか上つてゐない。前大會の時よりこの係數は僅か一〇%の増大である。今それは一、六であるが、仕事交替の平均時長を七、二時間として計算すれば、我が全設備の化事の時長は尙ほ一晝夜十二時間に達しないことになる。交替率の係數をよしんば二にしても、我々は我が産業の設備を十五時間働かせることが出来る。これは疑ひもなく長足の前進である。この餘力は、殊に交替率の増加を抑止してゐる企業の狭き部分を擴大する意味に於て、資本投下の方向を決定する際よく考慮しなければならぬ。かくて交替率は今後無休生産を擴大することゝ並んで、我々がかくれたる餘力を動員し、我が發展のテムボ増大の爲の新らしき源泉を求め得る最も重要なテコの一つである。

規格化の問題に就ては未だ多くの人々がその意義を重要視してゐない故、非常に多くを語らなければ

ばなるまい。規格化の方面に於ける諸種の方法は生産の改善、全技藝的行程の合理化に於て最も有力な要因である。蓋し規格化は大量生産の設定及び無休活動の實現を可能ならしめるからである。

規格化は又生産物品質改善の可能を與へる。蓋し規格化を實行すれば、規格に相當せぬものは廢却されを以て品質改善の任務が著しく緩和されるからである。それ故に規格化を實行するに於て我々はたゞに生産物の量を増大するのみならず、生産物の劣悪なる品質を防止することが出来るのである。

私はこのことを詳説しない。たゞ規格化の方面に於て若干の達成を有することを述べるに止めやう。全國産業規格の數は、殆んど全産業部門に亘り四百を超えてゐる。この達成は未だ極く微々たるものである。最近まで規格化は設備及び建築材料の規格化を除外して居る。これ等の方面に規格化を擴大することは第一義的任務である。

企業専門化の方面に於て本年は稍轉機を見せたが、他の重要な生産の要因即ち企業の共働化に就ては殆んど轉機を見ない。専門化及び共働化を益實行することは、生産物品質の改善及び原價の引下げを助成するであらう。生産合理化の方面に於ける最も重要な要素は生産行程の正しき計畫化及び計畫任務の職場、旋盤までの擴大である。原價引下げの計畫數字は具體的合理化計畫を基礎としなければならぬ。今後益計畫化及び生産の組織改善を進めることは産業及び各合理化機關の第一義的任務である。

無休生産實施の凡ての場合に於て生産循環の時間が著しく短縮されたにも拘らず（三回より十回ま

で)生産率の著しき増大を見たことは經驗の示すところである。而も構内の利用は三倍乃至五倍増大し、原價の引下げを招來してゐるのである。今後に於ても分勞その他一切合理化に關する仕事を増進しなければならぬ。

生産合理化の仕事が各企業に於て何を齎したか。二三の例を示さう。これ等の例を見ると、何故に今日までそれやこれやの合理的施設は行ひながら、重大な生産的達成を取得せんとはしなかつたか判らなくなる。時としてまるで奇蹟のやうなことがある。例へばモスクワに於けるマスチャジャルト工場にボイラーの電氣銲接機を使用したところボイラーの原價は二千三百ルーブルより一千七百十二ルーブルに即ち三〇%方低下した。「クラーヌマイ・ソルモフ」工場に於ては旋盤に就て少しく合理化を行つた結果、シリンドラー、コムプレツサーの製作に要する時間を一九、五時間より五五時間に即ち三時半以上短縮することが出来た。

そこでは又合理化後デイゼルに附する齒腹の製作時間が九時間から一時間半に即ち六倍短縮された。「クラーヌマイ・プロフィンテルン」の職場に於ては合理化の結果原價二一、六%を引下げつゝ同時に製作量を二三%方増大した。

これ等個々の例證を見ても、若し合理的作業及び産業に於ける無駄の防止を所要の高度に引上げれば、我々が尙ほ如何に大なる我が産業發展の余力を動員し得るか判る。

もちろんどこでも合理化が斯の如く驚くべき結果を齎すわけではない。併し益發展する我が尨大な産業に作業の改善が一部でも加はれば、それだけ我が國に多くの生産物を與へるものであることは諸君自ら理解されるであらう。最高國民經濟會議によつて計畫される産業が百八十億ルーブルの生産物を出すとすれば、その一部は一億八千萬ルーブルであり、その一〇%は實に十八億ルーブルである。

それ故に全戦線に亘つてこれに突進しなければならぬ。各工場に於て一〇%宛、二%宛、或は一%宛獲得するやうになれば、我が發展テンポを最大限度に促進させることが出来る。作業が合理化されぬ結果、我が産業に於ける無駄は尙ほ極めて大きい。燃料使用の方面に働いてゐる同志達の推定によれば、我々は産業に亘り燃料をそれが技術的に必要な量より最低三億ルーブル多く焚いてゐるといふ。既に検査された合理化施設を凡ての企業に採用すれば、我々は我が國のために我が國民經濟にシカク貴重な燃料を三億ルーブルも節約し得るのである。建築の方面にたづさはる同志達の推定によれば、建築に用ゐられる金屬の餘分は二十萬トンであるといふ。個人として私はこの數字は少な過ぎると思ふが、二十萬トンとしてもそれは中流工場の一年間の生産高である。

これだけの金屬が非經濟的非合理的費消により建築に於て浪費されるのである。建築に於ける煉瓦の使ひ過ぎは一年十五億個以上の數に上る。機械油の浪費によつて我々は一年四千萬ルーブルも失つてゐる。包装の合理化されないために失ふところも一年五千萬ルーブルである。以上によつて見るも



無駄の防止なる仕事はこれを當面の任務とし、これがためには合理化の仕事を發展させるために産業に於ける合理化機關並にトラストその他に於ける特別合理局が全力を注がなければならぬ。

次に經驗の交換といふ問題をとつて見やう。生産手段に對する私有權が廢止されて、計畫經濟が存在し各企業が、競争の利益によらず、労働階級の缺乏充足の利益により、又プロレタリア國家の利益によつて自らを指導してゐる我が國に尙ほ祕密主義及び個々工場に於ける達成の隱匿が存在することは屈辱である。幾多の例を擧げることが出來やうが、茲には二三の例に止めて置く。例へばウラルの諸工場は百二十回乃至百五十回の熔鑄に堪える坩堝爐の製造方法を發見した。この問題に於てウラルは南部を追ひ越したのである。蓋しユゴスターリの諸工場は僅か四十回の熔鑄に堪える坩堝爐をもつてゐるのであるから。然るにウラルは未だ南部の諸工場と經驗を交換しない。若しそこに祕密主義がないならば、この事に就てウラルの金屬工場を責めることは出來ない。だがそこには、兎に角、南部諸工場の非常に融通のきかないこととウラルの金屬工業に自分の立派な體驗を他の企業に移さうとする創意のないことだけは推察出来る。これはもちろん計畫化の不足と産業最高機關の指導の不足によるものである。併し事實はどこまでも事實である。即ちウラルに於ては坩堝爐に於て熔鑄度數百五十回に達してゐるのに、南部に於ては坩堝爐が僅か四十回にしか足りない。而もウラルの成功は南部に移されてゐないのである。

セルブホフに於ける第二更紗工場とレニングラードに於けるウエーラ・スルツカヤ工場との間には十八ヶ月間砂濾機の設計圖面の送り届けに就て文書の往復が続いた。ところが工場は今日に至るまでまだその必要な設計圖面を受取つてゐない。レニングラード州及び中部ウオルシスキー區に於ける片岩産地を開發する筈のウイツムスラツツ・トラストはモスクワトリに對しセレジートの新生産を視察するためにその従業員を派遣させることを許さなかつた。その理由とするところは前者が全國の要求を自力によつて満足させ得るといふにある。私は最近この事實を知つたのだ。私は我が國に於て自分のやつてゐる企業を何か資本主義的企業であると思つてゐるやうなトラストに對し峻嚴なる手段を講じなければならぬと思ふ。我々は最新の技術を取入れんがために資本主義諸國の企業を研究に行く。ところがソヴェート・トラストは我々自身のソヴェート・トラストに對し自分が國內市場の利用を満し得るといふのでその企業訪問を拒絶してゐる。建築に於ける合理化は凡ての團體の多大な注意を要する。その事情は極めてよくない。そして基本建設の秩序化に於て重要な要因たる設計の方面に於ても、建築材料、建築様式の規格化の方面に於ても機械化の方面に於ても我々は未だ非常に低い水準にある、凡てこれ等の方面に於て合理化の問題はあらゆる團體の特殊な注意の對象でなければならぬ。社會主義的合理化は現に存在する餘力の開發に於て、原價の引下げに於て、生産物品質の改善に於て、又生産の發展に於て最も重要なテコである。全プロレタリア團體は廣汎なる労働者の層をこの事業

に引き込み且この合理化任務を相競争する打撃隊の前に提起しなければならぬ。而して始めて更に大なる發展テムボを獲得し得るのである。

### 現業員

諸君、産業發展の極めて重要な要因たる現業員に就て簡単に述べやう。我々が五箇年計畫の實現に當り採用したるテムボにより國家産業を發展させること、産業をより高き技術的基礎に移すこと、生産作業の新らしき方法及び形態を實施することは勞働力の新らしき現業員をつくり舊き現業員を再準備する任務を提起しつゝある。

全勞働階級の技術的及び一般文化的水準の昂揚が必要である。社會主義的建設の最も重要な第一次的諸問題のうちでこの問題は最も重要なそして決定的な問題の一つとなりつゝある。現在の状態では現業員は著しく全國民經濟及び、もちろん、産業の發展テムボにとり障害となつてゐる。多くの場合に於て、多くの部門に於て、多くの生産に於て發展を抑制する要素の役割を演じてゐるのは金ではなく、建築材料ではなくて、現業員である。準備され仕込まれた人間の状態である。

我々は人造纖維工業建設の道に於てモットモット大膽に進み得るであらう。そこには他の障害中我

々が生産行程を知らぬこと、工藝的過程を圓滑化し得ないこと及び相當工場を設計し得ないことが障害となつてゐる。漸く外國の技術的援助を引き入れることによつて我々はこれを爲しつゝあるのである。かくて多くの場合、我々は若し我が國によく準備された現業員があるならば、モットモット迅速に事業を前進せしめ得るのである。

勞働力から始めやう。

勞働力準備の方面に於て我々が今有するテムボは不充分である。時間の不足は私をしてこの問題を詳説することを許さない。それ故にもう一度私の報告に基き中央委員會の確認したテーゼに記入されてゐるところを指示しやう。そこに豫定された計畫は義務的のものであり、どうしても遂行されなければならぬ。

我々は今や促進されたるテムボを以て相當の資格ある勞働者を養成しなければならぬ。實際本年中に二十五萬人を引き込んだ、來年は更に三十五萬人を引き入れるであらう。然るに工場附屬學校に就學してゐるものは僅か十四萬人である。凡て爾餘の必要勞働力量は迅速にこれを資格化し、中央勞働研究所の支部に於て、短期講習場に於てこれを仕込み上げなければならぬ。勞働力養成の基本形態たる工場附屬學校はこれを大に發展させなければならぬ。來學年度に於ける生徒採用者數は十三萬五千人となつてゐる。然しこれでは不充分である。これでは今日の要求を滿すわけに行かない。生産のた

め、建設のため、建設力の短期養成形態はどうしても大發展を要する。技術技師的現業員養成の方面に於ける任務は絶大である。技術の要求は産業のみにて十七萬六千人に相當する。普通技術員の需用は二十五萬九千人である。全部でこの五ヶ年中に技術員四十三萬五千人を養成しなければならぬ。高等教育を受けた技術現業員は全部で約二萬四千人であり、下級教育を受けた現業員は二萬七千五百人、實地経験者は四萬八千五百人である。この上更に四十三萬五千人を養成しなければならぬ。

これがためには全國の力を出来るだけ緊張させ、全經濟機關、全プロレタリア社會を動員しなければならぬ。目下高等教育機關は迅速に増加しつつある。本年中に十一の高等工藝學校が開設された。

目下更に高等工藝學校二十の建築が始まつた。だがこんなことでは足りない、來年は更にこのテンポを速めなければならぬ。

我々の任務は單に新らしき専門家の養成のみではなくて、今働いてゐる人達をモットよく利用し且新らしく再資格化することである。殊に我々の弱點は科學研究作業の方面であつて、そこに働いてゐる専門學者は總數の二%より少い。その中で共産黨員は僅か八%である。この状態は斷乎たる變更を要する。技師技術の需用は、高級にあれ中級にあれ、今こゝでタワリシチ・オルジョニキーゼか精しく話したやうに、我が産業中にあつた疑獄事件に鑑み、尙ほ益鋭尖化しつつある。我々は、茲に於てどうしてもプロレタリア専門家の現業員を鍛へ上げなければならぬ、我が産業に害毒を與へた技師

達は知識多く、従つて彼等にその氣さへあれば、我が産業に貢献すること多大であつたであらう。

舊制度と關係を有し且舊制度の再來を夢想する多くの専門家がもはや我が産業に害毒を與へないといふ保證がどこにあるか？ たとへ害毒を與へないとするも、彼等は完全にはその技術的知識を發揮せずして、勢ひ産業の技術的改装を抑止するやうなことになるだらう。全くこれを防止する保證はないのである。併し何千何百の技師はプロレタリア國家と共に、労働階級と共に働きつゝ、その力を社會主義的建設に捧けてゐる。既に何千何百といふ技師が我が社會主義建設の大事業と共に成長して來た。

併しプロレタリア國家は自分自身の技術的現業員を鍛へ上げる時、初めて産業技術的改装の過程を労働階級の利益にシツカリ服従させ得るのである。それと同時に經營擔任者は必要なる技術的知識をもつて武装し所謂「一般的」な指導から具體的部分的な技術的指導に移らなければならぬ。正直に働いてゐる専門家はもちろんこれを最大限度に利用しなければならぬ。かゝる専門家のためには最も同僚的なそして好適な雰囲気を作つてやらなければならぬ。然しなから自分自身の現業員を養成せず、労働階級から赤い技師を得ることに斷乎たる努力を拂はずしては、我々は産業の労働が近き將來に於て社會主義の最後の建設を保證する道を進むための最後の保證は得られないであらう。

## 勞働大衆の積極性

我が産業のすばらしい發展テンポは産業に従事する勞働者數の増加を伴つた。それと同時に勞働者の物質的及び文化生活的位置も改善された。一九二六—二七年中勞働者の數は三十九萬四千人増加したが、本年は上半期だけで二十五萬人増加した。實收勞賃の水準は社會保險と共に戰前水準を六七%方超過してゐる。

若しこれ等の達成が七時間勞働制の實施（本年中に七時間勞働制に移るのは勞働者の四七%である）、五日勞働週間の實施、住宅建築への莫大な投資のもとに獲得されたといふ事情を考慮すれば、勞働者の物質的位置の組織的向上は何人にも明らかである。

住宅建築投資は、産業に就てのみでも、この三年間に殆んど三倍方増大して、三億四千百萬ルーブルに達した。産業の發展、五箇年計畫の過剩遂行、勞働者の物質的位置及び文化生活的施設の改善、自己批判の展開等は相共に勞働大衆の積極性活動性を非常に向上せしめた。

我々は、殆んど例外なき現象として、社會主義的競争の廣大なる波濤を見る。この社會主義的競争及打撃は製出高の著しき増大、原價の縮小及び勞働者の生産技術的活動性の増大を齎しつつある。技術の改善及び生産の組織に關する提唱が到るところに發展しつつある。勞働者の爲すこれらの提唱が

最大限度に生産行程を迅速化しつつある興味ある例は非常に多い。

競争と打撃の結果生産會議の仕事が盛んになつた。なるほどそこには未だ爲し足らぬものがある。それは無駄防止運動の發展と共に最近現はれた幾多の場合によつて明らかである。生産會議は未だ充分に勞働大衆の積極性を動員することが出来ない。例へばエレクトロシイラ工場に於て全一九二八—二九年度中九百三十の提唱があつて、無駄防止二週間が組織された時、この二週間に四千の新らしい提唱があつた。モスクワの電氣工業に於ては無駄防止九日間に二千五百の提唱があつた。

序でだが勞働者よりの經濟的に有益な提唱を實現することに就て面白からぬ場合がある。それに就て一言して置かう。私は生産會議の議長が支配人の助手を任命する場合に就て言つてゐるのである。この場合生産會議の提唱を實現する役は支配人達の權限になつてゐる。この方法は提唱實現上に著しき結果を與へた。もちろん、この組織形態はモット多くの企業に擴大しなければならぬ。

發明の點に於ても勞働者の積極性は著しく増大したが、遺憾ながらこの點に關しては面白くない事情がある。今日多數の出願と多數の發明が見られる。一九二八—二九年年及び一九二九—三〇年度中勞働者の特許出願數は十二倍に殖えた。それはモハヤ個々の旋盤に對する些々たる附屬品や何かでなく、既に大なる國民經濟的意義を有する發明である。

勞働者の發明に對してはモット多くの注意、モットモット多くの資金を分けなければならぬ。

## 結 論

今度は結論に移る。スバラしき産業發展の根本的原因は何であつたか、産業の發展を促す主要なものは何であつたか。このマツシグラなる前進に於ける最も主要な要因は社會主義的競争及打撃であるとチュウチヨせずには断言することが出来る。労働階級の政治的積極性が斯の如く増大せることによつてのみ、労働階級がその階級的利益と社會主義の建設と共働することを徹底的に意識したことによつてのみ、労働階級が産業の發展を前進させ最大限度のテムボを何て資本主義諸國に追ひ着き追ひ越さんが爲に全力を傾注することによつてのみ、我々はそれに相當する成功を博してゐるのである。

この労働者の政治的積極性、労働階級によつて發揮されたこの感激は我が社會主義的建設の領域に於ける黨の正しき政策の結果でもある。五年箇計畫の遂行に關する總決算をなすに當り、我々は産業五箇年計畫が四ヶ年に遂行されることを確信を以て言明することが出来る。このスローガンは今や各労働者の口より響いてゐる。そしてこれこそ勝利の最も重要な保障である!! 社會主義的建設の過程をしレーニン黨が指導してゐることも勝利の保證である。

黨中央委員會はこの報告期間に亘り各産業部門の發展に對し執拗な注意を傾倒して來た。多少でも重要な産業部門にして苟しくも中央委員會の關與しなかつたものは一つもない。中央委員會が中央統

制委員會及び勞農監督局の援助をかり、經濟機關の援助をかりて、補充的源泉を發見しなかつたやうな、そして社會主義的建設の行程促進に努力しなかつたやうな場合は一つもなかつた。

中央委員會の政治部に於て審議された諸問題を列擧して見やう。私は最も重要な問題のみを取るものである。

## 國民經濟發展の五箇年計畫。

紡織工業の状態とその展望。即ち中央委員會は原料基礎の吊上げ、ケンヂル及ラミの繁殖及び利用等に關する重大な決議を採擇した。

中央委員會の綿花研究委員會本部に關する決議によつて、五箇年計畫に記録されてあるよりも著しく大なる綿花採取計畫が作製された。

茲にタワーリシチ・オルジョニキーゼが言つた如く、一般トラスト計畫の増大に關する決議。

中央委員會は又レンマシトラストの活動、有色金屬業發展の展望、ユゴスターリの作業、トラクタ製造及び農業機械製造、木材輸出、軍事工業、一九二九—三〇年度第一四半年に於ける産業検査數字實行の行程に關する諸問題を審議した。

中央委員會はその外電氣技術工業の作業、黑色金屬業に對する支出の増大、南部原礦トラストの活動、産業企業の指導、ドネーブル産業コンビナートの建設、ウラルメトの作業、黑色金屬工場の改

建に關する問題を調査審議した。

くり返して言ふが、右は經濟建設の最も重要な諸問題のみを列擧したに過ぎない。中央委員會はボルシェヴィキ的にレーニン主義的に社會主義的建設の諸過程を、社會主義的産業改建の諸過程を頑強に指導して來たのである。

目下産業財政計畫のため、五箇年計畫を四年間にする努力競争が行はれてゐる。我々は既に勝利を博しつつある、そして恐らく量的任務の遂行に於ては完全に勝利を博するであらう。併し我々の前には尙大なる戦闘が控へてゐる、その戦闘は先づ建築の戦線にある。我々はどうしてもこの方面に於てボルシェヴィキ的精力を展開しなければならぬ。

我々の前には生産物品質改善戦線に於ける、原價引下げ闘争の戦線に於ける、戦闘が控へてゐる。産業計畫及び五箇年計畫を四年間に短縮することは自然流動によらず、大なる戦闘、大なる闘争の結果としてのみ遂行され得るのである。

何人がこの大闘争を指導してゐるか？ これを指導してゐるのはレーニン黨であり、中央委員會である。

勝利が保障されてゐるのは、この戦闘をレーニン黨が指導してゐるからである、勝利が保證されるのは戦闘に突進せる軍隊が我が光榮ある労働階級であるからである。』

### 3 第二年の達成集計

#### テンポ促進の年

ソヴェート同盟の五ヶ年計畫は一九二九—三〇經濟年度の終りである一九三〇年九月三十日を以て終了した。この時期は恰も資本主義世界恐慌と時間に於て一致した。資本主義の經濟恐慌が、ブルジョアジーの必死の努力にも拘らず、益々擴大され益々深化してゐるのに對して、ソヴェート同盟の國民經濟改建事業は五ヶ年計畫に於て眼覺しい發展を示した。

五ヶ年計畫指導の第一線に立つソヴェート共産黨は、計畫の二大眼目たる國民經濟工業化と、農業團體化の二戦線に於て大なる勝利を勝ち取つた。農業の社會主義的團體化運動には單に貧農群のみならず、ソヴェート農村の基礎的大衆たる中農群が潮のやうに参加した。黨は此處に於て、ソヴェート農村の搾取層たる「富農の搾取的傾向を制限」するといふスローガンから「階級としての富農を清算」するといふスローガンに轉じた。ソヴェート同盟の労働階級は、黨の指導下にこの資本主義の最後の根を抜き取るべく精力的な活動を開始した。一方社會主義大工業の建設は益々強められ高められた。

レーニンによつて國の社會主義化の基礎であると指摘された、そしてそれ故に最近前國家計畫委員會議長クリヂャノフスキーによつて、ゲンブラン（總計畫又は十五ヶ年計畫）編成の基調であると確言された國內電化網はこの一年間に著しく擴大された。

### 工業化運動の成功

スターリンは五ヶ年計畫第一年度の成果を決算報告しながら一九二九年の革命十二周年記念日に際して次の如く述べた。

「我々は數世紀に亘る「ロシア」的な時代的遅れを後方に残して、工業化運動の道に沿ひ社會主義への進出に對し一切の準備を有する。我々は金屬の國、自動車化せる國、トラクター化せる國を建設するであらう。尊敬すべき資本家は自らの「文明」を自慢してゐるが、彼等をして我々に追ひ着けるものなら追ひ着かして見やうではないか」

その後一年を経た革命十三年記念を迎へた一九三〇年の末、ソヴェート同盟の工業化は更にめざましい成果を獲得した。「五ヶ年計畫を四ヶ年間」にスローガンの下に黨及び労働階級の努力によつて、計畫は豫定の期間よりも確かに早く遂行され得ることが第二年の実績によつて證明されるに至つた。

五ヶ年計畫第二年度の一九二九—三〇年度に於て、ソヴェート工業の生産高は二一、五%の増産を示す豫定であつたが、最近最高國民經濟會議により發表されたその実績に於ては二四、二%の増産で、これは國家計畫委員會の所謂「最善豫定」によりも若干の超過を示すものである。

第二年度の成果は單に工業の領域に於てのみならず、農業經濟に於てはより高い成功を示すに至つた。即ち一九二九年の秋まきと一九三〇年の春まき植付反別は、前年度に比し七百八十萬ヘクター増の一億二千八百七十萬ヘクターを算し、これを計畫第二年度の豫定數字に比較する時は約一百五十萬ヘクターの増大である。更に一九三〇年度の穀粒生産高は現在八億八千萬ツェントナー（一ツェントナーは我が二十六貫五百六十匁）と見積られ、前年に比し二割二分の超過であつて、五ヶ年計畫の豫定せる増収率一一に比し二倍の好成績を示すものである。殊に農業生産の領域に於ては、社會主義建設五ヶ年計畫中心課題の一つたる農業社會化の領域に於て大いに成果を挙げた。即ち五ヶ年計畫ではその最終年度たる一九三二—三三年度に於て全國農耕面積の一三・四%に相當する一千八百九十萬ヘクターをコルホーズ（團體經營）及びソフホーズ（國家經營）によつて社會化する豫定であつたが、第二年度の実績に於て既に全國農耕地の三〇%に相當する四千二百萬ヘクターを社會主義的經營に移すやうになつた（この中國體經營の分け前は一千八百萬ヘクターである）

工業及び農業に於ける、右の成長はソヴェート同盟が單に五ヶ年計畫を遂行し得る能力あること

を證明するに止らず、實により短縮された期間に―四ヶ年間にこれを遂行し得ることを示すものである。

會て右翼幹部は五ヶ年計畫に對して逡巡孤疑の態度を示し、工業化のテンボを弱め且つ農業團體化運動を放棄せんとしたが、今やこの成功を前に自らの誤謬をバクロした。

殊に第一年度に増す第二年度の成功は五ヶ年計畫をボルシエヴィキの荒害無稽な妄想であると嘲笑した外國のブルジョア經濟學者をして心底からソヴェート・ロシアを憎惡畏怖せしむるに至つた。ブルジョアジーの憎惡は彼等が未曾有の經濟恐慌の渦中に在ることにより一層油を注がれた形である。

### 第二年度成果概況

第二年度に於ける社會主義的工業の増産率は前記の如く二四に達し、その内中石炭一七・六%、鑄鐵二四・%鋼鐵 七・六%、鉄鐵一割四・五%電氣機械器具の如き四三・二%に達した。かくて綿紡工業の特殊部門を除き、各重要工業は殆んど全部前年に比し増産を示したが、豫定計畫殊に最高國民經濟會議の最善豫定と較べれば全部が全部超過を示してゐるわけではない。然し生産手段の生産に屬する諸工業を包括する重工業即ちA群に於ては、消費物資の生産部門たる輕工業B群に比し増産率が著し

く高い。以下最高國民經濟會議の報告に依り第二年度の各種工業実績を挙げやう。

### 工業の 実績

#### A 重 工 業

(一)石炭―第二年度に於ける石炭業は三月及四月に超記録的増産を示したが、同年第三期及び第四期に於て相當連續せる期間に亘り採炭不振に陥つた。その主要炭坑別對前年比較左の如し。(單位千トン)

	一九二八―二九年度	一九二九―三〇年度	増 率
ドネツキ	三〇、七三二	三五、七八一	一六・四%
ボドモスクワ	一、二六一	一、六九八	三四・七%
ウラル	二、〇九六	二、三三五	一一・四%
シベリヤ	三、六八二	四、五五二	二三・六%
中央アシア	三五六	四四七	二五・五%
極東	一、四五四	一、七四〇	一九・六%
カフカズ	七七	九八	二六・五%



五箇年計畫の実績と展望

合 計 三九、六五八 四六、六五二 一七、六%

(二) 石炭業は石炭以上に好成績を示し、計畫第一年度の前年に對する増産率一・七%に對し、一二年度のそれは二・六%に増大してゐる。其の生産總高一千七百六萬六千トンを各主要經營トラスト即ち示せば左の如し。

	一九二八年度	一九三〇年度	計畫との比率
アズネフチ	八、六八三	一〇、二〇八	九四・四%
(バクネフチ)	四、五九三	六、五一七	一〇三・二%
グロズネフチ	二七一	三四七	一〇〇・八%
エムバネフチ	一三、五四七	一七、〇六六	九九・八%
合 計	三九、六五八	四六、六五二	一七、六%

新規油井掘鑿成績は前年度の四十三萬八千四百メートルに對し、本年は五十五萬一千一百メートルで、二五・七%の増加を示した。又一年間の原油精製高(揮發油、石油、機械油等に)は一千四百八十八萬トンに達し、前年度の一千八百八十萬トンに比し、三七・一%増しである。

(三) 電化——地方發電所による計畫第一年度の發電能力は二百三十一萬九千キロワット時に増大した。その近年に於ける發展動態左の如し。

年度	キロワット時
一九二六—二七年度	一、四〇五、二〇〇
一九二七—二八年度	一、八一三、八〇〇
一九二八—二九年度	二、三一九、〇〇〇
一九二九—三〇年度	三、三二〇、〇〇〇

各大都市、鑛山、工場等に於ける發電力増大については尙ほ報ぜられてゐないが、工業化と農業社會化が何れも動力としての電化を基礎としてゐるだけに、この方面に於ける發展は蓋し著しいものがある。

(四) 滿僱鑛——鋼鐵製鍊に絶對必要な原料として、アメリカはソヴェート同盟から年々巨額の滿僱鑛を輸入して居り、過般のアメリカ反動實業家に依る對ソ同盟輸入ボイコット運動にあつてもアメリカ政府はソ同滿盟僱鑛がアメリカ鑛鐵生産に絶對必要である旨發表してゐるが、一九三〇年に於けるその總生産高は二百二十六萬三千七百トンに達し、前年に比して三・七%の増産である。

(五) 銅——銅はソヴェート同盟の主要産物ではなかつたが、而も電線その他の用途によつて其の需用が逐年増大しつゝあるため、ソヴェート當局の積極的開發により一九二九年の七十七萬六千六百トンに對し、一九三〇年には九十萬トンの生産高を示した。

(六) 鑄鐵——工業化と國防力充實のために必要なる黑色金屬(鑄鐵、鋼鐵、鉄鐵等)の生産も著しく増加した。先づ鑄鐵の各産地方別内譯左の如し。(單位千トン)

地方別	一九二八—二九年度	一九二九—三〇年度
ウラル	八二三、八〇〇トン	九九四、〇〇〇トン
中部	三六三、〇〇〇	四〇〇、九〇〇
シベリア	一〇、九〇〇	一一、九〇〇
南部	二、八二一、〇〇〇	三、五七五、四〇〇
合計	四、〇一八、七〇〇	四、九八二、二〇〇

(七) 鋼鐵——(對前年度増産率一七・六%)

ウラル	一、〇七九、五〇〇	一、一八四、五〇〇
中部	八六七、四〇〇	一、〇九一、八〇〇
シベリア	八、六〇〇	九、二〇〇
南部	二、七五二、八〇〇	三、二五四、五〇〇
カフカズ	一一、七〇〇	一一、五〇〇

(八) 鉄鐵——(對前年度増産率一四・五%)

ウラル	九六九、四〇〇	九七九、四〇〇
中部	六三八、七〇〇	八〇四、一〇〇
シベリア	八、一〇〇	九、一〇〇
南部	二、二五五、一〇〇	二、六四〇、二〇〇
後カフカズ	七、〇〇〇	六、七〇〇
合計	三、八七八、二〇〇	四、四三九、五〇〇

(九) 機械工業——主要製造機關たる重工業機械總聯合(株式會社の形式をとる國家機關)の重工業機械年生産高は豫定計畫の一〇七%を示し、中部機械製造機關は計畫の九八%、蒸汽機關車及び車輛製造總聯合は計畫の九三、五五%、紡績機械製造總聯合は九二%の成績であつた。而も何れも前年度に對比するときは相當著しい増産率を示してゐる。主要品目中内燃機關の製造高は九千六百五十二臺で前年に比し八五・五%増、金屬製造用機械一萬二千六百六十二臺で前年に比し四六・八%増、自動車四千四百二十五臺で實に四一六、三%の激増であつた。併し各種工業機械は尙ほ外國よりの輸入に俟つ部分が極めて多い。

(十) 農業機械——農業機械製造高は五ヶ年計畫第二年度に三億一千一百万ルーブルに達し、前年度に比し五四%増し、戦前に比し四倍増を示すに至つた。現在アメリカの技術的援助に依りスタリン

グラードに年産十萬臺の大トラクター工場を建設中であるから、これによつて農業革命の技術的基礎が保障されるであらう。

(十一) 電氣機械——電氣機械器具製造工場は著しい増産計畫にも拘らず、文字通り一〇〇%の好成績を示し、前年度に比し七八%の増加であつた。ダイナモ、ケーブル線は殊に増産を示した。

(十二) 重要化學工業品——硫酸、苛性曹達は相當目覺しい増産振りを見せたが、全體として第二年度工業成績中最も不振の部類に屬する。

(十三) 建築材料——五ヶ年計畫第一年度に比しセメントは三三・二%、紅屋板四四、一%、挽材三八・六%、窓硝子七・八%の各生産増加である。

B 輕工業

(一) 纖維工業——五ヶ年計畫第二年度に於て綿糸布生産高は前年度に比し約一六・七%の生産減を示したが、これはソヴェート綿紡績業そのものゝ生産力減退を語るものでなくて、アメリカ綿花の輸入縮小に歸因するものであつた。従つて豫定計畫に對する比率は九八、二%でほと豫想に近い生産を示してゐる。現在日本の紡績業者は支那印度方面に於ける綿糸布市場の狹隘化をソヴェート新市場の獲得によつて補足するため視察團をソヴェート同盟に派遣してゐるが、これは彼等の無智を暴露するものであつて、ソヴェート同盟では綿糸布の自給自足をやつてゐるばかりでなく、寧ろ東洋諸國に

輸出してゐる状態であり、従つて綿糸布の關稅など到底輸入不可能な程高率である。第二年度の纖維工業實績を第一年度と比較して示せば左の如し。

	一九二八——二九年度	一九二九——三〇年度
綿織物	二、八二六、〇〇〇軒	二、三五三、〇〇〇軒
毛織物	一一五、〇〇〇軒	一二四、〇〇〇軒
麻織物	一八二、〇〇〇軒	二〇五、三〇〇軒

右表に示されたる如く、毛織物及び麻織物は何れも前年度に比し相當の増産を示して居り、就中前者の如きは豫定計畫に比してすら一・七%増の好成績であつた。

(二) 皮革工業——輝かしい成果を示したものの一つである。即ち大皮革製造業に於ては第一年度の生産一千五百七十六萬七千箇に對し二千九萬二千個を生産し、三〇%に近い増産で、小皮革工業にあつても履物の如き第一年の三千八百九十萬足に對し、六千二百八十萬足を製造した。即ち前者に於ては豫定計畫を超過すること五・五%、履物製造に於ても一・一%の超過が見られた。

(三) マッチ製造業——第一年の燐寸製造高六百九十萬箱に對し第二年は九百十萬箱に達し、その増率四六・七%、豫定計畫に對して〇・二%の超過が示された。

C 工業投資

五ヶ年計畫の建設事業は、その巨大なる増産の必要條件として巨大なる投資を豫想してゐるが第二年度に於ける工業投資の實績は三十七億三千萬ルーブルに達し、第一年度の十八億五千五百五十萬ルーブルに比し二倍以上の増加である。今工業二大部類別にこれを示せば次の如し(單位百萬ルーブル)

工業 A 群	八八四	一九二七、二八年度	二八、二九年度	三九、三〇年度
工業 B 群	三六五			
小計	一、二〇九			
電 化	二一五			
總計	一、四二四			

註 A 群は生産手段を生産する工業を包括し、B 群は消費手段を生産する工業を含む。

尙ほ第二年度の工業投資豫定總額は四十四億八千五百萬ルーブルであつたから、前記實際投資額はその八三%餘に相當してゐる。これは支出の衝に當る會計責任者が支出超過を避けるため極めて内輪に資金を支出して來た爲である。

D 勞働力の需要と勞働生産率

五ヶ年計畫によるソヴェート産業の急進的發展計畫は勞働力の需要を増大せしめ、百萬を越ゆる失

業者は漸減傾向を辿り、この點經濟恐慌渦中の資本主義國と截然たる對象を示してゐるが、一體國營大工業に幾何の勞働者が雇傭されてゐるかといふに、一九二九—三〇年度平均被傭勞働者總數は二百五十二萬八千二百人にして、これを前年のそれと比較する時は三十八萬四千五百人即ち一三・四%の増加で更に一九二九—三〇年度當初計畫に對比すれば四・七%の増加である。更にこの新増加勞働者を工業部類別に示せば左の如し。

一、工業 A 群	三二六、五〇〇人	一一二・二%
二、工業 B 群	五八、〇〇〇	一・九%

次に各工業種類別による勞働者平均數を前年度との比較に於て示せば左の如し。

種 類	一九二八—二九年度	一九二九—三〇年度	(+)
一、工業 A 群	一、二五九、七九一人	一、五三八、九〇〇人	六・九%
石 炭	二三一、五五一	二四七、五〇九	一〇・二%
石 油	三六、五六三	四〇、二九九	二四・一%
鐵 業	六二、一七五	七一、一三八	一四・五%
機 械	九一、一五一	一〇、四〇九	二六・一%
金 屬	五九、八八六	七四九、一三六	五六・一%

五箇年計畫の實績と展望

電 氣	三四、七〇五	五四、一六二	三一・一%
化 學	二九、〇四三	三八、〇八九	三五・二%
林 業	七四、八四三	一〇一、一六六	六・八%
製 紙	二八、六四六	三〇、五八二	六・八%
二、工業 B 群	九七、〇五七	九八九、一二九	一・九%
綿 業	四八一、二四一	四二七、六五七	一一・一%
絨 毛	六〇、〇七三	六一、九五〇	三・一%
亞 麻	八五、七六五	九四、二〇三	九・八%
被服及化粧品	七〇、一五〇	九四、七七九	三五・一%
皮 革	七六、〇一八	一〇六、一二六	三九・六%
總 計	二、二三〇、三六二	二、五二八、一九五	一三、四%

一五〇

即ち生産手段を生産する部門たる工業群に於ては各部門とも労働力の増加を示し、消費物資の生産を包括する工業群に於ては綿業を除き他は増加を示してゐる。尙ほ綿業部門労働者の減少は前記の如く綿花輸入の減少による操業短縮に歸因するものである。

次に一九二九—三〇年度十一月間の平均労働生産率實績は、一三二八—二九年度のそれに比し一一

乃至一三%方の増大を示したが、これは當初計畫による労働者一人平均労働生産率増加豫想二五%に比し約半の成績を示したもので、各工業部門別にその増進を示せば左の如くである。

- 一、ガラス工業 一七・六%
- 二、有色金屬業 二四・八%
- 三、冶金業 二二・五%
- 四、亞麻業 二一・〇%
- 五、黑色金屬業 一三・二%
- 六、製紙業 二二・九%

この外食料及び油脂工業に於ても労働生産率即ち能率の増進を示してゐるが、未だ確實なる數字は不明である。

四 農業の實績

五ヶ年計畫第二年度に於ける成績が第一年度のそれより目覺ましいことに就ては本項の冒頭に概要を擧げて示した通りである。それ故に茲には主要農産物たる穀類を始め煙草、甜菜等の謂ゆる技術的作物に就て現在有する材料により實際の成果を概算により擧ぐれば左の如くである。

五箇年計畫の實績と展望

第二年度收穫高

一五二

對前年度増

穀粒	八八〇、〇〇〇(千ツェントナリ)	二二%
綿花	八二五(千トン)	六〇%
甜菜	五、八〇〇(同)	一五〇%
煙草	三〇(同)	
亞麻	二二六(同)	
大麻	六六(同)	
ヒマワリ種	七八〇(同)	
マホルカ	七四(同)	

次に社會化せる農業の作付反別につき計畫と實績を列記すれば左の如くである。(單位千ヘクター)

計	畫	實	績
コルホーズ	一五、〇〇〇	三八、〇〇〇	
ソフホーズ	三、三〇〇	四、〇〇〇	
合計	一八、三〇〇	四二、〇〇〇	

右の内穀粒の増收は五ヶ年計畫による増收豫定一一%に比し正に二倍の好成績で、その内綿花は六

〇%甜菜は一五%の驚くべき増收を示してゐる。コルホーズ、ソフホーズの作付反別は右の表に示す如く最初の豫定計畫よりも著しき發展を示してゐる。最初の計畫は第二年度に於て全國耕地面積の一四%を社會化する筈であつたが、實際は三〇%を社會化することに成功したのである。五ヶ年計畫第二年度の實行成績は大略右の如くである。

## 4 第三年の展望

筆者が本書を書き了へんとする一九三〇年の十二月は五ヶ年計畫の第三年目即ち一九三〇—三一年度の第一四半期が正に終らんとする月であるから、當然に第三年目の展望に就て言及しなければならぬ。だが第三年目の豫定に就ては既に前記の諸章で可なり詳しく説述されてあるから、此處には簡單に最近のソヴェート紙に散見する所を引用する所に止めやう。左記は一九三〇年九月十一日のブラウダに掲げられた「五ヶ年計畫の第三年に就て」といふ論文である。

「黨中央委員會の五ヶ年計畫第三年目に準備せよといふ呼掛は、同盟の全黨、全労働階級をゆすぶつた。第一四半期の缺陷が発見されるや、本年度の計畫を完全に遂行するための闘争、來る一九三〇—三一年度に對する準備の闘争がほうはいとして高まりつゝある。近き過去の例に徴するに、今回も黨及労働階級が新たな困難との闘争に浮て勝利者となることは疑ひを存しない。

我々自身によつて暴露された缺陷を以て、我々の取れる社會主義的經濟改建のテンボが我々の力に相應なものであることの證左である、と評價し得るものは我が階級上の敵とその手先たる右翼日和主義の狼狽者のみである。

それ故にドイツ・ブルジョア新聞「フオツシシエ・ツァイツング」が中央委員會の呼掛に就て「五ヶ年計畫は破綻に瀕してゐる」といふ記事を以てその讀者を驚かしたとて我々は怪しまない。我が五ヶ年計畫は既にブルジョア新聞によつて幾度か葬られたことがある。だがそれは二年前であつた。この二一年間に於て我々は五ヶ年計畫の過剩遂行を有する。以前の五ヶ年計畫は既に遠く後方に置去られてしまつた。

今や五ヶ年計畫實現期限促進の闘争が行はれてゐる。何處に又何時我々が五ヶ年計畫最初の二年間に有したやうな素晴らしいテンボや巨大な建設を觀察することが出来たか。如何なる國がこのやうな短縮期間に、外國の公債もなく資本主義包圍の敵意ある環にかこまれながら、産業の「固定資本」を五四%も更新したり、廣汎なる戦線に亘つて資本主義的技術の最も強力な最も高級な見本に匹敵する大工場の建設を展開したり、多くの場合に於て、いち早くこの建設を終了したりすることが出来たか？今や既に我々は基本建設の方面に於て僅か二年間に五ヶ年計畫の豫定を一五%方過剩遂行してゐる。既に今や我が社會主義的工業の基礎たる重工業は七%以上の過剩遂行を示してゐる。

「ベルリナー・ターゲラット」は「五ヶ年計畫を脅かす危険」と題する八月十日附論文に於て「農業の團體化は結局何を與へるか、今のところ未だ豫見することが出来ない」と書いてゐる。

我々は名譽ある新聞の血迷へる質問に對して次の如く答へることが出来る。穀粒生産高は二二%

余、綿花生産高は五二%、甜菜の生産高は一五三%増大したと。而して穀粒生産高に於ける社會主義的扇形即ちソリフホーズ及コルホーズの分前は、三四%に相當し、その技術的作物に於ける分前は三八%を超えてゐると。

勞働階級の積極性によつて達成され固められる成功によつて、次年度に於てはより促進されたる發展テンポの可能が決定されてゐる。

右の成功は輕工業の發展を増進する可能を決定してゐる。その生産増大は本年度の水準と比較し四〇%以上即ち二十億ルーブル以上の豫定である。この増大が食料難の清算、商品饑飢の緩和、従つて勞働階級の位置改善を著しく助成することは言ふまでもない。我々はこの輕工業の發展を重工業のより迅速な發展とソフホーズ・コルホーズ建設に基く工業原料基礎の迅速なる發展をもつて保障しつゝある。我々はこの達成されたる成功に據り洋々たる發展の前途を有する。五ヶ年計畫を四ヶ年間に首尾よく達成するための凡ての可能は我國に現在する。この事に眼を塞いだり、これを見なかつたり、これを理解し得なかつたりするものは社會主義の建設を信ぜざる右翼及び「左翼」日和見主義のみである、隠然公然たるソヴェート政府の敵のみである。

我が社會主義的建設の輝しき成功は、凡ての缺陷にも拘らず、今世界資本主義が當面してゐる状態と比較すれば殊に明らかである。世界恐慌は益々發展し、益多くの國を把握しつゝある。失業は冬季の到來と關聯して益増大せんとして居る。これを我が國に於ける失業者の絶滅といふ事實と比較せよ。この事實は世界資本主義の尖鋭化し深刻化する恐慌と並べたら我が國民經濟の巨大なる昂揚を具體的に立證するものである。

ブルジョア新聞は中央委員會の呼掛を機として五ヶ年計畫の失敗につき甘い夢想を走らせてゐるかも知れない。これ等の諸君は中央委員會の機が我々の成功を更に増大せんことを期してなされたものであることを理解し得ないのである。これ等の諸君は、我々が我國に現存する幾多の欠陥に就て言明してゐるのは、更に大なる達成を獲得せんがためであることを理解しないのである。我々は十ヶ月間に工業生産を二七%増大することに満足してはゐない。我々にはこの二七%では足りないのである。我々は検査數字の完全なる遂行を獲得したのである。蓋しより大なるテンポの促進、我が國社會主義經濟土臺のより速かなる竣工は一にこの遂行に懸つてゐるからである。

重工業發展のテンポは我々をして穀粒問題を根本的に解決せしめ、原料基礎の發展に於て著しき前進を爲さしめ國際ブルジョアの我々に齎らせる困難にも拘らず、我が輸入能力に制限を加へんとする困難にも拘らず、ドシ／＼と輕工業を増進せしめた。

然し我々はまだ我が經濟制度のあらゆる優越性を充分に利用し得ない。それ故に資本主義的包圍によつて生ずる諸困難や敵對階級の抵抗や我が國の遅れたることやと並んで、我々が經濟状態の積極的



變化に適應し得ないことから、屢々、目下失業者の絶滅と關聯して起つてゐるやうな困難が発生する。

ボルシエウイキの自己批判は最も完全なる我が優越性の利用を獲得せんことを目的とするものである。この自己批判は我々の弱點に對し黨及び労働階級の注意を鋭くさせる。この自己批判は、右の弱點を迅速に且容易に清算するため、容赦なく我々の缺陷を暴露する。我々が我々の欠點について聲高く語るのは、この欠點を除外し、この欠點に大衆の注意を動員せんがためである。蓋しソ同盟に於ける労働大衆は經濟建設の最も積極的な擔當者であるからである。我々の困難は迅速に發育する若き社會主義經濟の成長の疾患である。大衆の創造的積極性はこれを克服するための最も正しい手段である。社會主義的工業の發展、我が經濟に於ける指導原理としての右工業の意義及び労働階級の政治的成長は我々が資本主義の殘存物によつて我が國に作られざる困難を克服し了せるであらうことを是認すべき根據を與へてゐる。私々の困難を世界資本主義の前に立つてゐる困難と比較し得るか。そこには全經濟體系の深刻な一般的危機が現存する。その危機は必然にこの體系の破産を齎すものである。資本主義の安定はひとたまりもなく崩壊し始めた。

然るにソ同盟は成長し安定しつゝある。我々の敵が我々自身の暴露し清算しつゝあるところの失敗に就て何と呼ぼうとも、ソ同盟のプロレタリアはビクともせず、依然として我々のあらゆる欠點と

弱點を暴露し、益々大なる精力をもつて工業化テンポ増進のため、そしてさし當り——五ヶ年計畫第一二年中の陥欠を清算しボルシエウイキの精力と決斷性をもつて第三年の實現に着手するといふ任務のために闘ふであらう。』

## 5 一九三二年度の決定計畫

一九三〇年十二月二十一日のソ同盟共産黨中央委員會總會は新國家計畫委員會議長クイブイシエフより産業發展五ヶ年計畫最初二ヶ年間の実績に關する報告を聴取し、次いで第三年即ち一九三一年度（從來ソ同盟の會計年度は十月より九月までの一年間であつたが、一九三一年度から一月より十二月までの一年間に改正した）に於ける經濟發展計畫を概説した報告に基き、一九三一年度國民經濟計畫に關する決議案を採擇した、その内容は左の如くである。

## 工業關係

一九二九—三〇年度における國營工業總生産高の増加は二五%に上つた。一九三二年度は一九三〇年に比し更に四五%増加の豫定であるが、これは五ヶ年計畫の全部に關し工業の領域に於ける生産豫定高の七九%特に重工業の豫定高九八%を實行する事を意味するものである。一九三一年に於ける日用商品の一般的消費資金は一九三〇年の百十五億ルーブルに對し百四十六億ルーブルとするが、これは農業生産物の増加と相待つて前年に比し小賣の賣上高を三〇%増加する事となる。工業並に電化事業に投下される資本は七十四億七千萬ルーブルの豫定である。作業中の發電所の總動力は四百五十萬

キロワットに増大され、これによる電量の生産高は一九三〇年の八十八億キロワット時に比し百二十七億キロワット時に激増する筈である。労働者の被備率は一〇%を増加し、労働の生産率は二八%を増す筈であるが、生産費は一〇%低下の見込である。一九三一年に於ける被備者數は一九三〇年の千四百萬に比し千六百萬と豫定されて居り、工業労働者並びに鐵道従業員の勞賃の引上げは夫々六%及び八%の豫定である。一九三一年の勞賃資金は一九三〇年の百二十五億ルーブルに比し百五十三億ルーブルと定められた、また一九三一年の社會保險額は一九三〇年の十六億ルーブルに比し二十一億三千八百萬ルーブルである。労働者のための福祉資金は前年の一億二千五百萬ルーブルに對し二億五千萬ルーブルである。一九三一年末には凡ての鐵道従業員及び少くとも工業労働者の九二%は一日七時間労働制で雇傭される事になるであらう。而して機械労働者の外は全部五日一週制の下に働く事とならう。社會主義化された凡ての國民經濟部門にわたつて投下される住宅資金は一九三〇年の五億八千二百萬ルーブルに比し十一億一千萬ルーブルと豫定されてゐる、また教育、衛生社會、保險に對する支出承認額は六十五億ルーブルと決定されたが、一九三〇年度は五十億ルーブルであつた。

## 農業關係

ウクライナ、北部コーカサス、南中部ヴォルガ地方に於ては少くとも農家の八〇%をコルホーズに

参加せしめる豫定で、これは本質的にはこの地方に於ける完全なるコルホーズ化と富農階級の清算を意味するものである。その他の穀物地方に對しては五〇%のコルホーズ化が豫定され、また消費地方に對しては二五%の豫定が立てられてゐる。一九三〇年十二月一日には農業の各方面においてコルホーズに加はつた農民全部の家族数は六百萬或は二四%の増加を見たが、基礎的穀物地方における割合は四九%となつてゐる。全開墾面積は一億四千萬ヘクターに増加されるが、内七千五百萬ヘクターは社會主義化せる地方で、これは一九三〇年には四千八百萬ヘクターに過ぎなかつた。

### 運輸關係

鐵道貨物は五ヶ年計畫最後の年には現在の二億八千百萬トンに比し三億三千萬トンとなる見込である。運輸事業に對する資本投下は三十一億八千五百萬ルーブルの豫定である。民間飛行事業に對しては一億三千五百萬ルーブル、郵便電信に對しては三億六千萬ルーブルが投資される。

### 財政關係

國民經濟の社會主義化せる部門に對する投資は一九三〇年の百億ルーブルに對し百七十億ルーブルである。一九三一年の國家豫算は歳入二百十二億ルーブル、歳出百九十七億ルーブルである。而して

國家豫算金融組織並に産業諸組織資金の凡てを含んで組織される單一財政計畫の觀點よりすれば、一九三一年の總歳入は三百十一億ルーブル、總歳出は二百九十六億ルーブルで差引剩餘金として實に十五億ルーブルを残す事になつて居る。

### 結論

一九三一年は謂ゆる「五ヶ年計畫を四ヶ年間に」のスローガンを實現すべき決定的年度である。ソヴェート同盟の社會主義化されたる部分は今や國民經濟の決定的支配要素の役割を確保して、全國は社會主義時代に入つた。コルホーズ方面に於ける諸計畫の實現は社會主義的要素が農村に於ける資本主義的要素を壓倒しソ同盟の勞働階級勤勞農民大衆をソ同盟の完全なる社會主義經濟の根柢として強化すべきものである。

## 6 五ヶ年計畫とネツプ

### ネツプ後の復興過程

社會主義の建設が進行してゐる今日、各稱やして「改建期」が社會主義の建設を意味する今日、缺本主義經營の存在を許容したネツプ（資新經濟政策）はどうなつてゐるか。これは極めて興味ある問題であるから、左に少しくこの問題を研究しやう。

一九二一年のネツプは、周知の如く、社會主義的生産及び分配の陣地から賣買及び金融の國家的規制なる陣地への退却であつた。併しこの退却は、水鳥の羽音に驚いた平家軍のやうに散を亂した退却ではなくて、割合に整然たるものであつた。それがためにポリシエウイキは全軍の戰鬥力を破壊されずに済んだのである。

一九二二年の後四半期に於て新しき經營の形態と方法は實踐に於て試練された。ネツプは、右の如く、退却ではあつたが、それには全國の生産諸力を引上げるといふ重要な任務が含まれてゐた。ネツプの實踐は、その施行された年の末、この重大な任務に解決を與へることが明瞭となつた。食糧や商

業の自由や産業に於ける經濟計畫は全經濟に好い影響を與へ始めた。

成る程、一九二二—二三年の全經濟年度は未曾有の凶作裡に経過したが、既に凶作を蒙らなかつたヨーロッパ・ロシアの消費地方及び生産地方に於ては一九二二年になると植付反別が一〇乃至一三%方増大し、最も酷い凶作地方に於ては三〇乃至三五%方植付反別が縮小した。外國から穀物を輸入して都市並に農村に於ける饑饉の鋭い發現を緩和した。食糧税は、その重い負擔にも拘らず、農民を安心させ、大いに農業の擴大を鼓舞することが出来た。

經濟計畫及び新産業組織は既に一九二二年十一月・十二月からその結果を現し始めた。石炭及び無煙炭の採掘高は次の如くに見直し始めた。

一九二〇—二二經濟年度(單位百萬ブード)	
上 半 期	二七八
下 半 期	一八七
一九二二—二二經濟年度	
上 半 期	三六六
下 半 期	二二六

殊に石炭採掘高は一九二一年の夏は殆ど破局に瀕したが、十・十一月になると約二倍以上に飛躍増大した。

鉄鐵の生産も登り始めた。

一九二〇——二一經濟年度(單位百萬ブード)	
上 半 期	四・七
下 半 期	二・三
一九二一——二二經濟年度	
上 半 期	五・四
下 半 期	五・〇

輕工業に於てはもつと成績が好かつた。

綿絲の生産は次の如く發展した。

一九二〇——二二經濟年度(單位千ブード)	
上 半 期	八三六

一九二一——二二經濟年度	
下 半 期	一一三七
上 半 期	一、四三八
下 半 期	一、五六七

このやうに國の物質資源を増大するに當つて企業を賃借した資本家及び小産業家の参加に待つた事は争はれぬことで、此處にネツプのネツプたる以所があつた。一九二一——二二經濟年度に於て石炭三千萬ブード乃至三千五百萬ブードの増産を見たが、これはドンバスの小賃借産業家の與へたものである。

レーニンは一九二二年の初めに「我々は今や我々の經濟的退却を停止することが出来る。これで充分だ。もはや我々は後へ行かずに、正しく諸勢力を輾開し編成することに着手するであらう」と聲明した。レーニンは斷乎として退却の中止を宣言したのである。だが退却の中止は決して新しき經濟の土臺が既に創設されたことを意味するものではなかつた。否、非常な困難が前に控へてゐた。當時の大問題であつた農民との結合は漸くその課題が提起された許りであつた。併し、ネツプが實施されて漸く一年、ボリシエウイキは、レーニンの言つたやうに「自己の力と資本家の力を看貫した」ので

ある。そして幾多の偵察を試みた後、國內の資本家にどんな讓歩をなすかといふ意味に於て退却を終熄したわけである。それから斯かる意味の退却後にソウエート政府とボリシエウイキの取るべき主要な任務は「農民大衆と勞働する平の農民と結合し、我々が夢想したよりも遙かに、無際限にのろく、併しその代り、眞に全大衆が我々と共に働くやう、前進を開始する。然る時は今我々が夢想し得ぬやうな前進の迅速化が到來するであらう」(レーニン)といふことであつた。即ち農民經濟に立脚する建設のテンポを農業の再生のテンポと合致させる。これが退却を終熄した後の重大な任務であつたのである。この両者が合致しなかつたからこそ一九二〇年末と一九二一年初めの經濟的及び政治的危機はあのやうに鋭い性質を帯びたのである。だからこの問題はネツプの最も基礎的な政治的教訓であつたのである。

基礎的・決定的任務として農民大衆と結合する必要、それがためには曾て「夢想したよりも遙かに、無際限にのろく」前進しなければならぬといふ事にレーニンがその後には曾て「夢想したよりも遙かに、

「誰が誰を？」

その當時、ボリシエウイキ黨も大小のソヅエートも如何に産業を經營し如何に商業を組織すべきかを十分に習得してゐなかつた。彼等は資本家との競争、普通の番頭や商人との競争に打克つ程に成長

してゐなかつた。所がネツプの實施によつてこの競争が當面の緊喫事となつたのである。全建設の歸結はこの競争によつて決定されるものとなつた。この競争に於て「誰が誰を」を駆け抜けるか、最も肝腎な問題となつた。然り、「誰が誰を？」レーニンが提起したこのテーゼはその後の長い實踐に於て幾度となく、殆ど常に、想起され検査され、測定された問題であつて、一九三〇年夏の會議に於てもボリシエウイキ黨の指導部が決して置き忘れなかつた標準尺である。さればこの有名なテーゼに未だ遭遇しなかつた讀者のために、その出所を明かにし、その概要を抽出してこのテーゼか如何に重い意義を有するかを示すことゝしやう。

これはレーニンが一九二一年十月十七日第二回政治啓蒙者會議に於て述べたネツプに關する演說中に提起したテーゼであるが、レーニンはそこで次の如くネツプを説明し、右の問題を聽衆の腦裡に打込んでゐる。

「……新經濟政策は租税を以て徴收に換へることを意味し、著しき度合に於て資本主義の復興へ移ることを意味する。如何なる度合に於てか——これは我々に解らない。外國資本家との利權契約、——今の處その極く僅かしか締結されない、殊に我々が爲した申込と比較すると少ないが——個人資本家の貸貸借、——これは資本主義の直接な復興である、そしてこれは新經濟政策の諸根柢と相結ばれてゐる。蓋し徴收の廢止は農民に取つて租税として取られない農業過剩物の自由賣買を意味し、租税は

生産物の極く僅かな分け前を取るのみである。農民は全人口及び全經濟の老大な部分を構成してゐる。だからこの自由賣買の地盤上には資本主義が成長せざるを得ない。

そこで根本問題は、戰略の觀點から、誰がはやくこの新狀勢を利用するかにある。全問題は農民が誰に跟いで進むか——社會主義社會を建設せんとするプロレタリアートに跟いでか、それとも「後へ引返さう、その方が安全だ。それなのに社會主義なんでものを考按するなんて」と言つてゐる資本家に跟いで進むかにある。

今の戰爭は悉く誰が勝利するか、——我々は今資本家を一つの扉に或は幾つかの扉に又自身の知らないそして、我々を餘所に我々に反して、閉閉される多くの扉に入れつゝあるが、その資本家が勝利するか、それともプロレタリア國家權力が勝利するかに要約される。然らばこの權力は經濟的に何に立脚してゐるか。一方に於て、住民の位置の善化に立脚してゐる。この關係に於ては農民のことを想起しなければならぬ。饑饉といふが如き莫大な災厄にも拘らず、住民の位置の善化は、論ずるまでもなく、この災厄を差引けば、我が經濟政策の變更と關聯して到來したのである。

他方に於て、若し資本主義が勝てば、工業生産も成長する、そしてそれと共にプロレタリアートも成長する。我々の政策によつて資本家が勝つとすれば、我が國に於て戰爭と絶望的な破滅と混亂によつて非階級化した、即ち階級的軌道から叩き出され、プロレタリアートとして存在することを止めた

工業プロレタリアートを創設するであらう。プロレタリアートとは巨大資本主義工業の諸企業に於て物質的價値の生産に従事してゐる階級を呼ぶのである。巨大資本主義工業が破壊されたとき、製造所及び工場が停止したとき、プロレタリアートは消滅した。プロレタリアートは時として形式的に計算された。だがそれは經濟的根柢と關聯したものではなかつた。

若し資本主義が復興すれば、従つて、プロレタリアートも復興して、社會のために有用なる物質的價値の生産に従事し、巨大機械工場に於て投機や販賣の點火器やの製作には従事しないで、甚だ有用とは言へないが、混亂せる我が工業の狀態に於て極く避け難い他の「仕事」に従事するであらう。

全問題は——誰が誰を駆け抜けるかである。資本家が先に自ら組織すれば——彼等はコンムニストを追ひ退けるだらう。さうなればもはや何等の話もない。誰が誰を？この事を眞面目に考へなければならぬ。それともプロレタリア國家權力は、農民に立脚し、國家的河床に沿つて資本主義を方位づけ、國家に服従し國家に奉仕する所の資本主義を創るために、資本家諸君を所要の手綱で抑へることが出来るか？眞面目にこの問題を提起しなければならぬ。……」

誰が誰を？レーニンはこのやうに切迫した形態に於て國內に於ける資本家との競争を提唱したのである。

それから殆ど一年後、彼は經濟の領域、殊に商業の領域に於ける諸結果を評價して、既に著しい達

成のあることを確認した。彼は、第一に、ソヴェート・ループルの安定に言及して、「この問題に對しては我々の優秀な人々が働いてゐる。この任務に我々は決定的經濟的意義を認めるものである。長き期間に亘つて、そして後には永久にこのループルを安定することが出来れば、我々は即ち勝つたのである」と言つた。

農民大衆と結合する任務は社會主義的建設に向つて非常にのろい、併し、確實な前進の方法であつた。この任務を遂行するには國家の側から莫大な節約を要求した。この節約を實行しなければ大工業を新しい技術を基礎として復興することは出来なかつたのである。

節約の必要は、民衆の間に於ける消費の節約ではなくて、國家機關の低廉化にあつた。舊き官僚主義の殘滓が無際限に残つてゐる國家機關の費用を最小限度に削減することが最大の急務であつた。この機關を縮小し、簡單化し、改善するために中央統制委員會に指導される労働者農民監督局を改組織して、絶対に必要でない悉くものを國家の機關から削減して大改革を斷行した。

斯くてレーニンは一九二二年の初め經濟戰線に於ける退却の終熄を宣言した後、凡てに於て節約を行ひ、一切の冗費を削除けつゝ、除々に社會主義の勝利を保障するため、農民大衆との結合をソヴェート經濟の根本任務として指摘した。

その後、生産諸力は次第に成長して、農業に於ても工業に於ても戰前の水準に達することがさして

遠い理想ではなくなつた。

工業は一九二二年の大凶作によつて蒙つた打撃から迅速に回復して、ソ盟同國境内の植付反別は（極東、トルキスタン、後カフカズを除き）一九一六年に於て八千六百五十萬デシヤチンを構成したものが、一九二二年に於ては五千八百五十萬デシヤチンに相當し、一九二三年に於ては六千九百九十萬デシヤチン増大した。一九二四年にポウオロジエと南東部を襲つた部分的凶作は農村人口の七%と植付反別の一〇%を把握して、農業復興のテンボを幾らか緩漫化した。だが市場作物及び工業作物は依然迅速な成長を示し、甜菜は四〇%方、亞麻及び大麻は一五乃至一〇%方、綿花一〇〇%方増大した。牧畜經濟も復興して、一九一六年に於て三千百三十萬頭を構成した馬の數は一九二二年に於て二十萬頭、一九二二年に於て二千頭に低下したが、一九二四年には二百萬頭まで高上した。大有角家畜は一九一六年に於て五千二十萬頭を構成したが、一九二二年に於ては三千五百萬頭に低下し、一九二三年に於ては三千八百六十萬頭に、一九二四年に於ては六千百三十萬頭に増大した。羊や豚の數も同様の減増を示した。

斯くの如く、ネツプ後に於て農業は膨脹の過程を取り始めたのである。

工業は、重工業も輕工業も、截然たる上向線を與へた。紡績工業に於て綿布の製造高は一九二二—二三年に於ける三億二百萬メートル一九二二—二三年に於ける五億八千百萬メートルに、一九二二—



二四年に於ける八億メートルを増大した。一九二四—二五年度の生産計畫は十三億メートルを構成して、戦前生産の約五〇%を製造した。

鉄鋼の生産は一九二一—二二年に於ける一千四十萬ブードから一九二二—二三年に於ける一千八百三十萬ブードに、一九二三—二四年に於ける四千二百萬ブード、一九二四—二五年に於ける六千萬ブードに向上した。銅鐵は一九二一—二二年に於ける一千九百四十萬ブードから一九二二—二三年に於ける三千五百九十萬ブードに、一九二三—二四年に於ける六千二十萬ブードに、一九二四—二五年に於ける八千六百六十萬ブードに増大した。

一九二二年の末、レーニンは金屬工業に於ける成績が思はしくないことを指摘して、「獨立國」としてのソ同盟の存立はこの成績の如何と關聯すると警告した。だが一九二四—二五年に於てはその成績が著しく發展したので、ソ同盟は「獨立國」として立ち得るやうになつたのである。レーニンの警告に基いて、重工業の發展には輕工業に於て節約した費用をも移注したので、その當時に於ける工業發展の特性は金屬工業の成長が紡織工業の成長をそのテンポに於て遙かに凌駕したことである。

尙ほ工業のパンと稱せられる燃料も充分に生産されるやうになつた。一九二一—二二年に於ける石炭の採掘高は五億八千九百萬ブードを構成したに過ぎなかつたが、一九二二—二三年に於ては六億六千萬ブードに、一九二三—二四年に於ては八億五千九百萬ブードに増大した。燃料恐慌が全國民經濟

の脉搏を抑制し全工業を物凄く疾走してゐた時期は遠い後に残されたのである。

最高國民經濟會議の算定に依ると、巨大國家工業の總生産高は一九二二—二三年に於ける十一億四千九百四十萬戦前ルーブルから一九二三—二四年に於て十四億六千九百二十萬戦前ルーブルに増大した。

その當時、ソ同盟の經濟に於て最も重大な事は農業と工業の復興に於ける不釣合であつた。この不釣合は農業物價と工業物價の喰ひ違ひがその頂點に達した一九二三年秋の有名な「鉄」に基くものであつた。「鉄」の開きは一九二三年十月一日現在に於て實に三二・〇%を構成したものである。農業と工業の復興に於ける不釣合は、不比率性はより複雑な生體としての工業が帝國主義戦争及び市民戦争から遙かに大きな程度に於て被害したのに反し、農業に於ては基礎資本が工業に於けるが如き役割を演じてゐないから、農業の方が遙かに速く遙かに容易く戦争の瘡痕から回復することが出来たといふことに原因があつた。それ故に工業物價は農業物價と並行することが出来ず、前者が著しく騰貴の曲線を取り後者が下落の曲線を取つて、右の如き「鉄」を呈したのである。

但し一九二三年の秋を極點として工業は、全く國內の力に立脚する許りで外國からの援助を期待することが出来なかつたにも拘らず、漸く清新な力を集めて農業に追ひ着き始めたのである。

農業の復興と工業の健康化を基礎としてソ同盟の商品循環も商業も成長して來た。モスクワ商品取

引所の循環は一九二二—三年度に於ける九億七千百萬ルーブルから一九二三—四年度に於ける十五億五千五百萬ルーブルに即ち五五%方増大した。ツェントロソユーズの循環は同期間に一億ルーブルから一億五千五百萬ルーブルに即ち五五%方増大した。對外貿易總額も一九二二—三年度の第三四半期に於ける一億九千四百萬ルーブルから一九二三—四年度の同期間に於ける三億八千百萬ルーブル即ち九六%方増大した。そして商品循環に使用された貨幣總額は一九二三年十月一日現在の二億六千四百十萬ルーブルから一九二四年十月一日現在の六億二千八百八十萬ルーブルに即ち一三八%方増大した。

經濟の成長は一九二四年の初めに至つて多大の意義を有する幣制改革を實施させた。この施設はソ同盟の經濟をガッチリした基礎に於て行ふ可能を與へたものである。確固たる幣制の實施は全國民經濟の建設に拍車を加へた。新しきチエルウオネツツ貨幣は工業と農業のために確固たる測定の單位を與へ、安定した流通手段を與へて、商業を健康化し、商品循環の發展を促進して、都市と農村の間に堅固な橋を架けるやうになつた。一九二四年の末、中央執行委員會の歳入不足を補填するために紙幣の國庫發行を完全に停止するといふ決定によつて、幣制改革は完成された。斯くして、貨幣流通を破壊してゐた根本原因は取除かれ、十年以上に亘つて解體してゐた全國民經濟は漸く息を吹返したのである。

全體に於ける農業、工業、商業の回復と成長、確固たる幣制の實施は大いに都市と農村の結合を擴大し鞏固化して、恐るべき狀勢を馴致した「缺」は次第にその尖鋭さを失ひ、その開きは一九二三年十月一日現在の三、二〇から一九二四年一月一日現在二、〇三、同四月一日現在の二、三〇、同七月一日現在の二、三〇、同八月一日現在の二、二〇といふ工合に狭まつて來た。そして一九二三—二四年の後半は工業製品に對する農村の需要が低下し且つ健康化した。都市と農村の二流通圏は益々相互間に結合するやうになつた。

以上に擧げた資料と數字は、誰が誰を駈け抜けるか、商業の自由の諸條件に於て小經營から成長する個人資本か、それとも國家資本かといふ問題に就て一定の豫斷をなす可能を與へるであらう。兩者の内で孰れが早く農民大衆と結合して、これを經濟的に、從つて、政治的に指導するであらうか。闘争は實に酣であつた。だが凡ての機會は國家巨大工業の陣營にあつたのである。國家資本は、ネツプ後の一二年間に亘る諸成果に立脚しつゝ、商業の方面に於ても攻勢に移り、次第に卸商業を攻め取つて、個人資本を驅逐した。ソヴェート國家は段々うまく凡ての經濟的過程を規制し、それをソヴェート經濟の方へ向け換へることを學び始めた。小經營及び個人資本主義過程の自然性盲目性を規制する事に於て國家は段々と好成績を擧げるやうになつた。

一九二四年の五月に開かれた第十三回黨會議は新經濟政策の諸條件に於て生産諸力の昂揚といふ任

務を立派に解決し得ることを確認した。ネツプの範圍内に於て「新商業政策」や「新消費組合政策」を決定した。この兩政策は國民經濟に於ける社會主義要素の強大化即ち國家商業及び消費組合の強大化、兩者の結合・全體に於ける國家經濟の鞏固化に向けられたものであつた。

斯くてソヴェート國家及び經濟は一定の安定、一定の均衡に到達した。だがこの安定と均衡は尙ほ低い文化的・物質的基礎の上に立つてゐたのである。漸く新經濟政策の土臺が置かれたに過ぎなかつたのである。社會主義的建設の途が設定され、試験されたに過ぎなかつた。

そこで新たな根本の問題は勞働の生産率を引上げ、全經濟の下に社會主義的技術の新しい基礎を設けることであつた。

ネツプの結果が漸く現れた一九二四年にレーニンは死んだが、それと同時に新しい途が始まつた。それから全勞働者の智力と體力が動員され、あらゆる資源の利用が強調され、遂に一九二七年には、革命の十周年を期としてソ同盟の國民經濟は戦前の水準を取返した。

#### 復興期から改建期へ

ネツプの實施から戦前の水準を取返すまで——これが復興期である。この水準を取返した一九一七年を分水界として、ソ同盟は改建期に踏込んだのである。この改建期はソ同盟の經濟を過去と結びつ

ける一切の線を断ち切つて、社會主義の建設に着手した時期である。これに着手すると共に都市及び農村に於ける資本主義分子に對する攻勢は緩和され、曾てネツプが許容した小ブルジョアジーの經濟に對しネツプマンに對して經濟上・イデオロギー上の闘争が擴大されたのである。

スターリンは一九三〇年「我々が既に社會主義の時期に踏込んだことは明白である。蓋し、社會主義的社會の建設及び階級的區別の撤廢までは尙ほ遠しと言へ、今や社會主義的扇形は全國民經濟の全經濟的槓杆を掌握してゐるからである」と言つた。

#### ネツプの運命

社會主義の建設、資本主義分子に對する攻勢、「既に社會主義の時期に踏込んだ」——これが改建期の形貌であるが、併し未だソ同盟に於てかのネツプを撤廢したといふことを聞かない。ネツプは今日に至るまでに、多少の變更に曝されたが、未だ公式にも非公式にもその撤廢を聲明されたことはない。

然らば復興期の初めに實施されたこのネツプは、レーニンの斷行したこのネツプは、今日、改建期の進展と共にどんな風に取り扱はれてゐるのであるか。成る程、レーニンは、その生存中、退却は經濟上に終熄したと宣言したが、ネツプの撤廢に就ては、撤廢の時期に就ては明白な指示を與へなかつた。

そこで社會主義建設時期とネツプとの關係に關する問題、この時期に於けるネツプの意義に關する問題は、この時期を研究し、その將來を展望する前にどうしても闡明して置かなければならぬ問題である。

ネツプはどうなつてゐるか、ネツプはどうなるか、ネツプはどんな風に取り扱はれてゐるか。是等の問題に對する回答を求めやう。

政治部員ポリティビューの一人であるカガノウィッチは、一九三〇年六月、第十六回黨會議の開催に先立ち、モスクワ州黨大會に於て爲した中央委員會の仕事に關する報告演說中新段階に於ける社會主義の建設に論及して、右の問題を次の如くに取扱つてゐる。

「一九三二年の初めにネツプの十周年が来る。この十年間に我々はネツプの諸階段を踏んで巨大な高度に登り、輾開された社會主義的社會建設の新段階に這入つた。

諸君の記憶される如く、レーニンはネツプの實施に際し、我が經濟の中に族長制度形態即ち著しき度合に於ける自然農民經濟形態、小商品生産形態、個人經營資本主義形態、國家資本主義形態及び社會主義形態の五形態があるといふことを起點とした。「ロシアは非常に大きく且つ非常に雑色であるから、是等社會經濟形態の種々なる類型がその中に交錯してゐる。獨自性は即ち此處にある」とレーニンは書いた。そしてレーニンは「然らばこの五形態中如何なる要素が大部分を占めてゐるか」と質問し、そ

れに答へて「小農民環境の中には小ブルジョア要素が大部分を占めてゐること又占めざるを得ざるごと、農業者の多數がそして大多數が小商品生産者であることは明瞭なことである」と言つてゐる。

ネツプを實施し、農民經濟昂揚の任務を提起するに當り、レーニンは黨の前に「社會主義的社會創設の唯一現實的基礎として」、工業の昂揚及び發展といふ最主要の任務を提出した。

我が黨に取つてネツプは最初から單に農民經濟昂揚及び市場經由都市農村聯繫の手段たるに留まらなかつた。ネツプを資本主義分子に對する退却と見るトロツキ・ジノウイェフ反對派との闘争に於て、又ネツプを我が國に於ける資本主義分子發展のための無制限なる自由と見る右翼偏向者との闘争に於て、黨はネツプのレーニン主義的理解を墨守した。我が黨はネツプをプロレタリア國家の特殊な政策と見、この政策はプロレタリア國家の掌中に司令臺を把握しつゝ資本主義を許容することを期待し、資本主義分子と社會主義分子の闘争を期待し、資本主義分子に對する社會主義分子の勝利を期待し、×××××を期待し、社會主義的經濟の土臺の建設を期待するものである。

ネツプの第一の段階は我々が今展開した資本主義分子に對する斷乎たる攻勢のための準備的段階であつた。このお蔭でこそ我々は今非常な速度で「ネツプ的ロシアを社會主義的ロシアに」轉化しつゝあるのである。

この轉化は改建期に於て殊に精力的に輾開された。